平成２８年３月１日

全国路線網に属する高速道路に係る業務実施計画の変更について

文中「別紙１－Ｅ－１７８」を「別紙１－Ｅ－１７９」に改める。

７（３）中「平成７２年６月１日まで」を「平成７２年５月１２日まで」に改める。

別紙１－Ｅ－４、別紙１－Ｅ－５、別紙１－Ｅ－９から別紙１－Ｅ－１２、別紙１－Ｅ－１５から別紙１－Ｅ－１７、別紙１－Ｅ－２１、別紙１－Ｅ－２６、別紙１－Ｅ－２９から別紙１－Ｅ－３１、別紙１－Ｅ－３４、別紙１－Ｅ－３６から別紙１－Ｅ－３９、別紙１－Ｅ－４２、別紙１－Ｅ－４５、別紙１－Ｅ－５４、別紙１－Ｅ－５６から別紙１－Ｅ－５８、別紙１－Ｅ－６１、別紙１－Ｅ－６４、別紙１－Ｅ－６５、別紙１－Ｅ－６７から別紙１－Ｅ－６９、別紙１－Ｅ－７３、別紙１－Ｅ－７５、別紙１－Ｅ－７６、別紙１－Ｅ－７９、別紙１－Ｅ－８０、別紙１－Ｅ－８４、別紙１－Ｅ－８６、別紙１－Ｅ－９０、別紙１－Ｅ－９５、別紙１－Ｅ－９６、別紙１－Ｅ－９８、別紙１－Ｅ－９９、別紙１－Ｅ－１０１、別紙１－Ｅ－１０３、別紙１－Ｅ－１０４、別紙１－Ｅ－１０６から別紙１－Ｅ－１０８、別紙１－Ｅ－１１０、別紙１－Ｅ－１１１、別紙１－Ｅ－１３０、別紙１－Ｅ－１４８から別紙１－Ｅ－１５２、別紙１－Ｅ－１５４から別紙１－Ｅ－１５９、別紙１－Ｅ－１６１から別紙１－Ｅ－１７８、別紙１－Ｃ－２から別紙１－Ｃ－１０、別紙１－Ｃ－１３から別紙１－Ｃ－１５、別紙１－Ｃ－１７、別紙１－Ｃ－１９、別紙１－Ｃ－２０、別紙１－Ｃ－２２、別紙１－Ｃ－２４、別紙１－Ｃ－２６、別紙１－Ｃ－２９、別紙１－Ｃ－３０、別紙１－Ｃ－３２から別紙１－Ｃ－３４、別紙１－Ｃ－３６、別紙１－Ｃ－４３、別紙１－Ｃ－５０から別紙１－Ｃ－５３、別紙１－Ｃ－５５、別紙１－Ｃ－５６、別紙１－Ｃ－５８、別紙１－Ｃ－６０、別紙１－Ｃ－６１、別紙１－Ｃ－７１、別紙１－Ｃ－７８から別紙１－Ｃ－８０、別紙１－Ｃ－８２から別紙１－Ｃ－９３、別紙１－Ｗ－２から別紙１－Ｗ－６、別紙１－Ｗ－９、別紙１－Ｗ－１２、別紙１－Ｗ－１３、別紙１－Ｗ－１５、別紙１－Ｗ－１６、別紙１－Ｗ－１９、別紙１－Ｗ－２２、別紙１－Ｗ－２４、別紙１－Ｗ－２５、別紙１－Ｗ－２７、別紙１－Ｗ－３０、別紙１－Ｗ－３１、別紙１－Ｗ－３４、別紙１－Ｗ－３５、別紙１－Ｗ－３７から別紙１－Ｗ－４２、別紙１－Ｗ－４４、別紙１－Ｗ－４６、別紙１－Ｗ－４７、別紙１－Ｗ－５１、別紙１－Ｗ－５８、別紙１－Ｗ－６２、別紙１－Ｗ－６７、別紙１－Ｗ－６９、別紙１－Ｗ－７０、別紙１－Ｗ－７３、別紙１－Ｗ－７４、別紙１－Ｗ－７８、別紙１－Ｗ－９１、別紙１－Ｗ－９８、別紙１－Ｗ－１００、別紙１－Ｗ－１０１、別紙１－Ｗ－１０３から別紙１－Ｗ－１１２を次のとおり改める。

別紙１－Ｅ－４

北海道横断自動車道黒松内釧路線
（北海道余市郡余市町登町から北海道小樽市新光町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道余市郡余市町登町　　から
北海道小樽市新光町　　まで

（ロ） 延　　長　　23．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
北海道余市郡余市町登町　から 北海道小樽市新光町　まで	100	23．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道余市郡余市町登町 から 北海道小樽市新光町 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道登余市停車場線	北海道余市郡 余市町登町	平面接続	余市インターチェンジ（仮称）
道道小樽西インター線	北海道小樽市 塩谷	立体接続	小樽西インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

108，136 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

123，156 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　120，611 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－５

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（北海道夕張市紅葉山から北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道夕張市紅葉山　　から
北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野　　まで

（ロ） 延　　長　　34．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
北海道夕張市紅葉山　から 北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野　まで	100	34．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道夕張市紅葉山 から 北海道勇払郡占冠村 字シムカプ原野 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道274号	北海道夕張市 紅葉山	立体接続	夕張インターチェンジ
道道穂別インター線	北海道勇払郡 むかわ町穂別	立体接続	むかわ穂別インターチェンジ
道道占冠インター線	北海道勇払郡 占冠村字シムカプ原野	立体接続	占冠インターチェンジ

（4） 工事予算

132，263 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	10 月	8 日	（夕張ICランプ切替）
	平成	23 年	10 月	29 日	（供用開始）
	平成	28 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

134，506百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　134，506百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－９

東北中央自動車道相馬尾花沢線
（山形県東置賜郡高畠町大字深沼から山形県上山市金瓶まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県東置賜郡高畠町大字深沼　　から
山形県上山市金瓶　　まで

（ロ） 延　　長　　24．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
山形県東置賜郡 高畠町大字深沼　から 山形県上山市金瓶　まで	100	24．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245 kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県東置賜郡 高畠町大字深沼　から 山形県上山市金瓶　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル　（土工部）
—　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道13号 （米沢南陽道路）	山形県東置賜郡 高畠町大字深沼	平面接続	本線
一般国道13号	山形県東置賜郡 高畠町大字深沼	立体接続	南陽高畠インターチェンジ
一般国道13号	山形県上山市藤吾	立体接続	上山インターチェンジ（仮称）
一般国道13号	山形県上山市金瓶	立体接続	山形上山インターチェンジ

（4） 工事予算

110，177 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

123，143 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　121，142 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１０

常磐自動車道

（福島県双葉郡富岡町大字上手岡から福島県相馬市粟津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　福島県双葉郡富岡町大字上手岡　から
福島県相馬市粟津　まで

（ロ） 延　長　47．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県双葉郡 富岡町大字上手岡　から 福島県相馬市 粟津　まで	100	47．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県双葉郡 富岡町大字上手岡　から 福島県相馬市 粟津　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　小野富岡線	福島県双葉郡 富岡町大字上手岡	立体接続	常磐富岡インターチェンジ
一般国道114号	福島県双葉郡 浪江町大字室原	立体接続	浪江インターチェンジ
県道　原町川俣線	福島県南相馬市 原町区	立体接続	南相馬インターチェンジ
一般国道115号	福島県相馬市 粟津	立体接続	相馬インターチェンジ

（4） 工事予算

115，163　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　10　年　4　月　17　日	
②工事の完成予定年月日	平成　24　年　4　月　8　日	（南相馬～相馬供用開始）
	平成　26　年　12　月　6　日	（浪江～南相馬供用開始）
	平成　27　年　3　月　1　日	（常磐富岡～浪江供用開始）
	平成　31　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

108，996　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　108，996百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙１－Ｅ－１１

常磐自動車道

（福島県相馬市粟津から福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県相馬市粟津　　から
福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　　まで

（ロ） 延　　長　　8．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県相馬市 粟津　から 福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　まで	100	8．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県相馬市 粟津　から 福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道115号	福島県相馬市 粟津	立体接続	相馬インターチェンジ
一般国道113号	福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺	立体接続	新地インターチェンジ

（4） 工事予算

19，449 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　12　月　6　日　（供用開始）
平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，873 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，873 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙１－Ｅ－１２

常磐自動車道

（福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺から宮城県亘理郡山元町大平まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　から
宮城県亘理郡山元町大平　まで

（ロ） 延　長　14．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　から 宮城県亘理郡 山元町大平　まで	100	14．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　から 宮城県亘理郡 山元町大平　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道113号	福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺	立体接続	新地インターチェンジ
一般国道6号	宮城県亘理郡 山元町大平	立体接続	山元インターチェンジ

（4） 工事予算

40，334 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　12　月　6　日　（供用開始）
平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

46，373 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　46，373 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙１－Ｅ－１５

東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市鷹野三丁目から千葉県松戸市三矢小台二丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県三郷市鷹野三丁目　　から
千葉県松戸市三矢小台二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　5．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県三郷市鷹野三丁目　から 千葉県松戸市三矢小台二丁目　まで	80	5．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　 245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県三郷市鷹野三丁目　から 千葉県松戸市三矢小台二丁目　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道298号	埼玉県三郷市 鷹野三丁目	立体接続	三郷南インターチェンジ
一般国道298号	千葉県松戸市 三矢小台二丁目	立体接続	松戸インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

119，415 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日
②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

111，879 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　105，624 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１６

東関東自動車道水戸線

（千葉県松戸市三矢小台二丁目から千葉県市川市高谷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県松戸市三矢小台二丁目　　から
千葉県市川市高谷　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県松戸市 三矢小台二丁目	から	80	10．1	
千葉県市川市高谷	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県松戸市 三矢小台二丁目　から 千葉県市川市高谷　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道298号	千葉県松戸市 三矢小台二丁目	立体接続	松戸インターチェンジ（仮称）
一般国道298号	千葉県市川市 国分	立体接続	市川北インターチェンジ（仮称）
一般国道298号	千葉県市川市 平田	立体接続	市川南インターチェンジ（仮称）
一般国道14号 （京葉道路）	千葉県市川市 稲荷木	立体接続	京葉ジャンクション（仮称）
一般国道298号	千葉県市川市 高谷	立体接続	高谷インターチェンジ（仮称）
県道高速湾岸線	千葉県市川市 高谷	立体接続	高谷ジャンクション（仮称）
東関東自動車道	千葉県市川市 高谷	立体接続	高谷ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

743，713 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　13 日　（京葉JCT施工に伴う京葉道路切替）

平成　30 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

688，856 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　643，805 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１７

東関東自動車道水戸線

（茨城県鉾田市飯名から茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県鉾田市飯名　から
茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　まで

（ロ） 延　長　8．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
茨城県鉾田市飯名 から 茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田 まで	100	8．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　 245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
茨城県鉾田市飯名　から 茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道鉾田茨城線	茨城県鉾田市 飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ（仮称）
県道茨城鹿島線	茨城県東茨城郡 茨城町大字鳥羽田	立体接続	茨城空港北インターチェンジ

（4） 工事予算

26，524 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

30，991 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　29，691 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－２１

北関東自動車道

（栃木県足利市菅田町から栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　栃木県足利市菅田町　から
栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺　まで

（ロ） 延　　長　　13．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
栃木県足利市菅田町　から 栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺　まで	100	13．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　 245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
栃木県足利市菅田町　から 栃木県下都賀郡岩舟町 大字小野寺　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道293号	栃木県足利市 菅田町	立体接続	足利インターチェンジ
県道佐野田沼線	栃木県佐野市 小見町	立体接続	佐野田沼インターチェンジ
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県下都賀郡 岩舟町大字小野寺	立体接続	岩舟ジャンクション

（4） 工事予算

76，242 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	10 年	1 月	20 日	
②工事の完成予定年月日	平成	19 年	9 月	5 日	（岩舟JCT施工に伴う東北道の切替）
	平成	22 年	4 月	17 日	（佐野田沼IC～岩舟JCT供用開始）
	平成	23 年	3 月	19 日	（足利IC～佐野田沼IC供用開始）
	平成	29 年	3 月	31 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

66，892 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　66，892 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－２６

北海道縦貫自動車道函館名寄線（八雲PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道二海郡八雲町

別　紙　1

（3） 工事予算

971 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　10 日　（供用開始）

平成　33 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，177 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，175 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－２９

北海道縦貫自動車道函館名寄線（剣淵PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道上川郡剣淵町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，342 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，728 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，617 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－３０

北海道横断自動車道黒松内釧路線（銭函IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道小樽市星野町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道銭函インター線	北海道小樽市 星野町	立体接続	銭函インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

5，524 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，823 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，587 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－３１

北海道横断自動車道黒松内釧路線（手稲IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道札幌市手稲区富丘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道手稲インター線	北海道札幌市 手稲区富丘	立体接続	手稲インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

888 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，192 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，129 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－３４

北海道横断自動車道黒松内北見線（本別JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内北見線

（2） 工事の箇所

北海道中川郡本別町勇足

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
北海道横断自動車道 黒松内釧路線	北海道中川郡 本別町勇足	立体接続	本別ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

1，384 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，736 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，621 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－３６

北海道横断自動車道黒松内北見線（足寄IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内北見線

（2） 工事の箇所

北海道足寄郡足寄町郊南

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道242号	北海道足寄郡 足寄町郊南	立体接続	足寄インターチェンジ
北海道横断自動車道 黒松内北見線	北海道足寄郡 足寄町郊南	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，148 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，650 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，553 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－３７

東北縦貫自動車道弘前線

（東京都練馬区大泉町五丁目から埼玉県川口市赤芝新田まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

東京都練馬区大泉町五丁目　　から
埼玉県川口市赤芝新田　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

12，697 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，468 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，139 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－３８

東北縦貫自動車道弘前線（久喜白岡JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

埼玉県久喜市下早見

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	埼玉県久喜市 下早見	立体接続	久喜白岡ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

9，473 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　5 月　29 日　（供用開始）

平成　28 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

10，257 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，257 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－３９

東北縦貫自動車道弘前線（久喜白岡JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

埼玉県久喜市下早見

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	埼玉県久喜市 下早見	立体接続	久喜白岡ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

5，301 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　29 日（供用開始）

平成　28 年　3 月　30 日（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，191 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，191 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－４２

東北縦貫自動車道弘前線(福島JCT)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

福島県福島市笹谷

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東北中央自動車道 相馬尾花沢線	福島県福島市笹谷	平面接続	福島ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

8，461 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　29 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，587 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　9，413 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙１－Ｅ－４５

東北縦貫自動車道弘前線（小坂JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

秋田県鹿角郡小坂町小坂

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
日本海沿岸東北自動車道	秋田県鹿角郡 小坂町小坂	平面接続	小坂ジャンクション

（4） 工事予算

5，881 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　11 月　30 日（供用開始）

平成　28 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，875 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，875 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－５４

日本海沿岸東北自動車道（豊栄SA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

新潟県新潟市

（3） 工事予算

327 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　 5 年　12 月　 4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

578 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　578 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－５６

日本海沿岸東北自動車道（雄和PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

秋田県秋田市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，289 百万円　（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 4 月　30 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，421 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，333 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－５７

東北中央自動車道相馬尾花沢線（山形PA）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の箇所

山形県山形市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，815 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，385 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，303 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－５８

東北中央自動車道相馬尾花沢線
（山形県天童市大字大町から山形県東根市大字羽入まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県天童市大字大町　　から
山形県東根市大字羽入　　まで

（ロ） 延　　長　　1．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
山形県天童市 大字大町　から 山形県東根市 大字羽入　まで	100	1．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県天童市 大字大町　から 山形県東根市 大字羽入　まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50	2．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 中央帯の標準幅員

ー　メートル

（チ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
国道287号	山形県東根市大字羽入	立体接続	東根インターチェンジ
東北中央自動車道相馬尾花沢線	山形県東根市大字羽入	平面接続	本線 （新直轄）

（4） 工事予算

3，762 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年 12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成 31 年　3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，181 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，911 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－６１

関越自動車道新潟線

（埼玉県深谷市本田から群馬県渋川市八木原まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間

Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から
	埼玉県深谷市黒田	まで
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から
	群馬県渋川市八木原	まで

（ロ） 延　　長

Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から	2．6　キロメートル
	埼玉県深谷市黒田	まで	
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から	1．7　キロメートル
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで	
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から	1．8　キロメートル
	群馬県渋川市八木原	まで	

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間			設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から	120	2．6	
	埼玉県深谷市黒田	まで			
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から	120	1．7	
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで			
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から	120	1．8	
	群馬県渋川市八木原	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル　　（ただし、Ⅰ埼玉県深谷市本田から埼玉県深谷市畠山までは3．00メートル（登坂車線））

（ホ） 車線数

設　計　区　間			工事施工		用地買収		摘　要
Ⅰ	埼玉県深谷市本田 埼玉県深谷市黒田	から まで	6	車線	6	車線	付加車線事業
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	から まで	6	車線	6	車線	付加車線事業
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田 群馬県渋川市八木原	から まで	4	車線	4	車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		摘　要
	左　側	計	左　側	計	左　側	計	
土工（掘割）部分	1．75	1．75	2．50	2．50	2．50	2．50	
トンネル部分	－	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75	1．75	－	－	2．50	2．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．50	1．50	2．50	2．50	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

7，183 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　16 年　6 月　29 日		
②工事の完成予定年月日	平成　22 年　12 月　17 日	（本庄児玉IC　供用開始）	
	平成　23 年　3 月　17 日	（花園IC、渋川伊香保IC　供用開始）	
	平成　29 年　3 月　31 日	（残事業完成）	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，544 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　8，361 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－６４

常磐自動車道

（埼玉県川口市赤芝新田から埼玉県三郷市番匠免二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県川口市赤芝新田　　から
埼玉県三郷市番匠免二丁目　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

9，080 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，315 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，151 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－６５

常磐自動車道（八潮PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県八潮市

別　紙　1

（3） 工事予算

25，262 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

28，244 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　27，139 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－６７

常磐自動車道（ならはPA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡楢葉町

別　紙　1

（3） 工事予算

2，241　百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	5 年	12 月	4 日	
②工事の完成予定年月日	平成	27 年	3 月	1 日	（供用開始）
	平成	28 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，011　百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，011　百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙１－Ｅ－６８

常磐自動車道(南相馬鹿島SA)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県南相馬市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，222　百万円　（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　10 年　4 月　17 日

②工事の完成予定年月日　平成　27 年　2 月　21 日　（供用開始）

平成　28 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，386　百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，386　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－６９

常磐自動車道（鳥の海PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

宮城県亘理郡亘理町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，533 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　 6 月　29 日

②工事の完成年月日　　平成　26 年　12 月　 6 日　（供用開始）

平成　29 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，915 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，814 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－７３

東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市番匠免二丁目から埼玉県三郷市鷹野三丁目まで）（二次改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目　　から
埼玉県三郷市鷹野三丁目　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

1，749 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　20 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，045 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，896 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－７５

東関東自動車道水戸線（三郷JCT（ 二次改築））に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
常磐自動車道 一般国道298号 県道高速足立三郷線	埼玉県三郷市 番匠免二丁目	立体接続	三郷ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

20，064 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　12 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　9 月　14 日　（供用開始）

平成　30 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

21，698 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，497 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－７６

東関東自動車道水戸線（三郷第二IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市谷口

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道298号	埼玉県三郷市 谷口	立体接続	三郷第二インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

3，126 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，470 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，269 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－７９

東関東自動車道水戸線（大栄JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県成田市吉岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

4，157 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成年月日　　平成　27 年　6 月　7 日　（供用開始）

平成　29 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，880 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，875 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－８０

東関東自動車道水戸線（大栄JCT）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県成田市吉岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，211 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　35 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，777 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，539 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－８４

北陸自動車道

（新潟県糸魚川市大字歌から新潟県糸魚川市大字外波まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　新潟県糸魚川市大字歌　　から
新潟県糸魚川市大字外波　　まで

（3） 工事予算

8，483 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14 年　 4 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，184 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，160 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－８６

一般国道４６８号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横浜市金沢区釜利谷町から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市金沢区釜利谷町　　から
神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　8．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　から 神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目　まで	80	8．7	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　から 神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目　まで	6 車線	6 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	0．75×2	1．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道16号（横浜横須賀道路）	神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町	立体接続	釜利谷ジャンクション
都市計画道路 上郷公田線	神奈川県横浜市 栄区公田町	立体接続	公田インターチェンジ（仮称）
一般国道468号（横浜湘南道路） 及び都市計画道路　横浜藤沢線	神奈川県横浜市 栄区田谷町	立体接続	栄インター・ジャンクション（仮称）
一般国道1号	神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目	立体接続	戸塚インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

256，048 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA0＋00）から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）まで
平成 13 年 3 月 10 日

ロ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）から神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）まで
平成 13 年 8 月 14 日

ハ 神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目（STA87＋00）まで
平成 32 年 4 月 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成 33 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

291，098 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　280，200 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－９０

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県桶川市大字川田谷から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県桶川市大字川田谷　　から
埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　　まで

（ロ） 延　　長　　10．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県桶川市大字川田谷 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎	から まで	100	10．8	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県桶川市大字川田谷 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道17号	埼玉県桶川市大字川田谷	立体接続	桶川北本インターチェンジ
県道川越栗橋線	埼玉県桶川市大字加納	立体接続	桶川加納インターチェンジ
一般国道122号	埼玉県久喜市菖蒲町台	立体接続	白岡菖蒲インターチェンジ

（4） 工事予算

70，430 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県桶川市大字川田谷(STA133+43)から埼玉県桶川市大字川田谷(STA134+95)まで
平成　27　年　3　月　1　日

ロ　埼玉県桶川市大字川田谷(STA134+95)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA151+00)まで
平成　26　年　4　月　1　日

ハ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA151+00)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA152+60)まで
平成　26　年　11　月　1　日

ニ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA152+60)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA155+20)まで
平成　26　年　8　月　1　日

ホ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA155+20)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA156+49)まで
平成　26　年　8　月　20　日

ヘ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA156+49)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA159+19)まで
平成　26　年　12　月　1　日

ト　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA159+19)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA161+94)まで
平成　26　年　12　月　20　日

別　紙　1

チ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA161+94)から埼玉県北本市大字二ツ家(STA164+22)まで
平成　27　年　1　月　1　日

リ　埼玉県北本市大字二ツ家(STA164+22)から埼玉県北本市大字二ツ家(STA167+37)まで
平成　26　年　12　月　11　日

ヌ　埼玉県北本市大字二ツ家(STA167+37)から埼玉県桶川市大字加納(STA167+86)まで
平成　27　年　1　月　1　日

ル　埼玉県桶川市大字加納(STA167+86)から埼玉県桶川市大字加納(STA168+46)まで
平成　27　年　2　月　16　日

ヲ　埼玉県桶川市大字加納(STA168+46)から埼玉県桶川市大字加納(STA170+65)まで
平成　27　年　1　月　1　日

ワ　埼玉県桶川市大字加納(STA170+65)から埼玉県桶川市大字加納(STA179+47)まで
平成　27　年　3　月　1　日

カ　埼玉県桶川市大字加納(STA179+47)から埼玉県桶川市大字加納(STA180+84)まで
平成　27　年　3　月　1　日

ヨ　埼玉県桶川市大字加納(STA180+84)から埼玉県桶川市大字加納(STA182+59)まで
平成　25　年　4　月　1　日

タ　埼玉県桶川市大字加納(STA182+59)から埼玉県桶川市大字加納(STA183+91)まで
平成　24　年　12　月　21　日

別　紙　1

レ　埼玉県桶川市大字加納（STA183+91）から埼玉県桶川市大字加納（STA184+44）まで
　　平成　25　年　4　月　1　日

ソ　埼玉県桶川市大字加納（STA184+44）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）まで
　　平成　24　年　2　月　1　日

ツ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）まで
　　平成　24　年　10　月　16　日

ネ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）から埼玉県桶川市赤堀（STA191+49）まで
　　平成　23　年　12　月　15　日

ナ　埼玉県桶川市赤堀（STA191+49）から埼玉県桶川市赤堀（STA192+00）まで
　　平成　24　年　4　月　1　日

ラ　埼玉県桶川市赤堀（STA192+00）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA195+00）まで
　　平成　23　年　12　月　15　日

ム　埼玉県桶川市大字五丁台（STA195+00）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA196+70）まで
　　平成　24　年　4　月　1　日

ウ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA196+70）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA197+16）まで
　　平成　26　年　8　月　22　日

ノ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA197+16）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA198+35）まで
　　平成　24　年　12　月　21　日

別　紙　1

オ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA198+35）から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+94）まで
　　平成　24　年　4　月　1　日

ク　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+94）から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA210+35）まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

ヤ　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA210+35）から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎（STA241+72）まで
　　平成　25　年　10　月　1　日

桶川北本IC　ランプ部

マ　埼玉県桶川市大字川田谷（B-STA2+31）から埼玉県桶川市大字川田谷(B-STA4+51)まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

ケ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA0+74）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA5+92)まで
　　平成　25　年　3　月　1　日

フ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA5+92）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA6+73)まで
　　平成　27　年　3　月　1　日

コ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA6+73）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA7+90)まで
　　平成　25　年　3　月　1　日

エ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA7+90）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA9+42)まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

別　紙　1

テ　埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA5+81）から埼玉県桶川市大字川田谷(D-STA10+26)まで
　　平成　25　年　3　月　1　日

桶川加納IC　ランプ部

ア　埼玉県桶川市大字加納（A-STA1+70）から埼玉県桶川市大字加納(A-STA2+50)まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

サ　埼玉県桶川市大字加納（B-STA2+72）から埼玉県桶川市大字加納(B-STA3+02)まで
　　平成　25　年　11　月　1　日

キ　埼玉県桶川市大字加納（C-STA1+99）から埼玉県桶川市大字加納(C-STA3+80)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

ユ　埼玉県桶川市大字加納（D-STA2+33）から埼玉県桶川市大字加納(D-STA2+72)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

メ　埼玉県桶川市大字加納（D-STA2+72）から埼玉県桶川市大字加納(D-STA4+40)まで
　　平成　27　年　2　月　11　日

桶川加納IC　料金所部

ミ　埼玉県桶川市大字加納(B-STA0+80)から埼玉県桶川市大字加納(E-STA0+50)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

桶川加納IC　ランプ部

シ　埼玉県桶川市大字加納（E-STA1+30）から埼玉県桶川市大字加納(E-STA1+58)まで
　　平成　25　年　10　月　1　日

別　紙　1

ヒ　埼玉県桶川市大字加納（G-STA1+98）から埼玉県桶川市大字加納(G-STA2+48)まで
平成　24　年　5　月　15　日

モ　埼玉県桶川市大字加納（G-STA2+98）から埼玉県桶川市大字加納(G-STA3+32)まで
平成　26　年　1　月　1　日

セ　埼玉県桶川市大字加納（H-STA2+32）から埼玉県桶川市大字加納(H-STA3+07)まで
平成　24　年　5　月　15　日

菖蒲PA

ス　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA207+22)から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA210+87)まで
平成　26　年　12　月　21　日

スー1　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA207+87)から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA208+60)まで
平成　27　年　4　月　30　日

別　紙　1

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成年月日　　平成　27 年　10 月　31 日（供用開始）

平成　31 年　3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

72，763 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　69，802 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－９５

一般国道４６８号（東京湾横断・木更津東金道路）

（千葉県東金市丹尾から千葉県茂原市石神まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　千葉県東金市丹尾　から
千葉県茂原市石神　まで

（ロ） 延　長　21．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設　計　区　間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県東金市丹尾 千葉県茂原市石神	から まで	100	21．6	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
千葉県東金市丹尾 千葉県茂原市石神	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．00×2	2．00	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道126号	千葉県東金市丹尾	立体接続	東金ジャンクション
市道5164号線	千葉県東金市山台	立体接続	東金インターチェンジ
県道五井本納線	千葉県茂原市上太田	立体接続	茂原北インターチェンジ
一般国道409号 （茂原・一宮・大原道路）	千葉県長生郡長南町坂本	立体接続	茂原長南インターチェンジ

（4） 工事予算

23，110 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 千葉県東金市丹尾（STA0－01）から千葉県東金市小野（STA7＋60）まで
平成　24 年 11 月 1 日

イ 千葉県東金市小野（STA7＋60）から千葉県東金市小野（STA8＋60）まで
平成　24 年 10 月 1 日

イ 千葉県東金市小野（STA8＋60）から千葉県東金市小野（STA11＋60）まで
平成　24 年 12 月 1 日

ロ 千葉県東金市小野（STA11＋60）から千葉県東金市小野（STA14＋20）まで
平成　24 年 8 月 1 日

ロ 千葉県東金市小野（STA14＋20）から千葉県東金市丘山台（STA16＋40）まで
平成　24 年 11 月 1 日

ロ 千葉県東金市丘山台（STA16＋40）から千葉県東金市小野（STA19＋00）まで
平成　24 年 10 月 1 日

ハ 千葉県東金市小野（STA19＋00）から千葉県大網白里町養安寺（STA21＋35）まで
平成　24 年 12 月 1 日

別　紙　1

ニ　千葉県大網白里町養安寺（STA21＋35）から千葉県大網白里町小西（STA27＋85）まで
　平成　24　年　12　月　1　日

ホ　千葉県大網白里町小西（STA27＋85）から千葉県大網白里町餅木（STA33＋69．5）まで
　平成　24　年　9　月　1　日

ヘ　千葉県大網白里町餅木（STA33+69．5）から千葉県大網白里町餅木（STA35＋23）まで
　平成　24　年　6　月　1　日

ト　千葉県大網白里町餅木（STA35＋23）から千葉県大網白里町金谷郷（STA48＋69）まで
　平成　24　年　2　月　15　日

チ　千葉県大網白里町金谷郷（STA48＋69）から千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）まで
　平成　24　年　10　月　1　日

リ　千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）まで
　平成　21　年　8　月　1　日

ヌ　千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋70）まで
　平成　24　年　6　月　1　日

ル　千葉市緑区小食土町（STA65＋70）から千葉県大網白里町小中（STA80＋00）まで
　平成　21　年　8　月　1　日

ヲ　千葉県大網白里町小中（STA80＋00）から千葉県大網白里町神房（STA86＋00）まで
　平成　19　年　12　月　1　日

別　紙　1

ワ　千葉県大網白里町神房（STA86＋00）から千葉県茂原市柴名（STA106＋94）まで
　平成　21 年　8 月　1 日

カ　千葉県茂原市柴名（STA106＋94）から千葉県茂原市柴名（STA109＋20）まで
　平成　19 年 12 月　1 日

ヨ　千葉県茂原市柴名（STA109＋20）から千葉県茂原市柴名（STA113＋60）まで
　平成　24 年　5 月　1 日

タ　千葉県茂原市柴名（STA113＋60）から千葉県茂原市上太田（STA123＋11）まで
　平成　24 年 10 月　9 日

レ　千葉県茂原市上太田（STA123＋11）から千葉県茂原市上太田（STA124＋34）まで
　平成　24 年 11 月　1 日

ソ　千葉県茂原市上太田（STA124＋34）から千葉県茂原市真名（STA148＋91）まで
　平成　24 年　2 月 15 日

ツ　千葉県茂原市真名（STA148＋91）から千葉県茂原市真名（STA156＋20）まで
　平成　24 年　5 月　1 日

ネ　千葉県茂原市真名（STA156＋20）から千葉県長柄町榎本（STA179＋60）まで
　平成　24 年　2 月 15 日

ナ　千葉県長柄町榎本（STA179＋60）から千葉県長柄町榎本（STA183＋80）まで
　平成　24 年　7 月　1 日

別　紙　1

ラ　千葉県長柄町榎本（STA183＋80）から千葉県長柄町榎本（STA187＋78）まで
　平成　24 年　8 月　1 日

ラ　千葉県長柄町榎本（STA187＋78）から千葉県長南町須田（STA194＋40）まで
　平成　24 年　7 月　1 日

ム　千葉県長南町須田（STA194＋40）から千葉県長南町関原（STA203＋88．2）まで
　平成　24 年　8 月　1 日

ウ　千葉県長南町関原（STA203＋88．2）から千葉県茂原市石神（STA210＋39）まで
　平成　24 年　7 月　1 日

ノ　千葉県茂原市石神（STA210＋39）から千葉県茂原市石神（STA216＋20）まで
　平成　24 年　9 月　1 日

東金JCT　Cランプ
イ　千葉県東金市山田（STA5＋18）から千葉県東金市山田（STA6＋20）まで
　平成　24 年 12 月　1 日

別　紙　1

茂原北IC　ランプ部
オ　千葉県茂原市柴名（STA4＋20）から千葉県茂原市上太田（STA0＋60）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

ク　千葉県茂原市上太田（STA0＋60）から千葉県茂原市上太田（STA0＋20）まで
　平成　20 年 10 月 1 日

ヤ　千葉県茂原市上太田（STA0＋20）から千葉県茂原市上太田（STA2＋10）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成 23 年 10 月 20 日　　（東金ICランプ切替）

　　平成 25 年 4 月 27 日　　（供用開始）

　　平成 29 年 3 月 30 日　　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

25，171 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，678 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－９６

一般国道４６８号（東京湾横断・木更津東金道路）
（千葉県茂原市石神から千葉県木更津市下郡まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　千葉県茂原市石神　から
千葉県木更津市下郡　まで

（ロ） 延　　長　21．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県茂原市石神　から 千葉県木更津市下郡　まで	100	21．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県茂原市石神　から 千葉県木更津市下郡　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．00×2	2．00	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道409号 （茂原・一宮・大原道路）	千葉県長生郡長南町坂本	立体接続	茂原長南インターチェンジ
一般国道297号	千葉県市原市田尾	立体接続	市原鶴舞インターチェンジ
一般国道410号バイパス	千葉県木更津市下郡	立体接続	木更津東インターチェンジ

（4） 工事予算

13，909 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　　千葉県茂原市石神（STA216＋20）から千葉県長生郡長南町坂本（STA219＋73）まで
平成 24 年 9 月 1 日

ロ　　千葉県長生郡長南町坂本（STA219＋73）から千葉県長生郡長南町坂本（STA220＋73）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ハ　　千葉県長生郡長南町坂本（STA220＋73）から千葉県長生郡長南町坂本（STA222＋77）まで
平成 24 年 7 月 18 日

ニ　　千葉県長生郡長南町坂本（STA222＋77）から千葉県長生郡長南町坂本（STA233＋60）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ホ－1　千葉県長生郡長南町坂本（STA233＋60）から千葉県長生郡長南町報恩寺（STA243＋17）まで
平成 24 年 11 月 1 日

ホ－2　千葉県長生郡長南町報恩寺（STA243＋17）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA250＋00）まで
平成 24 年 8 月 1 日

ホ－3　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA250＋00）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋59）まで
平成 24 年 9 月 1 日

別　紙　1

ホ － 4　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋59）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋64）まで
平成　24　年　8　月　1　日

ホ － 5　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋64）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋00）まで
平成　24　年　10　月　1　日

ヘ － 1　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋00）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋05）まで
平成　24　年　8　月　1　日

ヘ － 2　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋05）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA259＋20）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ヘ － 3　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA259＋20）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA262＋60）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ト － 1　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA262＋60）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA266＋60）まで
平成　24　年　10　月　1　日

ト － 2　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA266＋60）から千葉県長生郡長南町岩撫（STA272＋86）まで
平成　24　年　12　月　1　日

チ － 1　千葉県長生郡長南町岩撫（STA272＋86）から千葉県市原市田尾（STA297＋06）まで
平成　24　年　3　月　26　日

チ － 2　千葉県市原市田尾（STA297＋06）から千葉県市原市田尾（STA298＋49．7）まで
平成　24　年　10　月　1　日

別　紙　1

リ － 1　千葉県市原市田尾（STA298＋49．7）から千葉県市原市山小川（STA306＋80）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

リ － 2　千葉県市原市山小川（STA306＋80）から千葉県市原市山小川（STA307＋10）まで
　　平成　25　年　2　月　1　日

リ － 3　千葉県市原市山小川（STA307＋10）から千葉県市原市山小川（STA308＋40）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

リ － 4　千葉県市原市山小川（STA308＋40）から千葉県市原市山小川（STA309＋00）まで
　　平成　25　年　2　月　1　日

ヌ － 1　千葉県市原市山小川（STA309＋00）から千葉県市原市山小川（STA310＋00）まで
　　平成　25　年　2　月　1　日

ヌ － 2　千葉県市原市山小川（STA310＋00）から千葉県市原市不入（STA313＋81）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 3　千葉県市原市不入（STA313＋81）から千葉県市原市不入（STA316＋57）まで
　　平成　24　年　11　月　1　日

ヌ － 4　千葉県市原市不入（STA316＋57）から千葉県市原市大和田（STA317＋60）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 5　千葉県市原市大和田（STA317＋60）から千葉県市原市大和田（STA320＋05）まで
　　平成　25　年　2　月　20　日

別　紙　1

ヌ － 6 千葉県市原市大和田（STA320＋05）から千葉県市原市大和田（STA321＋18）まで
平成 24 年 12 月 1 日

ヌ － 7 千葉県市原市大和田（STA321＋18）から千葉県市原市大和田（STA321＋80）まで
平成 24 年 11 月 1 日

ヌ － 8 千葉県市原市大和田（STA321＋80）から千葉県市原市大和田（STA325＋40）まで
平成 24 年 12 月 1 日

ヌ － 9 千葉県市原市大和田（STA325＋40）から千葉県市原市養老（STA327＋3．5）まで
平成 25 年 2 月 12 日

ヌ － 10 千葉県市原市養老（STA327＋3．5）から千葉県市原市久保（STA332＋57）まで
平成 24 年 12 月 1 日

ヌ － 11 千葉県市原市久保（STA332＋57）から千葉県市原市久保（STA332＋72．6）まで
平成 24 年 11 月 1 日

ヌ － 12 千葉県市原市久保（STA332＋72．6）から千葉県市原市山口（STA340＋34）まで
平成 24 年 12 月 1 日

ル － 1 千葉県市原市山口（STA340＋34）から千葉県市原市山口（STA358＋20）まで
平成 24 年 11 月 1 日

ル － 2 千葉県市原市山口（STA358＋20）から千葉県市原市山口（STA360＋84）まで
平成 25 年 2 月 1 日

別　紙　1

ヲ　　千葉県市原市山口（STA360＋84）から千葉県木更津市真理谷（STA367＋59）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ワ－1　千葉県木更津市真理谷（STA367＋59）から千葉県木更津市真理谷（STA372＋41）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ワ－2　千葉県木更津市真理谷（STA372＋41）から千葉県木更津市真理谷（STA375＋21）まで
平成　24　年　10　月　1　日

カ　　千葉県木更津市真理谷（STA375＋21）から千葉県木更津市真理谷（STA380＋69）まで
平成　23　年　11　月　21　日

ヨ　　千葉県木更津市真理谷（STA380＋69）から千葉県木更津市真理谷（STA392＋12）まで
平成　24　年　8　月　1　日

タ－1　千葉県木更津市真理谷（STA392＋12）から千葉県木更津市真理谷（STA394＋80）まで
平成　24　年　11　月　1　日

タ－2　千葉県木更津市真理谷（STA394＋80）から千葉県木更津市真理谷（STA400＋51）まで
平成　24　年　3　月　26　日

レ　　千葉県木更津市真理谷（STA400＋51）から千葉県木更津市真理谷（STA402＋30．7）まで
平成　23　年　11　月　21　日

ソ　　千葉県木更津市真理谷（STA402＋30．7）から千葉県木更津市真理谷（STA404＋78）まで
平成　24　年　3　月　26　日

別　紙　1

ツ　　千葉県木更津市真理谷（STA404＋78）から千葉県木更津市茅野（STA413＋63．6）まで
　　平成　23　年　11　月　21　日

ネ　　千葉県木更津市茅野（STA413＋63．6）から千葉県木更津市下郡（STA429＋17）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

茂原長南IC 料金所部
ナ　　千葉県長生郡長南町坂本（C1-STA0＋19．2）から千葉県長生郡長南町坂本（E-STA1+10．8）まで
　　平成　23　年　11　月　21　日

茂原長南IC 管理施設部
ラ－　1　千葉県長生郡長南町坂本（C1-STA3＋88．5）から千葉県長生郡長南町坂本（E-STA3＋7）まで
　　平成　24　年　3　月　26　日

ラ－　2　千葉県茂原市石神（B-STA1＋3）から千葉県茂原市石神（B-STA2＋1．8）まで
　　平成　24　年　7　月　18　日

ラ－　3　千葉県茂原市石神（C1-STA0＋0）から千葉県茂原市石神（C1-STA2＋0）まで
　　平成　24　年　7　月　18　日

ラ－　4　千葉県長生郡長南町千手堂（E-STA0＋0）から千葉県長生郡長南町千手堂（E-STA12＋15）まで
　　平成　24　年　7　月　18　日

ラ－　5　千葉県長生郡長南町千手堂（F-STA12＋18．6）から千葉県長生郡長南町千手堂（F-STA21＋10）まで
　　平成　24　年　7　月　18　日

別　紙　1

ラ－　6　千葉県長生郡長南町千手堂（G-STA12＋11）から千葉県長生郡長南町千手堂（G-STA21＋00）まで
平成　24　年　7　月　18　日

市川南IC

ム－ 1　千葉県市原市山小川（A-STA2＋25．4）から千葉県市原市山小川（A-STA5＋44．9）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－ 2　千葉県市原市山小川（B-STA2＋25．4）から千葉県市原市山小川（B-STA6＋11．9）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－ 3　千葉県市原市山小川（B-STA6＋11．9）から千葉県市原市山小川（B-STA6＋42）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ム－ 4　千葉県市原市山小川（B-STA6＋42）から千葉県市原市山小川（B-STA7＋72）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－ 5　千葉県市原市山小川（B-STA7＋72）から千葉県市原市山小川（B-STA8＋32．2）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ム－ 6　千葉県市原市山小川（C1-STA0＋8．9）から千葉県市原市山小川（C1-STA4＋14．7）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－ 7　千葉県市原市山小川（C2-STA4＋8．5）から千葉県市原市山小川（C2-STA7＋8．6）まで
平成　24　年　12　月　1　日

別　紙　1

ム－ 8　千葉県市原市山小川（C2-STA7＋8．6）から千葉県市原市山小川（C2-STA7＋38．9）まで
平成 25 年 2 月 1 日

ム－ 9　千葉県市原市山小川（C2-STA7＋38．9）から千葉県市原市山小川（C2-STA7＋91．9）まで
平成 24 年 12 月 1 日

ム－ 10　千葉県市原市山小川（D-STA4＋9．1）から千葉県市原市山小川（D-STA8＋26．5）まで
平成 24 年 12 月 1 日

市川南IC 料金所部
ウ　千葉県市原市田尾（C1-STA0＋8．95）から千葉県市原市田尾（E-STA0＋41．05）まで
平成 23 年 11 月 21 日

市川南IC 管理施設部
ノ　千葉県市原市田尾（C1-STA0＋95）から千葉県市原市田尾（E-STA0＋68）まで
平成 24 年 3 月 26 日

市川南IC 297号接道まで
オ　千葉県市原市田尾（E-STA0＋41．05）から千葉県市原市田尾（E-STA2＋34）まで
平成 24 年 11 月 1 日

高滝湖PA 内回り休憩施設
ク－ 1　千葉県市原市大和田から千葉県市原市大和田まで
平成 24 年 12 月 1 日

別　紙　1

高滝湖PA　外回り休憩施設
ク－２　千葉県市原市大和田から千葉県市原市大和田まで
平成　26　年　12　月　11　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　4　月　27　日　（供用開始）
平成　25　年　7　月　12　日　（高滝湖PA 内回り供用開始）
平成　27　年　8　月　10　日　（高滝湖PA 外回り供用開始）
平成　29　年　3　月　30　日　（残事業完成）

２．工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，879 百万円（消費税込み）
（うち、助成対象基準額　　14，661 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－９８

一般国道１４号（京葉道路）（市川IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県市川市稲荷木

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道市川浦安線	千葉県市川市 稲荷木	立体接続	市川インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，481 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，754 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，754 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－９９

一般国道１４号（京葉道路）（市川ＰＡ）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県市川市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

16，954 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

17，889 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　16，728 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１０１

一般国道１６号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横浜市金沢区並木三丁目から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市金沢区並木三丁目　　から
神奈川県横浜市金沢区釜利谷町　　まで

（ロ） 延　　長　　4．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目 神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町	から まで	80	4．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目 神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町	から まで	6 車線	6 車線	6車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道長浜第56号	神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目	立体接続	並木インターチェンジ
市道長浜第99号	神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目	立体接続	並木インターチェンジ
県道高速湾岸線 （首都高速道路湾岸線）	神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目	平面接続	並木インターチェンジ
市道堀口第531号	神奈川県横浜市 金沢区能見台東	立体接続	堀口能見台インターチェンジ

（4） 工事予算

173 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　3 年 12 月 17 日

②工事の完成予定年月日　　平成 33 年　3 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

319 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　302 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１０３

一般国道４７号（仙台北部道路）（利府JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道47号

（有料道路名 ： 仙台北部道路）

（2） 工事の箇所

宮城県多賀城市市川

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道45号	宮城県宮城郡 利府町加瀬	立体接続	利府ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

1，733 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26　年　7　月　18　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，176 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，176 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１０４

一般国道１２６号（千葉東金道路）

（千葉県東金市丹尾から千葉県山武市松尾町谷津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道126号

（有料道路名 ： 千葉東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　千葉県東金市丹尾　から
千葉県山武市松尾町谷津　まで

（ロ） 延　　長　15．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県東金市丹尾 千葉県山武市松尾町谷津	から まで	100	15．7	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
千葉県東金市丹尾 千葉県山武市松尾町谷津	から まで	4 車線	4 車線	4車線化事業

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県東金市丹尾	平面接続 立体接続	東金ジャンクション
東金市道5146号線	千葉県東金市山台	立体接続	東金インターチェンジ
県道成東酒々井線	千葉県山武市矢部	立体接続	山武成東インターチェンジ
一般国道126号 （銚子連絡道路）	千葉県山武市松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ
県道成田松尾線	千葉県山武市松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ

（4） 工事予算

18，237 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

21，125 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，160 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１０６

一般国道１２７号（富津館山道路）（富山ＰＡ）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道127号

（有料道路名 ： 富津館山道路）

（2） 工事の箇所

千葉県南房総市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（4） 工事予算

976 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14　年　9　月　2　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，153 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，098 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１０７

一般国道４６６号（第三京浜道路）（野川IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道466号

（有料道路名 ： 第三京浜道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県川崎市宮前区野川

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道尻手黒川線	神奈川県川崎市 宮前区野川	立体接続	野川インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

17，354 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　63　年　1　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

12，028 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　11，469 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１０８

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都西多摩郡日の出町平井から埼玉県鶴ヶ島市大字藤金まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

東京都西多摩郡日の出町平井　　から

埼玉県鶴ヶ島市大字藤金　　まで

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

1，616 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　61　年　12　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　35　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，836 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，648 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１１０

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（久喜白岡JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

埼玉県久喜市下早見

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	埼玉県久喜市下早見	平面接続	本線

別　紙　1

（4） 工事予算

5，118 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県久喜市大字原字大谷（STA269+22）から埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA273+50）まで
平成　18 年　9 月　1 日

ロ　埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA273+50）から埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA274+34）まで
平成　19 年　3 月　31 日

ハ　埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA274+34）から埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA275+20）まで
平成　18 年　9 月　1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　29　日（供用開始）

平成　28　年　3　月　30　日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，028 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，028 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１１１

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（江戸崎ＰＡ）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名　：　首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

茨城県稲敷市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

別　紙　1

（4） 工事予算

1，089 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 茨城県稲敷市月出里(STA164+70）から茨城県稲敷市蒲ヶ山（STA174+24）まで
平成　25　年　9　月　13　日

ロ 茨城県稲敷市蒲ヶ山（STA174+24）から茨城県稲敷市沼田（STA184+30）まで
平成　25　年　11　月　27　日

ハ 茨城県稲敷市沼田（STA184+30）から茨城県稲敷市沼田（STA195+40）まで
平成　25　年　7　月　22　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日
平成　26　年　7　月　11　日（供用開始）

平成　28　年　3　月　30　日（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，271 百万円（消費税込み）
（うち、助成対象基準額　　1，271 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１３０

東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

37，514 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

41，370 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容

個別箇所に関する工事の内容は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県 佐野市 黒袴町	県道 佐野環状線	栃木県 佐野市 関川町及び 黒袴町	立体接続	平成21年9月11日	平成23年4月28日 （供用開始） 平成29年3月30日 （残事業完成）	867百万円	1,199百万円	―	佐野 SA
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県 宇都宮市 今里町	県道 上河内 スマート インター線	栃木県 宇都宮市 今里町	立体接続	平成21年9月11日	平成22年12月18日 （供用開始） 平成24年3月28日 （残事業完成）	300百万円	338百万円	―	上河内 SA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県 那須郡 那須町 豊原丙	県道 那須高原 スマート インター線	栃木県 那須郡 那須町 豊原丙	立体接続	平成21年9月11日	平成22年12月18日 （供用開始） 平成24年3月28日 （残事業完成）	447百万円	483百万円	―	那須 高原 SA
東北横断自動車道 釜石秋田線	秋田県 大仙市 九升田	市道 赤坂強首線	秋田県 大仙市 強首及び 九升田	立体接続	平成21年9月11日	平成23年3月26日 （供用開始） 平成24年3月28日 （残事業完成）	92百万円	96百万円	―	西仙北 SA
東北横断自動車道 いわき新潟線	新潟県 新潟市 秋葉区福島	市道新津 1－90号線 及び 市道新津 1－91号線	新潟県 新潟市 秋葉区福島	立体接続	平成21年9月11日	平成23年12月17日 （供用開始） 平成26年3月30日 （残事業完成）	1,271百万円	1,387百万円	―	本線 直結 型
関越自動車道 新潟線	埼玉県 坂戸市塚崎	市道3979 号路線及び 市道6919 号路線	埼玉県 坂戸市塚崎 及び粟生田	立体接続	平成21年9月11日	平成25年8月25日 （供用開始） 平成27年3月30日 （残事業完成）	1,885百万円	2,132百万円	―	本線 直結 型
関越自動車道 新潟線	群馬県高崎 市上滝町	市道 G680号線 及び 市道 G681号線	群馬県高崎 市上滝町及 び佐波郡玉 村町上新田	立体接続	平成21年9月11日	平成26年2月22日 （供用開始） 平成27年3月30日 （残事業完成）	2,762百万円	3,174百万円	―	本線 直結 型
常磐自動車道	茨城県 石岡市 正上内	市道 A2485号線	茨城県 石岡市 正上内	立体接続	平成21年9月11日	平成23年3月24日 （供用開始） 平成25年3月28日 （残事業完成）	2,772百万円	3,006百万円	―	本線 直結 型
北陸自動車道	新潟県 三条市 福島新田	市道岡野 新田1号線 及び 市道岡野 新田2号線	新潟県 三条市 福島新田	立体接続	平成21年9月11日	平成24年7月14日 （供用開始） 平成26年3月30日 （残事業完成）	904百万円	1,028百万円	―	栄PA

別　紙　1

(イ) 路線名	(ロ) 工事の箇所	(ハ)工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			(ニ) 工事の着手及び完成の予定年月日		(ホ) 工事予算 (消費税込み)	(ヘ) 債務引受限度額 (消費税込み)	うち 助成対象 基準額 (消費税込み)	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
関越自動車道 新潟線	埼玉県大里郡寄居町用土	深谷市道岡2-570号及び寄居町道A046号線	埼玉県深谷市本郷及び大里郡寄居町用土	立体接続	平成24年5月1日	平成28年10月31日	978百万円	1,234百万円	―	寄居PA
関越自動車道 新潟線	埼玉県児玉郡上里町大字五明	町道2480号線及び町道2087号線	埼玉県児玉郡上里町大字五明	立体接続	平成24年5月1日	平成27年12月20日 (供用開始) 平成29年3月30日 (残事業完成)	1,180百万円	1,277百万円	―	上里SA
北陸自動車道	新潟県長岡市上野町	市道上川西398号線及び市道上川西399号線	新潟県長岡市上野町及び大荒戸町	立体接続	平成24年5月1日	平成29年3月31日	2,254百万円	2,394百万円	―	本線直結型
北陸自動車道	新潟県新潟市江南区西野	主要地方道新潟港横越線	新潟県新潟市江南区西野	立体接続	平成24年5月1日	平成29年3月31日	3,456百万円	3,686百万円	―	本線直結型
北海道縦貫自動車道 函館名寄線	北海道砂川市空知太	市道砂川SAスマートインター線	北海道砂川市北光	立体接続	平成25年7月1日	平成27年8月8日 (供用開始) 平成29年3月30日 (残事業完成)	432百万円	482百万円	―	砂川SA
東北縦貫自動車道 弘前線	福島県郡山市大槻町	市道中央インター1号線及び市道中央インター2号線	福島県郡山市大槻町及び片平町	立体接続	平成25年7月1日	平成29年3月31日	1,926百万円	2,084百万円	―	本線直結型
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県奥州市胆沢区小山	市道附野下笹森線及び県道衣川水沢線	岩手県奥州市胆沢区小山	立体接続	平成25年7月1日	平成30年3月31日	2,056百万円	2,196百万円	―	本線直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県紫波郡矢巾町大字煙山	県道不動盛岡線及び町道堤川目線	岩手県紫波郡矢巾町大字上矢次及び煙山	立体接続	平成25年7月1日	平成30年3月31日	1,012百万円	1,110百万円	―	矢巾 PA
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県滝沢市高屋敷平	村道茨島土沢線	岩手県滝沢市高屋敷平	立体接続	平成25年7月1日	平成31年3月31日	2,848百万円	3,134百万円	―	本線 直結 型
常磐自動車道	福島県南相馬市鹿島区浮田字椴木沢	市道西138号線	福島県南相馬市鹿島区浮田字椴木沢	立体接続	平成25年7月1日	平成27年2月21日 （供用開始） 平成28年3月30日 （残事業完成）	287百万円	316百万円	―	南相馬 鹿島 SA
常磐自動車道	宮城県亘理郡山元町坂元字法羅	町道坂元インター線	宮城県亘理郡山元町坂元字上小山	立体接続	平成25年7月1日	平成29年3月31日	1,928百万円	2,113百万円	―	本線 直結 型
常磐自動車道	宮城県亘理郡亘理町逢隈高屋	町道亘理スマートインター線	宮城県亘理郡亘理町逢隈高屋字新谷地	立体接続	平成25年7月1日	平成29年3月31日	682百万円	792百万円	―	鳥の海 PA
北関東自動車道	群馬県太田市成塚町	市道太田成塚北金井1093号線	群馬県太田市北金井町	立体接続	平成25年7月1日	平成30年3月31日	1,446百万円	1,544百万円	―	太田 PA
一般国道6号 （仙台東部道路）	宮城県名取市下増田耕谷	市道飯野坂杉ケ袋線	宮城県名取市下増田耕谷及び飯野坂小揚場	立体接続	平成25年7月1日	平成29年3月31日	2,034百万円	2,145百万円	―	本線 直結 型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県大網白里市小中	市道01-03 2号線	千葉県大網白里市小中	立体接続	平成25年7月1日	平成31年3月31日	1,722百万円	1,863百万円	―	本線直結型
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県茂原市国府関	市道3級42 21号線	千葉県茂原市国府関	立体接続	平成25年7月1日	平成32年3月31日	1,973百万円	2,157百万円	―	本線直結型

別紙１－Ｅ－１４８

東北横断自動車道酒田線（酒田中央JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道酒田線

（2） 工事の箇所

山形県酒田市遊摺部

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道47号	山形県酒田市遊摺部	立体接続	酒田中央インターチェンジ

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　25 年　 4 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　11 月　14 日　（供用開始）

平成　28 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

－

別紙１－Ｅ－１４９

関越自動車道上越線

（長野県上水内郡信濃町大字野尻から新潟県上越市大字中屋敷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道上越線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長野県上水内郡信濃町大字野尻　　から
新潟県上越市大字中屋敷　　まで

（ロ） 延　　長　　37．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間		道路の区分	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 新潟県上越市中郷区二本木	から まで	第1種第3級	道路構造令
新潟県上越市中郷区二本木 新潟県上越市大字中屋敷	から まで	第1種第2級	道路構造令

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設　計　区　間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 新潟県上越市中郷区二本木	から まで	80	17．6	
新潟県上越市中郷区二本木 新潟県上越市大字中屋敷	から まで	100	19．9	

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 新潟県上越市大字中屋敷	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設計区間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左　側	計	左　側	右　側	計	
長野県上水内郡 信濃町大字野尻 から	土工（掘割）部分	1．75	1．75	－	－	－	
	トンネル部分	－	－	－	－	－	
新潟県上越市 中郷区二本木 まで	橋梁高架部分 （中小橋）	1．75	1．75	－	－	－	
	橋梁高架部分 （長大橋）	1．25	1．25	－	－	－	
新潟県上越市 中郷区二本木 から	土工（掘割）部分	2．50	2．50	2．50	1．25	3．75	
	トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
新潟県上越市 大字中屋敷 まで	橋梁高架部分 （中小橋）	2．50	2．50	2．50	1．25	3．75	
	橋梁高架部分 （長大橋）	1．75	1．75	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間		幅　員	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻	から	3．00メートル（土工部）	
新潟県上越市中郷区二本木	まで	3．00メートル（橋梁部）	
新潟県上越市中郷区二本木	から	4．50メートル（土工部）	
新潟県上越市大字中屋敷	まで	4．50メートル（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

62，153　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

69，059 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　65，932 百万円）（消費税込み）

別紙１－E-150

東関東自動車道千葉富津線
（千葉県木更津市中烏田から千葉県富津市竹岡まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　千葉県木更津市中烏田　から
千葉県富津市竹岡　まで

（ロ） 延　　長　20．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県木更津市中烏田 から 千葉県富津市竹岡 まで	100	20．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
千葉県木更津市中烏田　から 千葉県富津市竹岡　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

29，961 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

34，010 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　32，142 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１５１

東関東自動車道水戸線（潮来IC）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県潮来市福島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般県道水戸神栖線	茨城県潮来市福島	立体接続	潮来インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，939 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　23 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，581 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，242 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１５２

東関東自動車道水戸線（鉾田IC）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県鉾田市秋山

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道鉾田茨城線	茨城県鉾田市 飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，469 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　23 年　 4 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，857 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，739 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県久喜市下早見から茨城県猿島郡五霞町大字江川まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県久喜市下早見　　から
茨城県猿島郡五霞町大字江川　　まで

（ロ） 延　　長　　12. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県久喜市下早見 茨城県猿島郡五霞町大字江川	から まで	100	12．7	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県久喜市下早見 茨城県猿島郡五霞町大字江川	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （中小橋）	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （長大橋）	１．７５×２	３．５０	―	―	―	

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東北縦貫自動車道 弘前線	埼玉県久喜市 下早見	立体接続	久喜白岡ジャンクション
都市計画道路 惣新田・幸手線	埼玉県幸手市 大字平須賀	立体接続	幸手インターチェンジ
一般国道4号	茨城県猿島郡五霞町 大字江川	立体接続	五霞インターチェンジ

（4） 工事予算

25，452 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　埼玉県久喜市下早見（STA274+95）から埼玉県幸手市大字上高野（STA331+83）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ロ　埼玉県幸手市大字上高野（STA331+83）から埼玉県幸手市大字上高野（STA335+54）まで
平成　26　年　11　月　13　日

ハ　埼玉県幸手市大字上高野（STA335+54）から埼玉県幸手市大字上高野（STA339+04）まで
平成　26　年　10　月　1　日

ニ　埼玉県幸手市大字上高野（STA339+04）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA357+16）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ホ　埼玉県幸手市大字平須賀（STA357+16）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+47）まで
平成　24　年　7　月　1　日

ヘ　埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+47）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+56）まで
平成　25　年　1　月　15　日

ト　埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+56）から埼玉県幸手市大字木立（STA382+10）まで
平成　24　年　7　月　1　日

別　紙　1

チ　埼玉県幸手市大字木立(STA382+10)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(STA5+37)まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

リ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(STA5+37)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(STA10+43)まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

ヌ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(STA10+43)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(STA12+30)まで
　　平成　26　年　12　月　2　日

ル　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(STA12+30)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(STA14+31)まで
　　平成　26　年　10　月　30　日

ヲ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(STA14+31)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(STA15+01)まで
　　平成　26　年　11　月　13　日

ワ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(STA15+01)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(STA16+91)まで
　　平成　26　年　10　月　30　日

幸手IC　ランプ部
カ　埼玉県幸手市大字平須賀(D-STA1+28)から埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA0+64)まで
　　平成　26　年　5　月　1　日

ヨ　埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA0+64)から埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA1+10)まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

別　紙　1

タ　埼玉県幸手市大字平須賀(A-STA1+06)から埼玉県幸手市大字平須賀(E-STA0+67)まで
　　平成　26　年　5　月　1　日

レ　埼玉県幸手市大字平須賀(E-STA0+67)から埼玉県幸手市大字平須賀(E-STA1+12)まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

幸手IC　管理施設部
ソ　埼玉県幸手市大字平須賀(D-STA1+31)から埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA0+56)まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

五霞IC　ランプ部
ツ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA0+00)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA0+12)まで
　　平成　26　年　10　月　30　日

ネ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA0+12)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA1+93)まで
　　平成　26　年　12　月　2　日

ナ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(B-STA1+86)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(B-STA3+68)まで
　　平成　26　年　12　月　2　日

ラ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(C-STA0+52)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(C-STA2+25)まで
　　平成　26　年　11　月　13　日

ム　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(D-STA1+79)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(D-STA4+50)まで
　　平成　26　年　10　月　30　日

別　紙　1

ウ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(E-STA0+00)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(E-STA1+56)まで
平成　26　年　11　月　26　日

ノ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(F-STA1+58)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(F-STA4+10)まで
平成　27　年　1　月　26　日

オ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(G-STA1+00)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(G-STA4+12)まで
平成　27　年　1　月　26　日

ク　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(H-STA1+60)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(H-STA3+91)まで
平成　26　年　11　月　11　日

ヤ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA0+02)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA1+46)まで
平成　26　年　12　月　2　日

マ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA1+46)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA3+83)まで
平成　26　年　12　月　2　日

ケ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA3+83)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA6+80)まで
平成　26　年　12　月　16　日

フ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA6+80)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA7+37)まで
平成　26　年　12　月　6　日

コ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA7+37)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+78)まで
平成　26　年　11　月　18　日

別　紙　1

エ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+78)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+96)まで
平成　26　年　12　月　6　日

テ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+96)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+72)まで
平成　26　年　11　月　13　日

ア　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+72)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+88)まで
平成　27　年　2　月　1　日

サ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+88)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA14+15)まで
平成　26　年　12　月　6　日

五霞IC　料金所部
キ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA5+65)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA6+30)まで
平成　26　年　5　月　1　日

別　紙　1

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　29　日（供用開始）

平成　27　年　10　月　31　日（五霞インターチェンジ増設レーン供用開始）

平成　30　年　3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26，604 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，902 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１５５

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（茨城県猿島郡五霞町大字江川から茨城県つくば市新井まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県猿島郡五霞町大字江川　　から
茨城県つくば市新井　　まで

（ロ） 延　　長　　35．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設　計　区　間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県猿島郡五霞町大字江川 茨城県つくば市新井	から まで	100	35．4	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
茨城県猿島郡五霞町大字江川 茨城県つくば市新井	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．5　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道4号	茨城県猿島郡 五霞町大字江川	立体接続	五霞インターチェンジ
一般国道354号	茨城県猿島郡 境町大字蛇池	立体接続	境古河インターチェンジ
主要地方道 結城岩井線	茨城県坂東市 冨田	立体接続	坂東インターチェンジ
一般国道294号	茨城県常総市 三坂新田町	立体接続	常総インターチェンジ
県道 取手つくば線	茨城県つくば市 柳橋	立体接続	つくば中央インターチェンジ

（4） 工事予算

41，533 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA16+91）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA17+13）まで
平成　26　年　10　月　30　日

ロ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA17+13）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA19+34）まで
平成　26　年　11　月　11　日

ハ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA19+34）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA23+00）まで
平成　26　年　11　月　11　日

ニ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA23+00）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA26+60）まで
平成　26　年　12　月　2　日

ホ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA26+60）から茨城県猿島郡五霞町大字山王山（STA30+20）まで
平成　26　年　12　月　11　日

ヘ　茨城県猿島郡五霞町大字山王山（STA30+20）から茨城県猿島郡五霞町大字小福田（STA37+30）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ト　茨城県猿島郡五霞町大字小福田（STA37+30）から茨城県猿島郡五霞町大字大福田（STA41+90）まで
平成　26　年　11　月　1　日

別　紙　1

チ　　茨城県猿島郡五霞町大字大福田（STA41+90）から茨城県猿島郡境町大字塚崎（STA50+25）まで
平成　26　年　9　月　1　日

リ　　茨城県猿島郡境町大字塚崎（STA50+25）から茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA79+72）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ヌ　　茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA79+72）から茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA80+40）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ル　　茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA80+40）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA88+80）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ヲ－1－1－1　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA88+80）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA93+23）まで
平成　28　年　10　月　1　日

ヲ－1－1－2　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA93+23）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA99+00）まで
平成　28　年　1　月　1　日

ヲ－1－1－3　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA99+00）から茨城県猿島郡境町山崎（STA111+28）まで
平成　28　年　10　月　1　日

ヲ－1－2　茨城県猿島郡境町山崎（STA111+28）から茨城県猿島郡境町山崎（STA120+00）まで
平成　28　年　2　月　1　日

ヲ－1－3－1　茨城県猿島郡境町山崎（STA120+00）から茨城県坂東市生子（STA140+00）まで
平成　28　年　10　月　1　日

別　紙　1

ヲ－１－３－２　茨城県坂東市生子(STA140+00)から茨城県坂東市生子(STA156+60)まで
平成　28　年　1　月　1　日

ヲ－１－４　茨城県坂東市生子(STA156+60)から茨城県坂東市半谷(STA159+11)まで
平成　28　年　2　月　1　日

ヲ－１－５　茨城県坂東市半谷(STA159+11)から茨城県坂東市冨田(STA172+45)まで
平成　28　年　10　月　1　日

ヲ－２　茨城県坂東市冨田(STA172+45)から茨城県坂東市弓田(STA192+00)まで
平成　28　年　3　月　1　日

ヲ－３　茨城県坂東市弓田(STA192+00)から茨城県坂東市弓田(STA208+20)まで
平成　28　年　8　月　1　日

ヲ－４　茨城県坂東市弓田(STA208+20)から茨城県常総市大生郷新田町(STA231+73)まで
平成　28　年　4　月　1　日

ヲ－５　茨城県常総市大生郷新田町(STA231+73)から茨城県常総市大輪町(STA251+16)まで
平成　28　年　8　月　1　日

ヲ－６　茨城県常総市大輪町(STA251+16)から茨城県常総市三坂町(STA266+38)まで
平成　28　年　4　月　1　日

ヲ－７　茨城県常総市三坂町(STA266+38)から茨城県常総市三坂町(STA269+17)まで
平成　28　年　7　月　1　日

別　紙　1

ヲ － 8　茨城県常総市三坂町（STA269+17）から茨城県つくば市高良田元上新田（STA292+93）まで
　　平成　28　年　4　月　1　日

ヲ － 9　茨城県つくば市高良田元上新田（STA292+93）から茨城県つくば市島名（STA343+77）まで
　　平成　28　年　8　月　1　日

ヲ － 10 茨城県つくば市島名（STA343+77）から茨城県つくば市柳橋（STA367+47）まで
　　平成　28　年　4　月　1　日

ヲ － 11 茨城県つくば市柳橋（STA367+47）から茨城県つくば市新井（STA371+21）まで
　　平成　28　年　8　月　1　日

坂東IC　　茨城県坂東市冨田（C-STA1+00）から茨城県坂東市冨田（E-STA0+35）まで
　　平成　27　年　7　月　10　日

常総IC　　茨城県常総市三坂町（A-STA0+55）から茨城県常総市三坂町（E-STA0+25）まで
　　平成　27　年　7　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、
　会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　29　日（五霞～境古河　供用開始）

　　平成　29　年　3　月　31　日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

44，242 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　41，379 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１５６

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）
（茨城県稲敷市沼田から千葉県成田市吉岡まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県稲敷市沼田　　から
千葉県成田市吉岡　　まで

（ロ） 延　　長　　20. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県稲敷市沼田　から 千葉県成田市吉岡　まで	100	20．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘　要
茨城県稲敷市沼田　から 千葉県成田市吉岡　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2 2．30×1 2．50×1	3．50 2．30 2．50	－	－	－	稲敷～神崎 神崎～大栄 神崎～大栄
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．5	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．5	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．5　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道 江戸崎新利根線	茨城県稲敷市 沼田	立体接続	稲敷インターチェンジ
県道 江戸崎下総線	茨城県稲敷市 桑山	立体接続	稲敷東インターチェンジ
一般国道356号	千葉県香取郡 神崎町大字松崎	立体接続	神崎インターチェンジ
主要地方道 成田下総線	千葉県成田市 青山	立体接続	下総インターチェンジ
東関東自動車道 水戸線	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション

（4） 工事予算

18，940 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ－ 1 茨城県稲敷市沼田（STA195+40）から茨城県稲敷市沼田（STA203+05）まで
平成 25 年 10 月 1 日

イ－ 2 茨城県稲敷市沼田（STA203+05）から茨城県稲敷市沼田（STA205+45）まで
平成 25 年 7 月 1 日

イ－ 3 茨城県稲敷市沼田（STA205+45）から茨城県稲敷市沼田（STA208+55）まで
平成 25 年 4 月 1 日

イ－ 4 茨城県稲敷市沼田（STA208+55）から茨城県稲敷市沼田（STA209+75）まで
平成 25 年 8 月 1 日

イ－ 5 茨城県稲敷市沼田（STA209+75）から茨城県稲敷市沼田（STA210+75）まで
平成 25 年 10 月 1 日

イ－ 6 茨城県稲敷市沼田（STA210+75）から茨城県稲敷市江戸崎（STA211+95）まで
平成 25 年 8 月 1 日

イ－ 7 茨城県稲敷市江戸崎（STA211+95）から茨城県稲敷市江戸崎（STA213+20）まで
平成 26 年 3 月 1 日

別　紙　1

イ－ 8 茨城県稲敷市江戸崎(STA213+20)から茨城県稲敷市江戸崎(STA220+74)まで
平成 25 年 8 月 1 日

イ－ 9 茨城県稲敷市江戸崎(STA220+74)から茨城県稲敷市江戸崎(STA225+65)まで
平成 25 年 7 月 1 日

イ－ 10 茨城県稲敷市江戸崎(STA225+65)から茨城県稲敷市駒塚(STA233+35)まで
平成 25 年 4 月 1 日

ロ－ 1 茨城県稲敷市駒塚(STA233+35)から茨城県稲敷市駒塚(STA233+85)まで
平成 25 年 11 月 1 日

ロ－ 2 茨城県稲敷市駒塚(STA233+85)から茨城県稲敷市駒塚(STA236+00)まで
平成 26 年 3 月 1 日

ロ－ 3 茨城県稲敷市駒塚(STA236+00)から茨城県稲敷市椎塚(STA237+82)まで
平成 25 年 9 月 1 日

ロ－ 4 茨城県稲敷市椎塚(STA237+82)から茨城県稲敷市椎塚(STA242+85)まで
平成 25 年 10 月 1 日

ロ－ 5 茨城県稲敷市椎塚(STA242+85)から茨城県稲敷市清水(STA247+10)まで
平成 26 年 3 月 1 日

ロ－ 6 茨城県稲敷市清水(STA247+10)から茨城県稲敷市清水(STA248+89)まで
平成 25 年 11 月 1 日

別　紙　1

ロ－ 7　茨城県稲敷市清水（STA248+89）から茨城県稲敷市清水（STA252+90）まで
　　平成　25　年　10　月　1　日

ハ－ 1　茨城県稲敷市清水（STA252+90）から茨城県稲敷市清水（STA265+45）まで
　　平成　25　年　10　月　1　日

ハ－ 2　茨城県稲敷市清水（STA265+45）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA4+65）まで
　　平成　25　年　4　月　1　日

二－ 3　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA4+65）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA7+80）まで
　　平成　25　年　11　月　1　日

二－ 4　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA7+80）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA12+60）まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

二－ 5　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA12+60）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+24）まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

ホ－ 1　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+24）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+55）まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

ホ－ 2　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+55）から千葉県成田市高（STA17+20）まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

ホ－ 3　千葉県成田市高（STA17+20）から千葉県成田市高（STA17+80）まで
　　平成　26　年　10　月　1　日

別　紙　1

ホ－ 4 千葉県成田市高(STA17+80)から千葉県成田市高(STA19+40)まで
平成 26 年 8 月 1 日

ホ－ 5 千葉県成田市高(STA19+40)から千葉県成田市高(STA19+64)まで
平成 26 年 9 月 1 日

ホ－ 6 千葉県成田市高(STA19+64)から千葉県成田市高(STA20+24)まで
平成 26 年 8 月 18 日

ホ－ 7 千葉県成田市高(STA20+24)から千葉県成田市高(STA21+46)まで
平成 26 年 9 月 1 日

ホ－ 8 千葉県成田市高(STA21+46)から千葉県成田市高(STA22+02)まで
平成 26 年 11 月 10 日

ホ－ 9 千葉県成田市高(STA22+02)から千葉県成田市名木(STA24+35)まで
平成 26 年 9 月 15 日

ホ－ 10 千葉県成田市名木(STA24+35)から千葉県成田市名木(STA27+80)まで
平成 26 年 11 月 20 日

ホ－ 11 千葉県成田市名木(STA27+80)から千葉県成田市名木(STA31+20)まで
平成 26 年 12 月 1 日

ホ－ 12 千葉県成田市名木(STA31+20)から千葉県成田市名木(STA32+10)まで
平成 26 年 10 月 1 日

別　紙　1

ホ－ 13 千葉県成田市名木(STA32+10)から千葉県成田市名木(STA35+50)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

ホ－ 14 千葉県成田市名木(STA35+50)から千葉県成田市名木(STA37+60)まで
　　平成　26　年　11　月　20　日

ホ－ 15 千葉県成田市名木(STA37+60)から千葉県成田市名木(STA39+00)まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

ホ－ 16 千葉県成田市名木(STA39+00)から千葉県成田市名木(STA41+83)まで
　　平成　26　年　11　月　10　日

ホ－ 17 千葉県成田市名木(STA41+83)から千葉県成田市名木(STA45+40)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

ヘ－ 1　千葉県成田市名木(STA45+40)から千葉県成田市倉水(STA59+20)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

ヘ－ 2　千葉県成田市倉水(STA59+20)から千葉県成田市稲荷山(STA60+40)まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

ヘ－ 3　千葉県成田市稲荷山(STA60+40)から千葉県成田市稲荷山(STA63+00)まで
　　平成　26　年　11　月　10　日

ヘ－ 4　千葉県成田市稲荷山(STA60+40)から千葉県成田市成井(STA63+80)まで
　　平成　26　年　10　月　1　日

別　紙　1

へ－ 5　千葉県成田市成井(STA63+80)から千葉県成田市成井(STA66+20)まで
　　平成　26　年　11　月　20　日

へ－ 6　千葉県成田市成井(STA66+20)から千葉県成田市成井(STA67+45)まで
　　平成　26　年　12　月　10　日

へ－ 7　千葉県成田市成井(STA67+45)から千葉県成田市成井(STA68+20)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 8　千葉県成田市成井(STA68+20)から千葉県成田市成井(STA71+40)まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

へ－ 9　千葉県成田市成井(STA71+40)から千葉県成田市成井(STA73+46)まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

へ－ 10 千葉県成田市成井(STA73+46)から千葉県成田市芝(STA76+52)まで
　　平成　26　年　8　月　18　日

へ－ 11 千葉県成田市芝(STA76+52)から千葉県成田市芝(STA87+77)まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

へ－ 12 千葉県成田市芝(STA87+77)から千葉県成田市芝(STA92+20)まで
　　平成　26　年　8　月　18　日

へ－ 13 千葉県成田市芝(STA92+20)から千葉県成田市吉岡(STA101+68)まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

別　紙　1

へ－ 14 千葉県成田市吉岡（STA101+68）から千葉県成田市吉岡（STA102+95）まで
平成　26　年　9　月　15　日

ト　　千葉県成田市吉岡（STA102+95）から千葉県成田市吉岡（STA106+70）まで
平成　26　年　11　月　20　日

稲敷東IC
ハ　　茨城県稲敷市清水（A-STA0＋85）から茨城県稲敷市清水（E-STA0＋55）まで

神崎IC
ニ－ 1　千葉県香取郡神崎町大字松崎（C-STA2＋22）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（E-STA0＋50）まで
平成　25　年　1　月　21　日

ニ－ 2　千葉県香取郡神崎町大字松崎（E-STA0＋50）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（E-STA3＋25）まで
平成　25　年　10　月　1　日

ニ－ 3　千葉県香取郡神崎町大字松崎（B-STA2+22）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（B-STA7+06）まで
平成　26　年　7　月　17　日

ニ－ 4　千葉県香取郡神崎町大字松崎（C1-STA2+22）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（C1-STA4+58）まで
平成　26　年　7　月　17　日

ニ－ 5　千葉県香取郡神崎町大字松崎（C2-STA0+0）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（C2-STA3+20）まで
平成　26　年　7　月　17　日

ニ－ 6　千葉県香取郡神崎町大字松崎（D-STA0+0）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（D-STA2+0）まで
平成　26　年　9　月　1　日

別　紙　1

下総IC

へ－ 1　千葉県成田市青山(C1-STA0+50)から千葉県成田市青山(E-STA0+71)まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

へ－ 2　千葉県成田市青山(C1-STA0+50)から千葉県成田市青山(C1-STA1+91)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 3　千葉県成田市青山(A-STA0+50)から千葉県成田市名木(A-STA4+25)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 4　千葉県成田市青山(B-STA0+50)から千葉県成田市名木(B-STA4+96)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 5　千葉県成田市青山(C2-STA1+91)から千葉県成田市名木(C2-STA4+97)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 6　千葉県成田市青山(D-STA1+91)から千葉県成田市名木(D-STA5+86)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 7　千葉県成田市青山(E-STA0+71)から千葉県成田市名木(E-STA1+91)まで
　　平成　27　年　1　月　1　日

別　紙　1

大栄JCT

ト－ 1　千葉県成田市吉岡(B-STA2+10)から千葉県成田市吉岡(B-STA9+53)まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

ト－ 2　千葉県成田市吉岡(H-STA2+10)から千葉県成田市吉岡(H-STA7+48)まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　4　月　12　日　　(稲敷IC～神崎IC　供用開始)

平成　27　年　6　月　7　日　　(神崎IC～大栄JCT　供用開始)

平成　30　年　3　月　31　日　　(残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，483 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額　　19，308 百万円)(消費税込み)

別紙１－Ｅ－１５７

関越自動車道新潟線
（東京都三鷹市北野から東京都練馬区大泉町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　東京都三鷹市北野　から
東京都練馬区大泉町　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都三鷹市北野 東京都練馬区大泉町	から まで	80	9．8	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．25 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
東京都三鷹市北野 東京都練馬区大泉町	から まで	6 車線	6 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	0．75	3．25	
トンネル部分	－	－	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道富士吉田線	東京都三鷹市北野	立体接続 平面接続	中央ジャンクション（仮称） 本線
都道新宿国立線	東京都三鷹市牟礼	立体接続	東八道路インターチェンジ（仮称）
都道東京所沢線	東京都練馬区関町南	立体接続	青梅街道インターチェンジ（仮称）
都道練馬所沢線	東京都練馬区東大泉	立体接続	目白通りインターチェンジ（仮称）
東北縦貫自動車道弘前線	東京都練馬区大泉町	平面接続	本線
関越自動車道新潟線	東京都練馬区大泉町	立体接続	大泉ジャンクション

（4） 工事予算

328，516 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　東京都三鷹市北野(STA.63+36)から東京都練馬区東大泉(STA.153+10)まで
平成　30　年　10 月　　1 日

ロ　東京都練馬区大泉(STA.159+15)から東京都練馬区大泉(STA.160+89)まで
平成　26　年　　9 月　11 日

ハ　東京都練馬区東大泉(STA.153+10)から東京都練馬区大泉町(STA.159+15)まで
平成　27　年　10 月　　1 日

ニ　東京都練馬区石神井町(STA.149+40)から東京都練馬区東大泉(STA.153+10)まで
平成　28　年　　3 月　　1 日

ホ　東京都練馬区関町南（STA118+28)から東京都練馬区石神井町(STA.149+40)まで
平成　28　年　　3 月　　1 日

・ なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

373，059 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　355，267 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１５８

一般国道４５号（三陸縦貫自動車道（仙塩道路））
（宮城県仙台市宮城野区中野から宮城県宮城郡利府町春日まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道45号

（有料道路名 ： 三陸縦貫自動車道（仙塩道路））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県仙台市宮城野区中野　　から
宮城県宮城郡利府町春日　　まで

（ロ） 延　　長　　7．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
宮城県仙台市宮城野区中野 宮城県宮城郡利府町春日	から まで	100	7．8	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
宮城県仙台市宮城野区中野 宮城県宮城郡利府町春日	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員　　— メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50 メートル （土工部）
4．50 メートル （橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道泉塩釜線	宮城県多賀城市南宮	立体接続	多賀城インターチェンジ

（4） 工事予算

2，895 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　　宮城県仙台市宮城野区中野（No41+10.00） から 宮城県多賀城市市川多賀前（No159+1.00） まで
平成　27 年　4 月　17 日

ロ－1　宮城県多賀城市市川多賀前（No159+1.00） から 宮城県多賀城市南宮八幡（No168+0.00） まで
平成　27 年　9 月　1 日

ロ－2　宮城県多賀城市南宮八幡（No168+0.00） から 宮城県多賀城市南宮八幡（No180+18.00） まで
平成　27 年　7 月　1 日

別　紙　1

ハ　　宮城県多賀城市南宮八幡（No180+18.00） から 宮城県多賀城市市川中谷地（No214+3.60） まで
平成　27 年　8 月　1 日

ニ　　宮城県多賀城市市川中谷地（No214+3.60） から 宮城県宮城郡利府町春日（No16+4.64） まで
平成　27 年　4 月　17 日

ホ　　宮城県多賀城市南宮八幡（No.A 21+15.10） から 宮城県多賀城市南宮八幡（No.A 29+6.10） まで
平成　27 年　9 月　1 日

ヘ　　宮城県多賀城市南宮八幡（No.B 26+5.46） から 宮城県多賀城市南宮八幡（No.B 33+11.46） まで
平成　27 年　9 月　1 日

ト　　宮城県多賀城市南宮八幡（No.C 14+15.10） から 宮城県多賀城市南宮八幡（No.C 21+17.10） まで
平成　27 年　5 月　1 日

チ　　宮城県多賀城市南宮八幡（No.D 16+5.98） から 宮城県多賀城市南宮八幡（No.D 20+17.98） まで
平成　27 年　10 月　1 日

リ　　宮城県多賀城市南宮八幡 から 宮城県多賀城市南宮八幡 まで （ランプ土工部）
平成　27 年　12 月　10 日

ヌ　　宮城県多賀城市南宮八幡 から 宮城県多賀城市南宮八幡 まで （料金所部）
平成　27 年　5 月　1 日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，205 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，008 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１５９

北関東自動車道（太田PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

群馬県太田市

別　紙　1

（3） 工事予算

4，584 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　25 年　7 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，086 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，806 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１６１

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県横浜市栄区田谷町から神奈川県藤沢市城南二丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名　　一般国道468号
（有料道路名 : 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市栄区田谷町　　から
神奈川県藤沢市城南二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　7．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市栄区田谷町　から 神奈川県藤沢市城南二丁目　まで	80	7．3	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県横浜市栄区田谷町　から 神奈川県藤沢市城南二丁目　まで	4 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．5×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00 メートル　（土工部）
3．00 メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道468号（横浜横須賀道路） 及び都市計画道路横浜藤沢線	神奈川県横浜市栄区田谷町	立体接続	栄インター・ジャンクション（仮称）
一般国道1号	神奈川県藤沢市城南二丁目	立体接続	藤沢インターチェンジ
一般国道1号（新湘南バイパス）	神奈川県藤沢市城南二丁目	平面接続	藤沢インターチェンジ

（4） 工事予算

14，645 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　神奈川県横浜市栄区田谷町(STA.00+73)から神奈川県藤沢市城南一丁目(STA.74+05)まで
平成　31　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

16，732 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　15，237 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（千葉県成田市吉岡から千葉県山武市松尾町谷津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名　　一般国道468号
（有料道路名 : 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県成田市吉岡　　から
千葉県山武市松尾町谷津　　まで

（ロ） 延　　長　　18. 5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県成田市吉岡　から 千葉県山武市松尾町谷津　まで	100	18. 5	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（へ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
千葉県成田市吉岡　から 千葉県山武市松尾町谷津　まで	2 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．00×2	2．00	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．5 メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東関東自動車道水戸線	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション
県道成田小見川鹿島港線	千葉県成田市 川上	立体接続	（主）成田小見川鹿島港線 インターチェンジ（仮称）
一般国道296号	千葉県香取郡 多古町喜多	立体接続	国道296号インターチェンジ（仮称）
一般国道126号（銚子連絡道路） 及び県道成田松尾線	千葉県山武市 松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ
一般国道126号（千葉東金道路）	千葉県山武市 松尾町谷津	平面接続	松尾横芝インターチェンジ

（4） 工事予算

13，718 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　千葉県成田市吉岡(STA.0+00)から千葉県山武市松尾町谷津(STA.184+90)まで
平成　33 年　4 月　1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成　35 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

15，541 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，253 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１６３

北海道縦貫自動車道函館名寄線（士別剣淵IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道士別市南町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道士別剣淵インター線	北海道士別市南町及び 北海道上川郡剣淵町	立体接続	士別剣淵インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

259　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　10 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

290　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　277 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１６４

日本海沿岸東北自動車道（酒田みなとIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

山形県酒田市藤塚字ふけ田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道酒田八幡線	山形県酒田市 藤塚字南割	立体接続	酒田みなとインターチェンジ
日本海沿岸東北自動車道	山形県酒田市 藤塚字ふけ田	平面接続	本線 （新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，632 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，858 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，797 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１６５

常磐自動車道（いわき小名浜IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県いわき市山田町長沢

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
小名浜道路 （県道いわき上三坂小野線）	福島県いわき市 山田町長沢	立体接続	いわき小名浜インターチェンジ （仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，317 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　34 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，511 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，419 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１６６

一般国道１３号（米沢南陽道路）（米沢北IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道13号

（有料道路名 ： 米沢南陽道路）

（2） 工事の箇所

山形県米沢市窪田町

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
国道121号	山形県米沢市窪田町	立体接続	米沢北インターチェンジ
東北中央自動車道相馬尾花沢線	山形県米沢市窪田町	平面接続	本線 （新直轄）

（4） 工事予算

678 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　28　年　4　月　1　日

・なお、工事の着手予定年月日とは、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

759 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　732 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１６７

東北縦貫自動車道　弘前線（平泉スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

岩手県西磐井郡平泉町字祇園

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道　祇園線	岩手県西磐井郡平泉町字 祇園	立体接続	平泉スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

3，056 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，390 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１６８

東北縦貫自動車道　八戸線（八戸西スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　八戸線

（2） 工事の箇所

青森県八戸市大字尻内町字根岸

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　新川添線（上り線） 及び市道　畑田線（下り線）	青森県八戸市大字尻内町 字新川添及び畑田	立体接続	八戸西スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，637 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，854 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１６９

東北横断自動車道　釜石秋田線（横手北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道　釜石秋田線

（2） 工事の箇所

秋田県横手市猪岡字竜ノ末

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　横手北スマートインター線	秋田県横手市猪岡字水越	立体接続	横手北スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，630 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，828 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１７０

東北横断自動車道 いわき新潟線（田村中央スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道 いわき新潟線

（2） 工事の箇所

福島県田村市大越町牧野

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　堀之内線	福島県田村市大越町牧野	立体接続	田村中央スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，246 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，426 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１７１

常磐自動車道（水戸北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県水戸市飯富町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道水戸北スマートインター1号線（仮称）及び市道水戸北スマートインター2号線（仮称）	茨城県水戸市飯富町	立体接続	水戸北スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，399 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，552 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１７２

常磐自動車道（ならはスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡楢葉町大字大谷

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道　ならはスマートインター線	福島県双葉郡楢葉町大字 大谷	立体接続	ならはスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，432 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，634 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１７３

東北縦貫自動車道弘前線（福島北JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

福島県伊達郡桑折町大字松原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道115号（東北中央自動車道） 相馬福島道路	福島県伊達郡桑折町 大字松原	立体接続	福島北ジャンクション （仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

5，297 百万円 （消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　32 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，101 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　5，881 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１７４

常磐自動車道（大熊IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡大熊町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道西20号線	福島県双葉郡大熊町	立体接続	大熊インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，508 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，701 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，638 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力災害により設定された帰還困難区域における施工のため、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙１－Ｅ－１７５

常磐自動車道（双葉IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡双葉町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道双葉インター線	福島県双葉郡双葉町	立体接続	双葉インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，378 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　32 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，563 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，502 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力災害により設定された帰還困難区域における施工のため、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙１－Ｅ－１７６

東北縦貫自動車道弘前線（大谷スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県宇都宮市宝木町及び駒生町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道大谷スマートインター1号線及び市道大谷スマートインター2号線	栃木県宇都宮市宝木町及び駒生町	立体接続	大谷スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

3，740 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，196 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１７７

関越自動車道新潟線（三芳スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の箇所

埼玉県入間郡三芳町上富

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道幹線3号線及び町道上富69号線	埼玉県入間郡三芳町上富	立体接続	三芳スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，048 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，125 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１７８

一般国道１６号（横浜横須賀道路）（横須賀ＰＡスマートＩＣ）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名:横浜横須賀道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県横須賀市平作

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道7566号坂本芦名線	神奈川県横須賀市平作	立体接続	横須賀PAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，085 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，198 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県厚木市下津古久まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県厚木市下津古久　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県厚木市 下津古久　まで	120	1．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　 245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県厚木市 下津古久　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	―	―	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （中小橋）	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	―	―	―	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
一般国道129号	神奈川県厚木市 下津古久	立体接続	厚木南インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

121，173 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

103，514 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　98，338 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－３

第二東海自動車道横浜名古屋線
（神奈川県厚木市下津古久から神奈川県伊勢原市上粕屋まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県厚木市下津古久　　から
神奈川県伊勢原市上粕屋　　まで

（ロ） 延　　長　　6．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県厚木市 下津古久　から 神奈川県伊勢原市 上粕屋　まで	120	6．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　 245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県厚木市 下津古久　から 神奈川県伊勢原市 上粕屋　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	—	—	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道129号	神奈川県厚木市 下津古久	立体接続	厚木南インターチェンジ（仮称）
第一東海自動車道	神奈川県伊勢原市 東富岡	立体接続	伊勢原ジャンクション（仮称）
一般国道246号 （厚木秦野道路）	神奈川県伊勢原市 上粕屋	立体接続	伊勢原北インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

274，675 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

279，956 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　265，958 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－４

第二東海自動車道横浜名古屋線
（神奈川県伊勢原市上粕屋から神奈川県秦野市柳川まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県伊勢原市上粕屋　　から
神奈川県秦野市柳川　　まで

（ロ） 延　　長　　12．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県伊勢原市上粕屋　から 神奈川県秦野市柳川　まで	120	12．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県伊勢原市上粕屋 から 神奈川県秦野市柳川 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道246号（厚木秦野道路）	神奈川県伊勢原市上粕屋	立体接続	伊勢原北インターチェンジ（仮称）
一般国道246号	神奈川県秦野市菖蒲	立体接続	秦野インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

337，284 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　1　月　12　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

379，303 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　360，338 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県秦野市柳川から静岡県御殿場市駒門まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県秦野市柳川　　から
静岡県御殿場市駒門　　まで

（ロ） 延　　長　　32. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県秦野市柳川　から 静岡県御殿場市駒門　まで	120	32. 3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県秦野市柳川 から 静岡県御殿場市駒門 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	―――	―――	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―――　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道138号 及び県道仁杉柴怒田線	静岡県御殿場市柴怒田	立体接続	御殿場インターチェンジ（仮称）
第一東海自動車道	静岡県御殿場市駒門	立体接続	御殿場ジャンクション

（4） 工事予算

512，434 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

577，645 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　548，762 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－６

第二東海自動車道横浜名古屋線
（静岡県御殿場市駒門から静岡県駿東郡長泉町大字元長窪まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県御殿場市駒門　　から
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　まで

（ロ） 延　　長　　13．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県御殿場市駒門　から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　まで	120	13．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3.50 メートル 及び 3.75 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県御殿場市駒門 から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	―	―	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	―	―	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（長大橋）	―	―	3．00	1．25	4．25	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	静岡県御殿場市 駒門	立体接続	御殿場ジャンクション
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道） 及び県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪	立体接続	長泉沼津インターチェンジ

（4） 工事予算

217，487 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　10　年　1　月　20　日	
②工事の完成予定年月日	平成　24　年　4　月　14　日	（供用開始）
	平成　30　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

137，915 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　137，915 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－７

第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から静岡県浜松市北区引佐町東黒田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　から
静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　まで

（ロ） 延　　長　　131．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪　から 静岡県浜松市 北区引佐町東黒田　まで	120	131．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル　および　3．75 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪　から 静岡県浜松市 北区引佐町東黒田　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	3．00	1．75	4．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	3．00	1．25	4．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道） 及び県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪	立体接続	長泉沼津インターチェンジ
一般国道139号（西富士道路） 及び県道一色久沢線	静岡県富士市 厚原	立体接続	新富士インターチェンジ
一般国道52号	静岡県静岡市 清水区宍原	立体接続	新清水インターチェンジ
中部横断自動車道	静岡県静岡市 清水区吉原	立体接続	新清水ジャンクション
県道清水富士宮線	静岡県静岡市 清水区杉山	立体接続	清水いはらインターチェンジ
第一東海自動車道	静岡県静岡市 清水区草ヶ谷	立体接続	清水ジャンクション
県道井川湖御幸線 及び県道山脇大谷線	静岡県静岡市 葵区下	立体接続	新静岡インターチェンジ

別　紙　1

一般国道1号 及び県道静岡朝比奈藤枝線	静岡県藤枝市 岡部町入野	立体接続	藤枝岡部インターチェンジ
一般国道473号	静岡県島田市 横岡新田	立体接続	島田金谷インターチェンジ
県道掛川天竜線	静岡県周智郡 森町睦実	立体接続	森掛川インターチェンジ
一般国道152号	静岡県浜松市 浜北区中瀬	立体接続	浜松浜北インターチェンジ
一般国道474号 （三遠南信自動車道）	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさジャンクション
一般国道257号	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさインターチェンジ
第一東海自動車道	静岡県浜松市 北区三ヶ日町福長	立体接続	三ヶ日ジャンクション

（4） 工事予算

2，294，749 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日

②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　4　月　14　日　（供用開始）

平成　30　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

970，271 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　970，271 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８

第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県浜松市北区引佐町東黒田から愛知県豊田市岩倉町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　から
愛知県豊田市岩倉町　　まで

（ロ） 延　　長　　55．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田　から 愛知県豊田市岩倉町　まで	120	55．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田　から 愛知県豊田市岩倉町　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	3．25×2	6．50	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	3．25×2	6．50	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00メートル(土工部)
3．00メートル(橋梁部)

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道474号（三遠南信自動車道）	静岡県浜松市北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさジャンクション
一般国道151号	愛知県新城市八束穂	立体接続	新城インターチェンジ
一般国道473号	愛知県岡崎市樫山町	立体接続	岡崎東インターチェンジ
一般国道475号（東海環状自動車道）	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション

（4） 工事予算

611，962 百万円(消費税込み)

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　5　年　12　月　4　日	
②工事の完成予定年月日	平成　28　年　2　月　13　日	（供用開始）
	平成　30　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

630，615 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　630，615 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－９

中部横断自動車道

（静岡県静岡市清水区吉原から山梨県南巨摩郡南部町福士まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県静岡市清水区吉原　　から
山梨県南巨摩郡南部町福士　　まで

（ロ） 延　　長　　20．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県静岡市 清水区吉原　から 山梨県南巨摩郡 南部町福士　まで	80	20．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県静岡市 清水区吉原　から 山梨県南巨摩郡 南部町福士　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県静岡市 清水区吉原	立体接続	新清水ジャンクション
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 南部町福士	立体接続	富沢インターチェンジ（仮称）
中部横断自動車道	山梨県南巨摩郡 南部町福士	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

157，751 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

173，701 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　165，015 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１０

中部横断自動車道

（山梨県西八代郡市川三郷町宮原から山梨県南巨摩郡富士川町大椚まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山梨県西八代郡市川三郷町宮原　　から
山梨県南巨摩郡富士川町大椚　　まで

（ロ） 延　　長　　9．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
山梨県西八代郡 市川三郷町宮原　から 山梨県南巨摩郡 富士川町大椚　まで	80	9．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山梨県西八代郡 市川三郷町宮原　から 山梨県南巨摩郡 富士川町大椚　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル
　　－　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中部横断自動車道	山梨県西八代郡 市川三郷町宮原	平面接続	本線（新直轄）
県道市川三郷身延線	山梨県西八代郡 市川三郷町宮原	立体接続	六郷インターチェンジ（仮称）
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 富士川町青柳町	立体接続	増穂インターチェンジ

（4） 工事予算

72，842 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

79，213 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　75，252 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１３

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県四日市市伊坂町から三重県四日市市北山町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市伊坂町　から
三重県四日市市北山町　まで

（ロ） 延　　長　　4．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県四日市市伊坂町　から 三重県四日市市北山町　まで	100	4．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
三重県四日市市伊坂町　から 三重県四日市市北山町　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
近畿自動車道　名古屋亀山線	三重県四日市市伊坂町	立体接続	四日市ジャンクション
一般国道475号 （東海環状自動車道）	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション

（4） 工事予算

53，320 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　28　年　9　月　30　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

57，418 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　54，547 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１４

近畿自動車道名古屋神戸線
（三重県四日市市北山町から三重県三重郡菰野町大字潤田まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市北山町　　から
三重県三重郡菰野町大字潤田　　まで

（ロ） 延　　長　　8．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県四日市市北山町　から 三重県三重郡菰野町大字潤田　まで	120	8．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市北山町　から 三重県三重郡菰野町大字潤田　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道477号	三重県三重郡菰野町 大字潤田	立体接続	菰野インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

95，625　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

104，511　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　99，285　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１５

近畿自動車道名古屋神戸線
（三重県三重郡菰野町大字潤田から三重県亀山市安坂山町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県三重郡菰野町大字潤田　　から
三重県亀山市安坂山町　　まで

（ロ） 延　　長　　15．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県三重郡菰野町大字潤田　から 三重県亀山市安坂山町　まで	120	15．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県三重郡菰野町大字潤田 から 三重県亀山市安坂山町 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
ー	ー	ー	ー

（4） 工事予算

180，402 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成 18 年 4 月 19 日
②工事の完成予定年月日　平成 31 年 3 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

196，042 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　186，240 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１７

近畿自動車道尾鷲多気線

（三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島から三重県度会郡大紀町崎まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道 尾鷲多気線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島　から
三重県度会郡大紀町崎　まで

（ロ） 延　　長　　10．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県北牟婁郡紀北町 紀伊長島区東長島　から 三重県度会郡大紀町崎　まで	80	10．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県北牟婁郡紀北町 紀伊長島区東長島　から 三重県度会郡大紀町崎　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
近畿自動車道尾鷲多気線	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島	平面接続	本線（新直轄）
一般国道422号	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島	立体接続	紀伊長島インターチェンジ
県道紀勢インター線	三重県度会郡大紀町崎	立体接続	紀勢大内山インターチェンジ

（4） 工事予算

42，062 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　24　日　（供用開始）
平成　30　年　9　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

46，494 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　46，494 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１９

近畿自動車道敦賀線

（福井県小浜市府中から福井県敦賀市高野まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福井県小浜市府中　　から
福井県敦賀市高野　　まで

（ロ） 延　　長　　39．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福井県小浜市府中　から 福井県敦賀市高野　まで	80	39．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福井県小浜市府中　から 福井県敦賀市高野　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

※　土工部については、左側路肩を二次除雪作業に必要な作業幅員2．50mを確保する。

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　―　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道上中田烏線	福井県三方上中郡若狭町上黒田	立体接続	若狭上中インターチェンジ
一般国道27号	福井県三方上中郡若狭町気山	立体接続	若狭三方インターチェンジ
一般国道27号	福井県三方郡美浜町山上	立体接続	若狭美浜インターチェンジ
北陸自動車道	福井県敦賀市高野	立体接続	敦賀ジャンクション

（4） 工事予算

172，261 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日

②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　7　月　20　日　（供用開始）

平成　29　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

179，037　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　179，037　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２０

中央自動車道富士吉田線（高井戸IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都杉並区上高井戸

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	浅間橋ONランプ
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	高井戸OFFランプ
主要地方道環状8号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	中之橋ONランプ

別　紙　1

（4） 工事予算

42，531 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　37 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

51，585 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額 49，005 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２２

中央自動車道富士吉田線（元八王子IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都八王子市元八王子町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
都道山田宮ノ前線	東京都八王子市 元八王子町	立体接続	元八王子インターチェンジ （仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

56 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　30 年　 4 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

当該インターチェンジは、接続道路管理者が高速自動車国道法第１１条の２第１項の連結許可を受けていないため、今後の検討に必要な当面の設計費用のみを計上することとする。着手予定年月日は、さしあたり平成30年4月1日とし、完成予定年月日は、現行整備計画区間が全て完成すると想定している時期とした。なお、連結許可が出された時点で必要な協定変更を行う。

２．工事に要する費用に係る債務引受限度額

79 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　79 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２４

中央自動車道富士吉田線（八王子JCT）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都八王子市裏高尾町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	東京都八王子市 裏高尾町	立体接続	八王子ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

9，217 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　4 月　3 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　25 日　（供用開始）
平成　30 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，405 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，405 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２６

中央自動車道西宮線（諏訪IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県諏訪市中洲

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道20号	長野県諏訪市 中洲	立体接続	諏訪インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，028 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　41 年　10 月　25 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，211 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，150 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２９

中央自動車道西宮線（養老JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県養老郡養老町飯積

（3） 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県養老郡養老町飯積	立体接続	養老ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，257 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，159 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，951 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－３０

中央自動車道長野線（松本JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　長野線

（2） 工事の箇所

長野県松本市島立

（3） 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道158号 （中部縦貫自動車道）	長野県松本市島立	立体接続	松本ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

4，266 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，760 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　5，472　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－３２

第一東海自動車道
（神奈川県海老名市大谷から神奈川県海老名市今里まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市大谷　　から
神奈川県海老名市今里　　まで

（ロ） 延　　長　　2．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 大谷　から 神奈川県海老名市 今里　まで	120	2．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．60 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 大谷　から 神奈川県海老名市 今里　まで	6 車線	6 車線	付加車線事業

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

12，189 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14　年　4　月　9　日
②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　6　月　25　日　（供用開始）
平成　30　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

13，042 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，389 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－３３

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市社家まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県海老名市社家　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県海老名市 社家　まで	80	1．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　 245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県海老名市 社家　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	―	―	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （中小橋）	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	―	―	―	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）

3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市 門沢橋	平面接続	本線
第二東海自動車道 横浜名古屋線	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 社家	立体接続	海老名ジャンクション

（4） 工事予算

41，991 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　11　年　1　月　8　日	
②工事の完成予定年月日	平成　27　年　3　月　8　日	（供用開始）
	平成　29　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

29，543 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　29，543 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－３４

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市社家から神奈川県海老名市中新田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　神奈川県海老名市社家　から
神奈川県海老名市中新田　まで

（ロ） 延　　長　　1．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　海老名市社家から海老名市中新田まで
第 1 種 第 3 級（道路構造令）

海老名市中新田から海老名市中新田まで
第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 社家	から	80	1．2	
神奈川県海老名市 中新田	まで			
神奈川県海老名市 中新田	から	100	0．7	
神奈川県海老名市 中新田	まで			

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 社家	から	4 車線	4 車線	
神奈川県海老名市 中新田	まで			

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	上段（第1種第3級） 海老名市社家から 海老名市中新田まで 下段（第1種第2級） 海老名市中新田から 海老名市中新田まで
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2 2．50×2	3．50 5．00	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－

（チ） 中央帯の標準幅員

海老名市社家から海老名市中新田まで

－　メートル　（土工部）

3．00　メートル　（橋梁部）

海老名市中新田から海老名市中新田まで

－　メートル　（土工部）

4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 社家	立体接続	海老名ジャンクション
県道藤沢厚木線	神奈川県海老名市 中新田	立体接続	海老名インターチェンジ
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市 中新田	平面接続	本線

（4） 工事予算

78，511 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　22　年　2　月　27　日　（供用開始）
平成　29　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

41，382 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　41，382 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－３６

第一東海自動車道（日進IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県日進市岩崎町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道日進瀬戸道路 （名古屋瀬戸道路）	愛知県日進市岩崎町	立体接続	日進インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，851 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，250 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，137 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－４３

北陸自動車道（福井北JCT・IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

福井県福井市玄正島町18字

（3） 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道158号 （中部縦貫自動車道）	福井県福井市玄正島町 18字	立体接続	福井北ジャンクション・インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，364 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　1 日　（供用開始）

平成　28 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，903 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，903 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５０

一般国道１号（新湘南バイパス）

（神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 新湘南バイパス）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　神奈川県茅ヶ崎市柳島　から
神奈川県中郡大磯町東町　まで

（ロ） 延　　長　　５．６ キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島 神奈川県中郡 大磯町東町	から まで	80	5．6	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島 神奈川県中郡 大磯町東町	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．5	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道相模原茅ヶ崎線	神奈川県茅ヶ崎市 柳島	立体接続	茅ヶ崎海岸インターチェンジ
一般国道134号	神奈川県 平塚市高浜台	立体接続	平塚インターチェンジ （仮称）
一般国道134号	神奈川県中郡 大磯町東町	立体接続	大磯インターチェンジ （仮称）
一般国道1号 （西湘バイパス）	神奈川県中郡 大磯町東町	平面接続	本線

（4） 工事予算

5，050 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県茅ヶ崎市柳島まで

平成　30　年　4　月　1　日

別　紙　1

ロ　神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで

平成　32　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，460 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，137 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５１

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県海老名市中新田から神奈川県厚木市上依知まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市中新田　　から
神奈川県厚木市上依知　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県厚木市 上依知　まで	100	10．1	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県厚木市 上依知　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 中新田	平面接続	本線
県道藤沢厚木線	神奈川県海老名市 中新田	立体接続	海老名インターチェンジ
一般国道246号 （厚木秦野道路）	神奈川県厚木市 中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ
一般国道129号	神奈川県厚木市 中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ
一般国道129号	神奈川県相模原市 南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
県道相模原町田線	神奈川県相模原市 南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ

（4） 工事予算

96，082 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名中新田まで　（STA110+52～STA113+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ロ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名市河原口まで（STA113+40～STA114+60）
平成 21 年 5 月 11 日

ハ 神奈川県海老名市河原口から神奈川県厚木市金田まで　（STA114+60～STA128+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ニ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA128+40～STA129+20）
平成 23 年 2 月 1 日

ホ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA129+20～STA130+00）
平成 23 年 6 月 1 日

ヘ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA130+00～STA131+20）
平成 23 年 1 月 1 日

ト 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA131+20～STA132+91）
平成 23 年 1 月 1 日

チ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA132+91～STA138+00）
平成 18 年 6 月 30 日

別　紙　1

リ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA138+00～STA139+00）
　平成　23　年　1　月　1　日

ヌ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市下依知まで　（STA139+00～STA146+05）
　平成　18　年　6　月　30　日

ル　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA146+05～STA151+50）
　平成　20　年　7　月　1　日

ヲ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA151+50～STA152+50）
　平成　21　年　12　月　1　日

ワ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市中依知まで　（STA152+50～STA160+93.5）
　平成　20　年　7　月　1　日

カ　神奈川県厚木市中依知から神奈川県厚木市関口まで　（STA160+93.5～STA164+85）
　平成　20　年　7　月　1　日

ヨ　神奈川県厚木市下依知　（圏央厚木IC取り付け部）
　平成　24　年　7　月　1　日

タ　神奈川県厚木市関口から神奈川県厚木市山際まで　（STA164+85～STA176+50）
　平成　19　年　2　月　1　日

レ　神奈川県厚木市山際から神奈川県厚木市上依知まで　（STA176+50～STA201+45）
　平成　24　年　6　月　1　日

別　紙　1

ソ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA201+45～STA206+31）
　平成　23　年　12　月　1　日

ツ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA204+10～STA204+70）
　平成　25　年　2　月　1　日

ネ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA204+70～STA206+31）
　平成　24　年　6　月　1　日

ナ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA206+31～STA211+44）
　平成　24　年　6　月　1　日

ラ　神奈川県厚木市上依知　（相模原ICランプ部）
　平成　24　年　12　月　1　日

ム　神奈川県厚木市上依知　（相模原IC　Hランプ部）
　平成　25　年　1　月　7　日

ウ　神奈川県厚木市上依知　（相模原IC　E,Fランプ部）
　平成　25　年　2　月　1　日

ヰ　神奈川県相模原市南区当麻　（相模原IC料金所部）
　平成　24　年　5　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　25　年　3　月　30　日　（供用開始）
平成　30　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

95，664 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　95，664 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５２

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）
（神奈川県厚木市上依知から東京都八王子市南浅川町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県厚木市上依知　　から
東京都八王子市南浅川町　　まで

（ロ） 延　　長　　14．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県厚木市上依知 東京都八王子市南浅川町	から まで	100	14．8	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県厚木市上依知 東京都八王子市南浅川町	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	1．00×2	2．00	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	―	―	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道129号	神奈川県相模原市 南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
県道相模原町田線	神奈川県相模原市 南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
津久井広域道路 県道長竹川尻線	神奈川県相模原市 緑区城山町小倉	立体接続	相模原インターチェンジ
一般国道20号	東京都八王子市 南浅川町	立体接続	高尾山インターチェンジ

（4） 工事予算

39，216 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.211+44～STA.0+06）
平成　25　年　11　月　1　日

ロ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.0+06～STA.1+00）
平成　25　年　10　月　1　日

別　紙　1

ハ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.1+00～STA.2+25）
　平成　25　年　12　月　1　日

ニ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.2+25～STA.18+24）
　平成　25　年　9　月　1　日

ホ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.18+24～STA.23+02）
　平成　25　年　8　月　1　日

ヘ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.23+02～STA.23+33）
　平成　25　年　9　月　1　日

ト　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.23+33～STA.29+02）
　平成　25　年　8　月　1　日

チ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.29+02～STA.31+44）
　平成　26　年　2　月　1　日

リ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.31+44～STA.33+03）
　平成　26　年　1　月　1　日

ヌ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.33+03～STA.34+42）
　平成　26　年　2　月　1　日

ル　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.34+42～STA.44+17）
　平成　26　年　1　月　1　日

別　紙　1

ヲ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.44+17～STA.45+92）
平成　26　年　3　月　1　日

ワ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.45+92～STA.46+82）
平成　26　年　3　月　20　日

カ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.46+82～STA.49+70）
平成　26　年　1　月　1　日

ヨ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.49+70～STA.50+86）
平成　26　年　3　月　1　日

タ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.50+86～STA.56+37）
平成　26　年　1　月　1　日

レ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.56+37～STA.63+06）
平成　25　年　12　月　1　日

ソ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.63+06～STA.65+00）
平成　25　年　10　月　1　日

ツ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.65+00～STA.67+66）
平成　25　年　9　月　1　日

ネ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.67+66～STA.67+97）
平成　25　年　10　月　1　日

別　紙　1

ナ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.67+97～STA.72+81）
　平成　25　年　9　月　1　日

ラ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.72+81～STA.77+38）
　平成　25　年　5　月　7　日

ム　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.77+38～STA.80+20）
　平成　26　年　1　月　1　日

ウ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.80+20～STA.80+68）
　平成　26　年　4　月　10　日

ヰ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.80+68～STA.84+00）
　平成　25　年　12　月　1　日

ノ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区城山まで　（上り線：STA.84+00～STA.93+60）
　平成　26　年　1　月　1　日

オ　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（上り線：STA.93+60～STA.93+71）
　平成　26　年　2　月　1　日

ク　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（上り線：STA.93+71～STA.97+88）
　平成　25　年　4　月　1　日

ヤ　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（上り線：STA.97+88～STA.100+00）
　平成　25　年　11　月　1　日

別　紙　1

マ　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区中沢まで　（上り線：STA.100+00～STA.107+99）
平成　25　年　10　月　1　日

ケ　神奈川県相模原市緑区中沢から東京都八王子市南浅川町まで　（上り線：STA.107+99～STA.143+76）
平成　25　年　7　月　1　日

フ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（上り線：STA.143+76～STA.143+86）
平成　25　年　8　月　1　日

コ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（上り線：STA.143+86～STA.145+00）
平成　23　年　8　月　1　日

エ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.211+44～STA.0+06）
平成　25　年　11　月　1　日

テ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.0+06～STA.1+00）
平成　25　年　10　月　1　日

ア　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.1+00～STA.1+60）
平成　25　年　12　月　1　日

サ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.1+60～STA.18+23）
平成　25　年　5　月　7　日

キ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.18+23～STA.28+79）
平成　25　年　7　月　1　日

別　紙　1

ユ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.28+79～STA.31+60）
　平成　26　年　2　月　1　日

メ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.31+60～STA.33+20）
　平成　26　年　1　月　1　日

ミ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県相模原市小倉まで　（下り線：STA.33+20～STA.34+60）
　平成　26　年　2　月　1　日

シ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.34+60～STA.44+48）
　平成　26　年　1　月　1　日

ヱ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.44+48～STA.47+00）
　平成　26　年　3　月　25　日

ヒ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.47+00～STA.49+90）
　平成　26　年　1　月　1　日

モ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.49+90～STA.51+00）
　平成　26　年　3　月　1　日

セ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.51+00～STA.56+54）
　平成　26　年　1　月　1　日

ス　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.56+54～STA.63+21）
　平成　25　年　12　月　1　日

別　紙　1

ン　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.63+21～STA.68+10）
平成　25　年　10　月　1　日

イ－1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.68+10～STA.72+62）
平成　25　年　5　月　7　日

ロ－1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.72+62～STA.72+93）
平成　25　年　8　月　1　日

ハ－1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.72+93～STA.77+52）
平成　25　年　4　月　1　日

ニ－1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.77+52～STA.80+20）
平成　26　年　1　月　1　日

ホ－1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.80+20～STA.80+80）
平成　26　年　4　月　10　日

ヘ－1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.80+80～STA.84+00）
平成　25　年　12　月　1　日

ト－1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区城山まで　（下り線：STA.84+00～STA.93+60）
平成　26　年　1　月　1　日

チ－1　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（下り線：STA.93+60～STA.93+71）
平成　26　年　2　月　1　日

別　紙　1

リー1　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（下り線：STA.93+71～STA.97+88）
平成　25　年　4　月　1　日

ヌー1　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（下り線：STA.97+88～STA.100+00）
平成　25　年　8　月　1　日

ルー1　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区中沢まで　（下り線：STA.100+00～STA.104+80）
平成　25　年　6　月　1　日

ヲー1　神奈川県相模原市緑区中沢から神奈川県相模原市緑区中沢まで　（下り線：STA.104+80～STA.105+56）
平成　25　年　8　月　1　日

ワー1　神奈川県相模原市緑区中沢から神奈川県相模原市緑区中沢まで　（下り線：STA.105+56～STA.107+61）
平成　25　年　11　月　1　日

カー1　神奈川県相模原市緑区中沢から東京都八王子市南浅川町まで　（下り線：STA.107+61～STA.143+33）
平成　25　年　4　月　1　日

ヨー1　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（下り線：STA.143+33～STA.143+72）
平成　25　年　8　月　1　日

ター1　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（下り線：STA.143+72～STA.145+00）
平成　23　年　8　月　1　日

レー1　神奈川県愛甲郡愛川町　（愛川TN電気室ヤード）
平成　25　年　5　月　7　日

別　紙　1

ソー1　神奈川県相模原市緑区葉山島 平成　25　年　5　月　7　日	（葉山島TN電気室ヤード）
ツー1　神奈川県相模原市緑区小倉 平成　26　年　4　月　1　日	（相模原IC部　A・B・Cランプ橋）
ネー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　5　月　1　日	（相模原IC部　料金所ヤード、Bランプ土工部）
ナー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　6　月　1　日	（相模原IC部　TG・電気室・内プラヤード）
ラー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　7　月　1　日	（相模原IC部　Bランプ土工部、Dランプ）
ムー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　7　月　1　日	（相模原IC部　A・B・Cランプ土工部、TG張出部、 管理用通路）
ウー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　9　月　1　日	（相模原IC部　料金所裏のり面、内プラ平地、 串川土工部のり面）
ヰー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　11　月　1　日	（相模原IC部　A・B・Dランプ）
ノー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　27　年　1　月　1　日	（相模原IC部　E・F・G・Hランプ）

別　紙　1

オー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　　（川尻TN電気室ヤード）
平成　25　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　26　年　6　月　28　日　（相模原愛川IC～高尾山IC）（供用開始）
平成　27　年　3　月　29　日　（相模原IC部）　　（供用開始）
平成　29　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

40，936 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　40，936 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５３

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市裏高尾町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都八王子市南浅川町　　から
東京都八王子市裏高尾町　　まで

（ロ） 延　　長　　2．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都八王子市南浅川町 東京都八王子市裏高尾町	から まで	80	2．0	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
東京都八王子市南浅川町 東京都八王子市裏高尾町	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道20号	東京都八王子市 南浅川町	立体接続	高尾山インターチェンジ
中央自動車道 富士吉田線	東京都八王子市 裏高尾町	立体接続	八王子ジャンクション

（4） 工事予算

23，779 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Eランプ）（STA-1-20～STA0-37）
平成 24年　1月　1日

ロ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Eランプ）（STA0-37～STA0+00）
平成 23年 12月　1日

ハ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（料金所）
平成 23年　4月　1日

別　紙　1

ニ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（料金所周り平場部）
平成 24年　2月　1日

ホ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（トールゲート）
平成 23年　8月　1日

ヘ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA0+00～STA0+40）
平成 23年　12月　1日

ト 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA0+40～STA1+63）
平成 24年　1月　1日

チ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA1+63～STA4+11）
平成 23年　12月　1日

リ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA4+11～STA5+29）
平成 23年　9月　1日

ヌ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Cランプ）（STA3+97+～STA4+12）
平成 23年 12月　1日

ル 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Cランプ）（STA4+12～STA6+80）
平成 23年　9月　1日

ヲ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Cランプ）（STA6+80～STA7+78）
平成 24年　2月　1日

別　紙　1

ワ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA0+00～STA0+40）
　平成 23年　12月　1日

カ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA0+40～STA1+63）
　平成 24年　1月　1日

ヨ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA1+63～STA3+44）
　平成 23年 12月　1日

タ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA3+44～STA4+75）
　平成 23年　9月　1日

レ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Dランプ）（STA3+29～STA3+49）
　平成 23年 12月　1日

ソ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Dランプ）（STA3+49～STA6+07）
　平成 23年　9月　1日

ツ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Dランプ）（STA6+07～STA7+63）
　平成 24年　1月　1日

ネ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室）
　平成 23年　4月　1日

ナ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室ヤードの盛土のり面（中央））
　平成 23年 12月　1日

別　紙　1

ラ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室ヤードの盛土のり面（南側））
　平成 24年　1月　1日

ム　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室ヤードの盛土のり面（北側））
　平成 24年　2月　1日

ウ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（上り線）（STA146+09～STA147+52）
　平成 24年　2月　1日

ヰ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（上り線）（STA148+00～STA148+58）
　平成 23年 11月　1日

ノ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（上り線）（STA148+58～STA153+68）
　平成 23年　9月　1日

オ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（上り線）（STA153+68～STA158+00）
　平成 23年 11月　1日

ク　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（下り線）（STA145+82～STA146+20）
　平成 24年　2月　1日

ヤ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（下り線）（STA146+20～STA147+38）
　平成 23年 12月 12日

マ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA147+38～STA147+60）
　平成 24年　2月　1日

別　紙　1

ケ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA148+72～STA153+68）
　平成 23年 10月　1日

フ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA153+68～STA158+00）
　平成 23年 12月　1日

コ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA160+79～STA160+89）
　平成 24年　1月　1日

エ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで（切土のり面）
　平成 23年 11月　1日

テ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（STA145+00～STA146+09）
　平成 23年　8月　1日

ア　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで（STA147+52～STA148+72）
　平成 23年 12月 12日

サ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（STA158+00～STA161+00）
　平成 23年 12月 12日

キ　東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（高尾山トンネル北坑口換気ダクト部）
　平成 24年　2月　1日

ユ　東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（STA160+89～STA0+06）
　平成 18年　8月　1日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　24　年　3　月　25　日　（供用開始）
平成　30　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26，578 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，578 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５５

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県海老名市門沢橋まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県茅ヶ崎市西久保　　から

神奈川県海老名市門沢橋　　まで

（ロ） 延　　長　　7．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保 神奈川県海老名市 門沢橋	から まで	80	7．9	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保 神奈川県海老名市 門沢橋	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （新湘南ﾊﾞｲﾊﾟｽ）	神奈川県茅ケ崎市 西久保	立体接続	茅ヶ崎ジャンクション
県道 伊勢原藤沢線	神奈川県高座郡 寒川町田端	立体接続	寒川南インターチェンジ
県道 相模原茅ヶ崎線	神奈川県高座郡 寒川町宮山	立体接続	寒川北インターチェンジ
第二東海自動車道 横浜名古屋線	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 門沢橋	平面接続	本線

（4） 工事予算

22，071 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA.-1+86～STA.9+27）
平成　24　年　7　月　1　日

ロ　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA.9+27～STA.11+57）
平成　25　年　3　月　1　日

ハ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC 料金所部）
平成　24　年　5　月　1　日

ニ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC ランプ部）
平成　24　年　12　月　1　日

ホ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC Cランプ部）
平成　25　年　1　月　15　日

ヘ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC D，Eランプ部）
平成　25　年　2　月　17　日

ト　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで　（STA.11+57～STA.27+10）
平成　24　年　5　月　1　日

チ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで　（STA.27+10～STA.35+42）
平成　24　年　12　月　1　日

別　紙　1

リ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町宮山まで　（STA.35+42～STA.50+93.5）
平成　24　年　6　月　1　日

ヌ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC 料金所部）
平成　24　年　6　月　1　日

ル　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC ランプ部）
平成　24　年　12　月　1　日

ヲ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC AC，Bランプ部）
平成　25　年　1　月　1　日

ワ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC AC，B，Dランプ部）
平成　25　年　2　月　1　日

カ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC Eランプ部）
平成　25　年　2　月　1　日

ヨ　神奈川県高座郡寒川町宮山から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.50+93.5～STA.53+78）
平成　24　年　7　月　1　日

タ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.53+78～STA.57+15.5）
平成　26　年　11　月　1　日

レ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.57+15.5～STA.59+30.5）
平成　26　年　12　月　1　日

別　紙　1

ソ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.59+30.5～STA.60+77.5）
平成　26　年　7　月　1　日

ツ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.60+77.5～STA.62+24.5）
平成　26　年　1　月　1　日

ネ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.62+24.5～STA.66+93）
平成 23　年 1　月 1　日

ナ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA.66+93～STA.72+09）
平成 22　年 8　月 1　日

ラ　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA.72+09～STA.73+39）
平成 23　年 3　月 1　日

ム　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA.73+39～STA.76+23）
平成 22　年 8　月 1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日

平成　25　年　4　月　14　日　（茅ヶ崎JCT～寒川北IC）　（供用開始）
平成　27　年　3　月　8　日　（寒川北IC～海老名南JCT）　（供用開始）
平成　29　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

23，842　　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　23，842　　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５６

一般国道271号（小田原厚木道路）（小田原西IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道271号

（有料道路名 ： 小田原厚木道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県小田原市風祭

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道　1号 （小田原箱根道路）	神奈川県小田原市 風祭	平面接続	小田原西IC

別　紙　1

（4） 工事予算

67 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　4　年　8　月　18　日

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　21　日　（供用開始）

平成　28　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

77 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　77 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５８

一般国道４７５号（東海環状自動車道）（豊田東JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

愛知県豊田市岩倉町

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第二東海自動車道 横浜名古屋線	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

361 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26　年　10　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　28　年　2　月　13　日（供用開始）
平成　30　年　3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

423 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　423 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－６０

一般国道４７５号（東海環状自動車道）

（岐阜県可児市久々利柿下入会から岐阜県可児郡御嵩町比衣まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県可児市久々利柿下入会　　から
岐阜県可児郡御嵩町比衣　　まで

（ロ） 延　　長　　5．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県可児市久々利柿下入会 岐阜県可児郡御嵩町比衣	から まで	100	5．3	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
岐阜県可児市久々利柿下入会 岐阜県可児郡御嵩町比衣	から まで	2 車線	4 車線	付加車線事業

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．75	1．25	3．00	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

29，710 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　29　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

33，788　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　32，099　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－６１

一般国道４７５号（東海環状自動車道）

（岐阜県関市下有知から岐阜県関市下有知まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県関市下有知　　から
岐阜県関市下有知　　まで

（ロ） 延　　長　　1．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県関市下有知	から	100	1．6	
岐阜県関市下有知	まで			

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県関市下有知	から	2 車線	4 車線	付加車線事業
岐阜県関市下有知	まで			

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	—	—	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

536 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　12　月　16　日（供用開始）
平成　28　年　9　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

674 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　674 百万円）（消費税込み）

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

57，083 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

64，272 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
中央自動車道 富士吉田線	東京都府中市是政	都道川崎府中線及び市道中央道側道	東京都府中市小柳町及び東京都府中市是政	立体接続	平成21年9月29日	平成27年3月7日 （供用開始） 平成29年3月30日 （残事業完成）	2,088百万円	2,296百万円	－	本線 直結型
中央自動車道 西宮線	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺	県道湖東三山インター線	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺	立体接続	平成21年9月29日	平成25年10月21日 （供用開始） 平成26年3月31日 （残事業完成）	1,184百万円	1,349百万円	－	湖東三山 PA
中央自動車道 長野線	長野県松本市島内	市道8087号線及び市道豊科3531号線	長野県松本市島内及び長野県安曇野市豊科高家	立体接続	平成21年9月29日	平成22年11月27日 （供用開始） 平成23年1月31日 （残事業完成）	494百万円	547百万円	－	梓川 SA
第一東海自動車道	愛知県名古屋市守山区下志段味	市道守山パーキングエリア線	愛知県名古屋市守山区下志段味	立体接続	平成21年9月29日	平成30年3月31日	3,265百万円	3,736百万円	－	守山 PA
中央自動車道 富士吉田線	山梨県富士吉田市上暮地	県道富士吉田西桂線	山梨県富士吉田市上暮地	立体接続	平成23年4月28日	平成29年3月31日	3,522百万円	3,742百万円	－	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県焼津市上新田	市道0105号線	静岡県焼津市上新田	立体接続	平成23年4月28日	平成28年3月12日 （供用開始） 平成29年3月30日 （残事業完成）	2,845百万円	3,225百万円	－	本線 直結型
東海北陸自動車道	富山県南砺市上川崎	市道南砺スマートインター線	富山県南砺市柴田屋	立体接続	平成23年4月28日	平成27年3月1日 （供用開始） 平成28年3月30日 （残事業完成）	1,393百万円	1,532百万円	－	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手年月日	工事の完成予定年月日				
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県静岡市葵区飯間	市道小瀬戸飯間線及び市道飯間本線	静岡県静岡市葵区小瀬戸及び静岡県静岡市葵区飯間	立体接続	平成23年4月28日	平成24年4月14日 （供用開始） 平成25年3月30日 （残事業完成）	200百万円	208百万円	－	静岡 SA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県浜松市浜北区四大地	市道浜北灰木大平1号線及び市道須部灰の木線	静岡県浜松市浜北区四大地及び静岡県浜松市北区都田町	立体接続	平成23年4月28日	平成24年4月14日 （供用開始） 平成25年3月30日 （残事業完成）	223百万円	230百万円	－	浜松 SA
北陸自動車道	富山県砺波市下中条	市道（仮称）高岡砺波インター線	富山県砺波市下中条	立体接続	平成23年4月28日	平成27年3月1日 （供用開始） 平成28年3月30日 （残事業完成）	2,026百万円	2,191百万円	－	本線 直結型
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県土岐市泉町	市道81920号線、82525号線及び82526号線	岐阜県土岐市泉町	立体接続	平成23年4月28日	平成25年2月28日 （供用開始） 平成25年8月30日 （残事業完成）	475百万円	532百万円	－	五斗蒔 PA
中央自動車道 西宮線	山梨県笛吹市八代町南	県道313号藤垈石和線及び市道4015号線	山梨県笛吹市八代町南	立体接続	平成24年5月17日	平成28年3月31日	2,345百万円	2,585百万円	－	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県沼津市宮本	市道0118号線及び市道0105号線	静岡県沼津市宮本	立体接続	平成24年5月17日	平成28年3月19日 （供用開始） 平成29年3月30日 （残事業完成）	719百万円	844百万円	－	愛鷹 PA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県周智郡森町大字円田	町道遠州森町PA上り線及び町道遠州森町PA下り線	静岡県周智郡森町大字一宮及び静岡県周智郡森町大字円田	立体接続	平成24年5月17日	平成26年3月29日 （供用開始） 平成27年3月30日 （残事業完成）	567百万円	632百万円	－	遠州森町 PA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手年月日	工事の完成予定年月日				
北陸自動車道	滋賀県長浜市小谷丁野町	県道郷野湖北線及び県道丁野虎姫長浜線	滋賀県長浜市湖北町及び滋賀県長浜市小谷丁野町	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月31日	2,399百万円	2,719百万円	―	本線 直結型
近畿自動車道 名古屋神戸線	三重県鈴鹿市山本町	市道山本65号線	三重県鈴鹿市山本町	立体接続	平成24年5月17日	平成31年3月31日	1,564百万円	1,802百万円	―	鈴鹿PA （仮称）
近畿自動車道 敦賀線	福井県敦賀市長谷	市道長谷2号線	福井県敦賀市長谷	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月31日	2,220百万円	2,412百万円	―	本線 直結型
中央自動車道 富士吉田線	山梨県上野原市大野	市道談合坂サービスエリア線	山梨県上野原市大野	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月31日	1,599百万円	1,759百万円	―	談合坂 SA
中央自動車道 西宮線	岐阜県安八郡安八町中	町道南長田坊野1号線	岐阜県安八郡安八町中	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月31日	3,386百万円	4,216百万円	―	本線 直結型
中央自動車道 西宮線	岐阜県養老郡養老町橋爪南川原	町道橋爪1号線及び町道橋爪42号線	岐阜県養老郡養老町橋爪南川原	立体接続	平成25年7月5日	平成30年6月30日	763百万円	842百万円	―	養老 SA
第一東海自動車道	神奈川県綾瀬市小園	県道藤沢座間厚木	神奈川県綾瀬市小園	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月31日	6,762百万円	7,336百万円	―	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
第一東海自動車道	静岡県静岡市駿河区宮川	市道大谷改良区7号線	静岡県静岡市駿河区宮川	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月31日	3,705百万円	4,095百万円	ー	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県浜松市東区有玉西町	市道有玉南初生線及び市道有玉西12号線	静岡県浜松市東区有玉西町	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月31日	945百万円	1,074百万円	ー	三方原PA
第一東海自動車道	静岡県浜松市西区呉松町	県道引佐舘山寺線及び県道湖東舘山寺線	静岡県浜松市西区呉松町	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月31日	1,670百万円	1,811百万円	ー	本線 直結型
第一東海自動車道	愛知県豊田市西田町長根山	市道上郷スマートインター1号線及び市道上郷スマートインター2号線	愛知県豊田市永覚新町及び愛知県豊田市西田町外林	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月31日	1,708百万円	2,047百万円	ー	上郷 SA
第二東海自動車道横浜名古屋線	静岡県駿東郡小山町大御神	町道3628号線及び町道3984号線	静岡県駿東郡小山町大御神	立体接続	平成25年7月5日	平成33年3月31日	883百万円	1,021百万円	ー	小山PA （仮称）
第二東海自動車道横浜名古屋線	静岡県沼津市根古屋	市道1970号線及び市道1971号線	静岡県沼津市根古屋	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月31日	813百万円	975百万円	ー	駿河湾沼津 SA
第二東海自動車道横浜名古屋線	静岡県磐田市敷地	市道下野部敷地線	静岡県磐田市敷地	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月31日	1,807百万円	1,955百万円	ー	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手年月日	工事の完成予定年月日				
北陸自動車道	石川県能美市吉原釜屋町	（仮称）市道能美根上スマートインター線	石川県能美市吉原釜屋町	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月31日	1,937百万円	2,250百万円	―	本線 直結型
近畿自動車道 敦賀線	福井県三方上中郡若狭町鳥浜	町道若狭梅街道線	福井県三方上中郡若狭町鳥浜	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月31日	1,889百万円	2,161百万円	―	三方五湖PA
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	東京都八王子市美山町	市道川口339号線	東京都八王子市美山町	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月31日	984百万円	1,168百万円	―	本線 直結型
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県岐阜市北野北	市道北野北線	岐阜県岐阜市北野北	立体接続	平成25年7月5日	平成33年3月31日	703百万円	980百万円	―	岐阜PA （仮称）

別紙１－Ｃ－７８

東海北陸自動車道（西尾張IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県一宮市大和町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道岐阜稲沢線	愛知県一宮市 大和町	立体接続	西尾張インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

782 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 9 月　 5 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

951　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　903　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－７９

東海北陸自動車道

（岐阜県郡上市白鳥町那留から岐阜県高山市清見町夏厩まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市白鳥町那留　　から
岐阜県高山市清見町夏厩　　まで

（ロ） 延　　長　　40．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県郡上市白鳥町那留　から 岐阜県高山市清見町夏厩　まで	80	40．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県郡上市白鳥町那留　から 岐阜県高山市清見町夏厩　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

※　切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として白鳥～高鷲2．0m、高鷲～飛騨清見3．0m拡幅する。

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

106，508 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24 年　 5 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

115，636 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　109，854 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８０

一般国道４７５号（東海環状自動車道）
（岐阜県関市広見から岐阜県大垣市桧町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　岐阜県関市広見　から
岐阜県大垣市桧町　まで

（ロ） 延　　長　35. 3キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県関市広見 岐阜県大垣市桧町	から まで	100	35．3	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県関市広見 岐阜県大垣市桧町	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道418号	岐阜県関市広見	立体接続	関広見インターチェンジ
一般国道256号	岐阜県山県市大字西深瀬	立体接続	高富インターチェンジ（仮称）
都計道岐阜インター線	岐阜県岐阜市大学北	立体接続	岐阜インターチェンジ（仮称）
一般国道157号	岐阜県本巣市上保	立体接続	糸貫インターチェンジ（仮称）
県道 岐阜関ヶ原線	岐阜県安八郡神戸町大字西座倉	立体接続	大野神戸インターチェンジ（仮称）
一般国道21号及び県道大垣環状線	岐阜県大垣市桧町	立体接続	大垣西インターチェンジ

（4） 工事予算

26，464 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日　　平成　31 年　 4 月　 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

28，338 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，921 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８２

一般国道４７５号（東海環状自動車道）
（岐阜県養老郡養老町大字飯積から三重県員弁郡東員町大字長深まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　岐阜県養老郡養老町大字飯積　　から
三重県員弁郡東員町大字長深　　まで

（ロ） 延　　長　　34．1キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県養老郡養老町大字飯積 三重県員弁郡東員町大字長深	から まで	100	34．1	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県養老郡養老町大字飯積 三重県員弁郡東員町大字長深	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道　西宮線	岐阜県養老郡養老町大字飯積	立体接続	養老ジャンクション
県道　養老平田線	岐阜県養老郡養老町口ヶ島	立体接続	養老インターチェンジ（仮称）
一般国道306号及び一般国道365号	三重県いなべ市北勢町阿下喜	立体接続	北勢インターチェンジ（仮称）
一般国道365号	三重県いなべ市大安町高柳	立体接続	大安インターチェンジ（仮称）
一般国道365号	三重県員弁郡東員町大字長深	立体接続	東員インターチェンジ

（4） 工事予算

25，769 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　岐阜県養老郡養老町大字飯積　から　岐阜県海津市南濃町庭田まで
平成　31年　4月　1日

ロ　岐阜県海津市南濃町庭田　から　三重県いなべ市北勢町二之瀬　まで
平成　29年　4月　1日

ハ　三重県いなべ市北勢町二之瀬　から　三重県員弁郡東員町大字長深　まで
平成　31年　4月　1日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

28，074 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，670 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８３

一般国道４７５号（東海環状自動車道）
（三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　三重県員弁郡東員町大字長深　　から
三重県四日市市北山町　　まで

（ロ） 延　　長　　1. 4キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県員弁郡東員町大字長深	から	100	1．4	
三重県四日市市北山町	まで			

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県員弁郡東員町大字長深	から	2 車線	4 車線	
三重県四日市市北山町	まで			

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道365号	三重県員弁郡東員町大字長深	立体接続	東員インターチェンジ
近畿自動車道　名古屋神戸線	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，982　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 三重県員弁郡東員町大字長深　（東員IC地下通路部）
平成 27 年　1 月　1 日

ロ 三重県員弁郡東員町大字長深　（東員IC料金所部）
平成 27 年　4 月　1 日

ハ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC　Dランプ部）
平成 27 年　4 月　1 日

ニ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC　Eランプ部）
平成 27 年　6 月　1 日

ホ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC　A・Dランプ部）
平成 27 年　7 月 15 日

ヘ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（上り線：No.18+0.0～No.7+12.0）
平成 27 年　4 月　1 日

別　紙　1

ト　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで　（上り線：No.7+12.0～STA. 3+40.0）
　平成 27 年　7 月 15 日

チ　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで　（下り線：No.18.+0.0～STA. 3+40.0）
　平成 27 年　7 月 15 日

リ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　B・Dランプ）
　平成 27 年　4 月　1 日

ヌ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Dランプ）
　平成 27 年 12 月　1 日

ル　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Dランプ）
　平成 27 年 12 月　1 日

ヲ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Dランプ）
　平成 27 年 12 月　1 日

ワ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Bランプ）
　平成 28 年　9 月　1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が、一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，146 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，989 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８４

中央自動車道　富士吉田線

（東京都三鷹市北野から東京都世田谷区大蔵まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道 富士吉田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　東京都三鷹市北野　から
東京都世田谷区大蔵　まで

（ロ） 延　　長　　6．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都三鷹市北野 から 東京都世田谷区大蔵 まで	80	6．4	

別　紙　1

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．25メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都三鷹市北野 から 東京都世田谷区大蔵 まで	6 車線	6 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	―――	―――	―――	―――	―――	
トンネル部分	―――	―――	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（中小橋）	―――	―――	―――	―――	―――	
橋梁高架部分（長大橋）	―――	―――	―――	―――	―――	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　―――　　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

―――　　メートル　（土工部）
―――　　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
関越自動車道 新潟線	東京都三鷹市北野	平面接続	本線
中央自動車道 富士吉田線	東京都三鷹市北野	立体接続	中央ジャンクション（仮称）
第一東海自動車道	東京都世田谷区大蔵	立体接続	東名ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

303，679 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　東京都三鷹市北野から東京都世田谷区成城
平成　30　年　10　月　1　日

ロ　東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見
平成　24　年　5　月　17　日

ロ’　東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見
平成　30　年　10　月　1　日

ハ　東京都世田谷区喜多見から東京都世田谷区大蔵
平成　24　年　5　月　17　日

ニ　東京都世田谷区喜多見から東京都三鷹市新川
平成　28　年　3　月　1　日

・なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引き継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

340，102 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　323，097 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８５

近畿自動車道伊勢線
（愛知県名古屋市中川区島井町から愛知県海部郡飛島村木場まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　伊勢線

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　愛知県名古屋市中川区島井町　　から
愛知県海部郡飛島村木場　　まで

（ロ） 延　　長　　12．2キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
愛知県名古屋市中川区島井町 愛知県海部郡飛島村木場	から まで	60	12．2	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
愛知県名古屋市中川区島井町 愛知県海部郡飛島村木場	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
近畿自動車道 名古屋亀山線	愛知県名古屋市中川区島井町	平面接続 及び立体接続	名古屋西ジャンクション
市道高速1号 （名古屋高速道路）	愛知県名古屋市中川区島井町	立体接続	名古屋西ジャンクション
一般国道302号	愛知県名古屋市中川区服部	立体接続	名古屋西ジャンクション南インターチェンジ（仮称）
一般国道302号	愛知県名古屋市中川区かの里及び愛知県名古屋市港区西蟹田	立体接続	富田インターチェンジ（仮称）
一般国道302号	愛知県名古屋市港区南陽町大字茶屋新田	立体接続	南陽インターチェンジ（仮称）
一般国道302号	愛知県海部郡飛島村大字梅之郷	立体接続	名四西インターチェンジ（仮称）
近畿自動車道 名古屋神戸線	愛知県海部郡飛島村木場	立体接続	飛島ジャンクション（仮称）
一般国道302号 （伊勢湾岸道路）	愛知県海部郡飛島村木場	立体接続	飛島ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

31，655 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ　愛知県名古屋市中川区島井町　から　愛知県名古屋市中川区島井町　まで
平成　24年　5月　1日

ロ　愛知県名古屋市中川区島井町　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　29年　4月　1日

ハ　愛知県海部郡飛島村木場　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　24年　5月　1日

・なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引き継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

34，167 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　32，459 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８６

第一東海自動車道（横浜青葉JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

神奈川県横浜市青葉区下谷本町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
横浜市道高速横浜環状北西線 （首都高速道路）	神奈川県横浜市 青葉区下谷本町	立体接続	横浜青葉ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

461 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

平成　24 年　5 月　1 日

②工事の完成予定年月日

平成　34 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

523 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　497 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８７

中央自動車道西宮線（甲府中央スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

山梨県甲府市大津町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道29号甲府中央右左口線	山梨県甲府市 大津町	立体接続	甲府中央スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

3，347　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　32 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，725　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８８

中央自動車道西宮線（小黒川スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県伊那市西町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道I1683号線、市道I1684号線、 市道I1685号線、市道I1686号線	長野県伊那市西町	立体接続	小黒川スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

807　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　29 年　9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

908　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８９

中央自動車道西宮線（駒ヶ岳スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県駒ヶ根市赤穂

（3） 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道1-1105号線及び 市道1-1106号線	長野県駒ヶ根市赤穂	立体接続	駒ヶ岳スマートインターチェンジ(仮称)

別　紙　1

（4） 工事予算

996　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　30 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，098　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－９０

第二東海自動車道横浜名古屋線（山北スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

神奈川県足柄上郡山北町川西

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道10号河内川谷戸線	神奈川県足柄上郡 山北町川西	立体接続	山北スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

752　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

855　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－９１

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（厚木PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

神奈川県厚木市山際　　から

神奈川県厚木市関口　　まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道2-46号線及び 市道B-266号線	神奈川県厚木市山際及び 神奈川県厚木市関口	立体接続	厚木PAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，275　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，416　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－９２

一般国道４７５号（東海環状自動車道）（海津スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

岐阜県海津市南濃町志津新田

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
（仮称）海津34421号線	岐阜県海津市 南濃町志津新田	立体接続	海津スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

837　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

956　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－９３

第二東海自動車道横浜名古屋線（秦野SAスマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

神奈川県秦野市横野　　から
神奈川県秦野市戸川　　まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道144号線及び市道146号線	神奈川県秦野市横野及び戸川	立体接続	秦野SAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

713　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　27 年　8 月　26 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

808　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－２

近畿自動車道名古屋神戸線

（滋賀県大津市上田上牧町から京都府城陽市寺田金尾まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　滋賀県大津市上田上牧町　　から
京都府城陽市寺田金尾　　まで

（ロ） 延　　長　　25．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
滋賀県大津市 上田上牧町　から 京都府城陽市 寺田金尾　まで	120	25．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
滋賀県大津市 上田上牧町　から 京都府城陽市 寺田金尾　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	―	―	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道307号	京都府綴喜郡 宇治田原町大字郷之口	立体接続	宇治田原インターチェンジ（仮称）
一般国道24号 （京奈道路）	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション（仮称）
一般国道24号	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

334，115 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　36 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

394，525 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　376，093 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３

近畿自動車道名古屋神戸線
（京都府城陽市寺田金尾から京都府八幡市美濃山荒坂まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府城陽市寺田金尾　　から
京都府八幡市美濃山荒坂　　まで

（ロ） 延　　長　　3．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
京都府城陽市 寺田金尾　から 京都府八幡市 美濃山荒坂　まで	120	3．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府城陽市 寺田金尾　から 京都府八幡市 美濃山荒坂　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道24号（京奈道路）	京都府城陽市寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション（仮称）
一般国道24号	京都府城陽市寺田金尾	立体接続	城陽インターチェンジ（仮称）
一般国道1号（第二京阪道路）	京都府八幡市美濃山荒坂	立体接続	八幡ジャンクション（仮称）
府道八幡インター線	京都府八幡市美濃山古寺	立体接続	八幡インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

108，747 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

103，974 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　102，354 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－４

近畿自動車道名古屋神戸線
（京都府八幡市美濃山荒坂から大阪府高槻市原まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府八幡市美濃山荒坂　から
大阪府高槻市原　まで

（ロ） 延　長　10．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府八幡市美濃山荒坂 から 大阪府高槻市原 まで	120	10．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府八幡市 美濃山荒坂　から 大阪府高槻市 原　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （第二京阪道路）	京都府八幡市 美濃山荒坂	立体接続	八幡ジャンクション（仮称）
府道八幡インター線	京都府八幡市 美濃山古寺	立体接続	八幡インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

362，457 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　平成　36 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

433，940 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　413，704 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－５

近畿自動車道名古屋神戸線

（大阪府高槻市原から大阪府箕面市下止々呂美まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府高槻市原　から
大阪府箕面市下止々呂美　まで

（ロ） 延　　長　　18．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
大阪府高槻市原 から 大阪府箕面市下止々呂美 まで	120	18．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
大阪府高槻市原　から 大阪府箕面市下止々呂美　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中道自動車道 西宮線	大阪府高槻市 成合南の町	立体接続	高槻第二ジャンクション（仮称）
府道伏見柳谷高槻線	大阪府高槻市 成合	立体接続	高槻インターチェンジ（仮称）
府道茨木摂津線	大阪府茨木市 千提寺	立体接続	茨木北インターチェンジ（仮称）
一般国道423号	大阪府箕面市 下止々呂美	立体接続	箕面インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

382，152 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

417，436 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　404，116 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－６

近畿自動車道名古屋神戸線
（大阪府箕面市下止々呂美から兵庫県神戸市北区八多町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府箕面市下止々呂美　　から
兵庫県神戸市北区八多町　　まで

（ロ） 延　　長　　22．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
大阪府箕面市 下止々呂美　から 兵庫県神戸市 北区八多町　まで	120	22．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
大阪府箕面市 下止々呂美　から 兵庫県神戸市 北区八多町　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	―	―	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道423号	大阪府箕面市 下止々呂美	立体接続	箕面インターチェンジ（仮称）
県道川西インター線	兵庫県川西市 西畦野	立体接続	川西インターチェンジ（仮称）
中国縦貫自動車道	兵庫県神戸市 北区八多町	立体接続	神戸ジャンクション
山陽自動車道 吹田山口線	兵庫県神戸市 北区八多町	平面接続	神戸ジャンクション

（4） 工事予算

384，574 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

427，151 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　418，723 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－９

中国横断自動車道姫路鳥取線
（兵庫県たつの市新宮町角亀から兵庫県宍粟市山崎町市場まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　姫路鳥取線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　兵庫県たつの市新宮町角亀　　から
兵庫県宍粟市山崎町市場　　まで

（ロ） 延　　長　　11．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
兵庫県たつの市 新宮町角亀　から 兵庫県宍粟市 山崎町市場　まで	80	11．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
兵庫県たつの市 新宮町角亀　から 兵庫県宍粟市 山崎町市場　まで	2 車線	4 車線	

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道播磨新宮インター線	兵庫県たつの市 新宮町光都三丁目	立体接続	播磨新宮インターチェンジ
中国縦貫自動車道	兵庫県宍粟市 山崎町市場	立体接続	山崎ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

60，286 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

70，997 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　67，801 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１２

四国横断自動車道阿南四万十線
（徳島県徳島市北沖洲から徳島県徳島市川内町富久まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市北沖洲　から
徳島県徳島市川内町富久　まで

（ロ） 延　　長　　4．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県徳島市 北沖洲　から 徳島県徳島市 川内町富久　まで	100	4．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
徳島県徳島市 北沖洲　から 徳島県徳島市 川内町富久　まで	2 車線	4 車線	

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
四国横断自動車道 阿南四万十線	徳島県徳島市 北沖洲	平面接続	本線（新直轄）
県道徳島東インター線	徳島県徳島市 北沖洲	立体接続	徳島東インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

60，632 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　平成　32 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

69，191 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　65，960 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１３

四国横断自動車道阿南四万十線
（徳島県徳島市川内町鈴江東から徳島県鳴門市大津町大代まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市川内町鈴江東　から
徳島県鳴門市大津町大代　まで

（ロ） 延　　長　　10．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県徳島市 川内町鈴江東　から 徳島県鳴門市 大津町大代　まで	100	10．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
徳島県徳島市 川内町鈴江東　から 徳島県鳴門市 大津町大代　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
四国縦貫自動車道	徳島県徳島市 川内町鈴江東	平面接続	本線
一般国道11号	徳島県徳島市 川内町沖島	立体接続	徳島インターチェンジ

（4） 工事予算

92，887 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　平成　27 年　3 月　14 日（供用開始）
　　平成　29 年　3 月　30 日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

104，782 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　104，782 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１５

東九州自動車道

（福岡県行橋市大字下検地から福岡県京都郡みやこ町下原まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　福岡県行橋市大字下検地　から
福岡県京都郡みやこ町下原　まで

（ロ） 延　長　7．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福岡県行橋市 大字下検地 から 福岡県京都郡 みやこ町下原 まで	100	7．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福岡県行橋市 大字下検地　から 福岡県京都郡 みやこ町下原　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道201号	福岡県行橋市 大字吉国	立体接続	行橋インターチェンジ
一般国道10号 （椎田道路）	福岡県京都郡 みやこ町下原	立体接続	みやこ豊津インターチェンジ
一般国道10号 （椎田道路）	福岡県京都郡 みやこ町下原	平面接続	本線

（4） 工事予算

44，188 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　12 月　13 日（供用開始）
平成　28 年　12 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

51，040 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　51，040 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１６

東九州自動車道

（福岡県築上郡築上町大字上ノ河内から大分県宇佐市大字山本まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　福岡県築上郡築上町大字上ノ河内　から
大分県宇佐市大字山本　まで

（ロ） 延　長　28．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内　から 大分県宇佐市 大字山本　まで	100	28．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内　から 大分県宇佐市 大字山本　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道10号 （椎田道路）	福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内	立体接続	椎田南インターチェンジ
一般国道10号 （椎田道路）	福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内	平面接続	本線
県道犀川豊前線	福岡県豊前市 大字久路土	立体接続	豊前インターチェンジ
一般国道212号	大分県中津市 三光西秣	立体接続	中津インターチェンジ
一般国道10号 （宇佐別府道路）	大分県宇佐市 大字山本	立体接続	宇佐インターチェンジ
一般国道10号 （宇佐別府道路）	大分県宇佐市 大字山本	平面接続	本線

別　紙　1

（4） 工事予算

87，450 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　27 年　3 月　1 日（豊前～宇佐間供用開始）
　　平成　29 年　3 月　31 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

100，913 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　99，993 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１９

東九州自動車道

（宮崎県日向市大字財光寺から宮崎県児湯郡都農町大字川北まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　宮崎県日向市大字財光寺　から
宮崎県児湯郡都農町大字川北　まで

（ロ） 延　長　20．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
宮崎県日向市 大字財光寺　から 宮崎県児湯郡 都農町大字川北　まで	100	20．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
宮崎県日向市 大字財光寺　から 宮崎県児湯郡 都農町大字川北　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道327号	宮崎県日向市 大字財光寺	立体接続	日向インターチェンジ
県道都農インター線	宮崎県児湯郡 都農町大字川北	立体接続	都農インターチェンジ

（4） 工事予算

52，779 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　平成　26 年　3 月　16 日（供用開始）
　　平成　28 年　3 月　30 日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

59，980 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　59，980 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－２２

中央自動車道西宮線（栗東湖南JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

滋賀県栗東市六地蔵

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （栗東水口道路）	滋賀県栗東市 六地蔵	立体接続	栗東湖南ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

717 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　28 年　3 月　19 日（供用開始）
　　平成　29 年　3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，683 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，683 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－２４

中央自動車道西宮線（瀬田東JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

滋賀県大津市大江八丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （京滋バイパス）	滋賀県大津市 大江八丁目	立体接続	瀬田東ジャンクション
県道大津能登川長浜線	滋賀県大津市 大江八丁目	立体接続	瀬田東インターチェンジ

（4） 工事予算

10，128 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　62 年　 3 月　24 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

10，929 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，418 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－２５

中央自動車道西宮線（京都南JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

京都府京都市伏見区竹田田中殿町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道高速道路2号線	京都府京都市 伏見区竹田田中殿町	立体接続	京都南ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，132 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　28 年　4 月　1 日
②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，461 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，404 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－27

近畿自動車道天理吹田線（郡山下ッ道JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

奈良県大和郡山市八条町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道24号 （京奈和自動車道）	奈良県大和郡山市 八条町	立体接続	郡山下ッ道JCT

（4） 工事予算

24，121 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　22 日（供用開始）
平成　29 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26，168 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，168 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－30

近畿自動車道天理吹田線（守口JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

大阪府守口市大日町四丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
府道高速大阪守口線	大阪府守口市 大日町四丁目	立体接続	守口ジャンクション

（4） 工事予算

10，587 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	20 年	2 月	1 日	
②工事の完成予定年月日	平成	26 年	3 月	23 日	（一部供用）
	平成	26 年	7 月	30 日	（供用開始）
	平成	27 年	9 月	25 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

11，833 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　11，833 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３１

近畿自動車道天理吹田線

（大阪府摂津市三島一丁目から大阪府摂津市鶴野二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道 天理吹田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　大阪府摂津市三島一丁目　から
大阪府摂津市鶴野二丁目　まで

（ロ） 延　長　1．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府摂津市 三島一丁目 から 大阪府摂津市 鶴野二丁目 まで	80	1．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府摂津市 三島一丁目　から 大阪府摂津市 鶴野二丁目　まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	―	―	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （中小橋）	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （長大橋）	0．75×2	1．50	―	―	―	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．00　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
1．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

3，231 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　35 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，763 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，708 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３４

近畿自動車道松原那智勝浦線（和歌山JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県和歌山市上黒谷

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道24号 （紀北西道路）	和歌山県和歌山市 上黒谷	立体接続	和歌山ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

11，575 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

12，981 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，774 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３５

近畿自動車道松原那智勝浦線

（和歌山県海南市藤白から和歌山県有田郡有田川町天満まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県海南市藤白　　から
和歌山県有田郡有田川町天満　　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
和歌山県海南市藤白　から 和歌山県有田郡有田川町天満　まで	80	9．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
和歌山県海南市藤白　から 和歌山県有田郡有田川町天満　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道42号	和歌山県海南市 藤白	立体接続	海南インターチェンジ
県道興加茂郷停車場線	和歌山県海南市 下津町橘本	立体接続	下津インターチェンジ
一般国道42号及び 県道吉備金屋線	和歌山県有田郡 有田川町天満	立体接続	有田インターチェンジ
一般国道42号 （湯浅御坊道路）	和歌山県有田郡 有田川町天満	平面接続	本線

（4） 工事予算

47，855 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	7 月	7 日	（供用開始）
	平成	29 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

48，992 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　48，992 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３７

近畿自動車道松原那智勝浦線（南紀田辺IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県田辺市稲成町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道42号 （田辺西バイパス）	和歌山県田辺市 稲成町	立体接続	南紀田辺インターチェンジ
近畿自動車道 松原那智勝浦線	和歌山県田辺市 稲成町	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

1，815 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　平成　27 年　 7 月　12 日（供用開始）
　　平成　28 年　 3 月　31 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，119 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，119 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３８

近畿自動車道松原那智勝浦線
（和歌山県田辺市中芳養から和歌山県田辺市芳養町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県田辺市中芳養　から
和歌山県田辺市芳養町　まで

（ロ） 延　　長　　1．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
和歌山県田辺市 中芳養　から 和歌山県田辺市 芳養町　まで	80	1．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
和歌山県田辺市 中芳養　から 和歌山県田辺市 芳養町　まで	2 車線	4 車線	付加車線事業

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

924 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　平成　27 年　7 月　9 日（供用開始）
平成　28 年　3 月　31 日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，283 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，283 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３９

近畿自動車道敦賀線（春日JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の箇所

兵庫県丹波市春日町棚原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道483号 （春日和田山道路）	兵庫県丹波市 春日町棚原	立体接続	春日ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

618 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

852 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　821 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－４０

近畿自動車道敦賀線

（京都府福知山市長田野町三丁目から京都府綾部市有岡町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道 敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府福知山市長田野町三丁目　から
京都府綾部市有岡町　まで

（ロ） 延　長　10．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
京都府福知山市 長田野町三丁目　から 京都府綾部市 有岡町　まで	80	10．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府福知山市 長田野町三丁目　から 京都府綾部市 有岡町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

22，972 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54 年　3 月　18 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

25，298 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，174 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－４１

近畿自動車道敦賀線

（京都府綾部市上杉町から京都府舞鶴市字堀まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道 敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府綾部市上杉町　から
京都府舞鶴市字堀　まで

（ロ） 延　長　4．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
京都府綾部市 上杉町　から 京都府舞鶴市 字堀　まで	80	4．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府綾部市 上杉町　から 京都府舞鶴市 字堀　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

12，013 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54 年　3 月　18 日
②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

10，021 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　9，589 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－４２

近畿自動車道敦賀線（小浜IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の箇所

福井県小浜市府中

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道小浜インター線	福井県小浜市 府中	立体接続	小浜インターチェンジ

（4） 工事予算

1，300 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成予定年月日	平成	26 年	7 月	20 日	（供用開始）
	平成	28 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，703 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，703 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－４４

中国縦貫自動車道（三次JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

広島県三次市四拾貫町字白鳥

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中国横断自動車道 尾道松江線	広島県三次市 四拾貫町字白鳥	立体接続	三次ジャンクション

（4） 工事予算

2，624 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　 3 月　29 日（供用開始）
平成　28 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，596 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，596 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－４６

中国縦貫自動車道（小郡JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

山口県山口市小郡上郷

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道山口宇部線	山口県山口市 小郡上郷	立体接続	小郡ジャンクション

（4） 工事予算

926 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　 3 月　27 日（供用開始）
　　平成　28 年　 9 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，547 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，547 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－４７

山陽自動車道吹田山口線（瀬戸JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

岡山県岡山市東区瀬戸町塩納

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道佐伯長船線	岡山県岡山市 東区瀬戸町塩納	立体接続	瀬戸ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

1，029 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　35 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，298 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，246 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－５１

山陽自動車道吹田山口線（五日市JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県広島市佐伯区五日市町大字石内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道佐伯1区380号線	広島県広島市 佐伯区五日市町大字石内	平面接続	五日市ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

926 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24 年　 5 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，296 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，249 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－５８

四国縦貫自動車道（松山IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

愛媛県松山市井門町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道33号	愛媛県松山市 井門町	立体接続	松山インターチェンジ

（4） 工事予算

780 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成予定年月日	平成	26 年	3 月	16 日	（供用開始）
	平成	29 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，397 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，397 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－６２

四国横断自動車道阿南四万十線（高知IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の箇所

高知県高知市一宮

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道55号	高知県高知市 一宮	立体接続	高知インターチェンジ

（4） 工事予算

278 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　6 年　1 月　26 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

614 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　600 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－６７

九州縦貫自動車道鹿児島線（嘉島JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道　鹿児島線

（2） 工事の箇所

熊本県上益城郡嘉島町大字井寺

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
九州横断自動車道 延岡線	熊本県上益城郡 嘉島町大字井寺	立体接続	嘉島ジャンクション
九州横断自動車道 延岡線	熊本県上益城郡 益城町大字小池	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

6，277 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　 3 月　22 日（供用開始）
平成　28 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

7，600 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，600 百万円）（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線（多久IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

佐賀県多久市北多久町大字多久原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道203号	佐賀県多久市 北多久町大字多久原	立体接続	多久インターチェンジ

（4） 工事予算

599 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　48 年　 9 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

911 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　880 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－７０

九州横断自動車道長崎大分線（大分米良IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

大分県大分市大字片島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道10号	大分県大分市 大字片島	立体接続	大分米良インターチェンジ

（4） 工事予算

776 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　5 月　15 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，253 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，214 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－７３

東九州自動車道（佐伯IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

大分県佐伯市大字上岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道佐伯津久見線	大分県佐伯市 大字上岡	立体接続	佐伯インターチェンジ
東九州自動車道	大分県佐伯市 大字上岡	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

892 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　平成　27 年　 3 月　21 日（供用開始）
　　平成　28 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，336 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，336 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－７４

東九州自動車道（弥生PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

大分県佐伯市弥生大字床木

（3） 工事予算

1，458 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　平成　34 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，833 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，759 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－７８

一般国道４７８号（京都縦貫自動車道）

（京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道478号　（有料道路名:京都縦貫自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府京都市西京区大枝沓掛町　から
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺　まで

（ロ） 延　長　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
京都府京都市 西京区大枝沓掛町 京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺	から まで	80	9．8	

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
京都府京都市 西京区大枝沓掛町 京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道9号	京都府京都市 西京区大枝沓掛町	立体接続	沓掛インターチェンジ
都市計画道路沓掛上羽線	京都府京都市 西京区大枝西長町	立体接続	大原野インターチェンジ
都市計画道路石見納所線	京都府長岡京市 下海印寺岸ノ下	立体接続	長岡京インターチェンジ
一般国道171号	京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺	立体接続	大山崎インターチェンジ・ジャンクション
中央自動車道 西宮線	京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺	立体接続	大山崎インターチェンジ・ジャンクション
中央自動車道 西宮線	京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺	平面接続	本線

（4） 工事予算

53，789 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府京都市西京区大枝沓掛町まで
平成　21 年　 3 月　18 日

ロ 京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府京都市西京区大枝西長町まで
平成　22 年　 3 月　31 日

ハ 京都府京都市西京区大枝西長町から京都府京都市西京区大原野南春日町まで
平成　24 年　11 月　 1 日

ニ 京都府京都市西京区大原野北春日町から京都府京都市西京区大原野北春日町まで
平成　24 年　 8 月　18 日

ホ 京都府京都市西京区大原野南春日町から京都府京都市西京区大原野南春日町まで
平成　24 年　 9 月　12 日

ヘ 京都府京都市西京区大原野南春日町から京都府京都市西京区大原野南春日町まで
平成　24 年　 8 月　18 日

ト 京都府京都市西京区大原野南春日町から京都府京都市西京区大原野灰方町まで
平成　24 年　12 月　 4 日

別　紙　1

チ　京都府京都市西京区大原野灰方町から京都府京都市西京区大原野灰方町まで
　平成　24 年　 7 月　 4 日

リ　京都府京都市西京区大原野灰方町から京都府京都市西京区大原野石作町まで
　平成　24 年　 9 月　12 日

ヌ　京都府京都市西京区大原野石作町から京都府長岡京市下海印寺岸ノ下まで
　平成　22 年　 8 月　23 日

ル　京都府長岡京市下海印寺西条から京都府長岡京市下海印寺菩提寺まで
　平成　21 年　11 月　18 日

ヲ　京都府長岡京市下海印寺岸ノ下から京都府長岡京市下海印寺岸ノ下まで
　平成　24 年　 8 月　18 日

ワ　京都府長岡京市下海印寺岸ノ下から京都府長岡京市下海印寺岸ノ下まで
　平成　24 年　12 月　 4 日

カ　京都府長岡京市下海印寺岸ノ下から京都府長岡京市調子1丁目まで
　平成　24 年　 9 月　12 日

ヨ　京都府長岡京市友岡4丁目から京都府長岡京市調子1丁目まで
　平成　24 年　 8 月　18 日

タ　京都府長岡京市調子1丁目から京都府長岡京市調子2丁目まで
　平成　24 年　11 月　 1 日

レ 京都府長岡京市調子2丁目から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで
平成　24 年　12 月　29 日

ソ 京都府乙訓郡大山崎町字円明寺から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで
平成　13 年　6 月　7 日

なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

イ 京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで
平成　25 年　4 月　21 日　（供用開始）
平成　28 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

56，436 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　56，436 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－９８

中国縦貫自動車道（勝央JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

岡山県美作市上相

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道374号	岡山県美作市 上相	立体接続	勝央ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

747 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　23 年　 4 月　23 日
②工事の完成予定年月日　平成　28 年　 3 月　27 日（供用開始）
　　平成　28 年　 9 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

879 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　879 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１００

四国横断自動車道阿南四万十線

（徳島県鳴門市撫養町木津から香川県高松市前田東町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県鳴門市撫養町木津　から
香川県高松市前田東町　まで

（ロ） 延　　長　　51．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間		道路の区分	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津	から	第1種第2級	道路構造令
香川県さぬき市 津田町鶴羽	まで		
香川県さぬき市 津田町鶴羽	から	第1種第3級	道路構造令
香川県高松市 前田東町	まで		

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津	から	100	36．2	
香川県さぬき市 津田町鶴羽	まで			
香川県さぬき市 津田町鶴羽	から	80	15．6	
香川県高松市 前田東町	まで			

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津	から	4 車線	4 車線	4車線化
香川県高松市 前田東町	まで			

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設計区間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左　側	計	左　側	右　側	計	
徳島県鳴門市 撫養町木津 から 香川県さぬき市 津田町鶴羽 まで	土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．25	3．75	
	トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
	橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
	橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	
香川県さぬき市 津田町鶴羽 から 香川県高松市 前田東町 まで	土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．00	3．50	
	トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
	橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
	橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間		幅　員	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津	から	4．50メートル（土工部）	
香川県さぬき市 津田町鶴羽	まで	4．50メートル（橋梁部）	
香川県さぬき市 津田町鶴羽	から	3．00メートル（土工部）	
香川県高松市 前田東町	まで	3．00メートル（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

71，463 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24 年　5 月　17 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

78，915 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　75，515 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１０１

九州横断自動車道長崎大分線

（長崎県長崎市早坂町から長崎県長崎市中里町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長崎県長崎市早坂町　から
長崎県長崎市中里町　まで
（なお、事業着手する区間については長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までとする。）

（ロ） 延　　長　　11．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長崎県長崎市 早坂町　から 長崎県長崎市 中里町　まで	80	11．3 （ 8．3）	

※（ ）内は、長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までを表す。

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
長崎県長崎市 早坂町　から 長崎県長崎市 中里町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

2．00　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

42，897 百万円（消費税込み）

（うち、長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までの工事予算　　33，022 百万円（消費税込み））

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24 年　5 月　17 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

（なお、上記については長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までの工事の着手および完成の予定年月日を表す。）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

35，832 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　34，284 百万円）（消費税込み）

（なお、上記については長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までの債務引受限度額および助成対象基準額を表す。）

別紙１－Ｗ－１０３

一般国道４７８号（京都縦貫自動車道）（丹波IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道478号　（有料道路名:京都縦貫自動車道）

（2） 工事の箇所

京都府船井郡京丹波町須知

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道478号 （丹波綾部道路）	京都府船井郡 京丹波町須知	平面接続	本線
一般国道9号	京都府船井郡 京丹波町須知	立体接続	丹波インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，871 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	24 年	8 月	18 日	
②工事の完成予定年月日	平成	27 年	7 月	18 日	（供用開始）
	平成	28 年	3 月	31 日	（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，067 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，067 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１０４

一般国道４２号（湯浅御坊道路）

（和歌山県御坊市野口から和歌山県有田郡有田川町天満まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道42号　　（有料道路名 ： 湯浅御坊道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県御坊市野口　　から
和歌山県有田郡有田川町天満　　まで

（ロ） 延　　長　　19．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
和歌山県御坊市 野口　から 和歌山県有田郡 有田川町天満　まで	80	19．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
和歌山県御坊市 野口　から 和歌山県有田郡 有田川町天満　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

73，217 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成 25 年 7 月 12 日
②工事の完成予定年月日　平成 33 年 12 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

83，615 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　79，673 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１０５

山陰自動車道鳥取益田線（出雲IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陰自動車道　鳥取益田線

（2） 工事の箇所

島根県出雲市知井宮町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道出雲インター線	島根県出雲市 知井宮町	立体接続	出雲インターチェンジ
一般国道9号 （出雲・湖陵道路）	島根県出雲市 知井宮町	平面接続	本線

（4） 工事予算

1,000 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　32 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,137 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1,090 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１０６

沖縄自動車道（幸地IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

沖縄自動車道

（2） 工事の箇所

沖縄県中頭郡西原町字幸地

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　幸地インター線	沖縄県 中頭郡西原町字幸地	立体接続	幸地インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1,387 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,559 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1,492 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１０７

近畿自動車道名古屋神戸線（新名神大津スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の箇所

滋賀県大津市大石龍門

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　宇治田原大石東線	滋賀県大津市大石龍門	立体接続	新名神大津スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

426 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　36 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

492 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１０８

中国縦貫自動車道（湯田PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

山口県山口市吉田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道湯田パーキング線	山口県山口市吉田	立体接続	湯田PAスマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2,596 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　32 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，936 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１０９

山陽自動車道吹田山口線（沼田スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道吹田山口線

（2） 工事の箇所　　広島県広島市安佐南区沼田町大字伴

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道安佐南4区431号線　及び 市道安佐南4区803号線	広島県広島市安佐南区 沼田町大字伴	立体接続	沼田スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

1,591 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，780 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１１０

四国縦貫自動車道（中山スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

愛媛県伊予市双海町上灘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道日尾野引坂線	愛媛県伊予市双海町上灘	立体接続	中山スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

1,388 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　32 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，571 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１１１

九州縦貫自動車道鹿児島線（人吉球磨スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道鹿児島線

（2） 工事の箇所

熊本県人吉市七地町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道スマートインターチェンジ第1号線及び 市道スマートインターチェンジ第2号線	熊本県人吉市浪床町	立体接続	人吉球磨スマートインターチェンジ （仮称）

（4） 工事予算

2,854 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，217 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１１２

九州横断自動車道長崎大分線（別府湾スマートIC（上り線））に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道長崎大分線

（2） 工事の箇所

大分県別府市大字内竈

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道八石荷戸2号線	大分県別府市大字内竈	立体接続	別府湾スマートインターチェンジ（上り線）

（4） 工事予算

733 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

819 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１７８の次に次の別紙を加える。

別紙１－Ｅ－１７９

東関東自動車道水戸線（京葉JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県市川市稲荷木

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道14号 （京葉道路）	千葉県市川市 稲荷木	立体接続	京葉ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

32，814 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　　平成　28 年　 3 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　35 年　 3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

38，264 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　36，450 百万円）（消費税込み）

別紙３－１から別紙３－４を次のとおり改める。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙３－１

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	24,213百万円
Ｈ１９	25,071百万円
Ｈ２０	24,580百万円
Ｈ２１	37,064百万円
Ｈ２２	50,385百万円
Ｈ２３	34,989百万円
Ｈ２４	33,071百万円
Ｈ２５	41,256百万円
Ｈ２６	68,784百万円
Ｈ２７	122,847百万円
Ｈ２８	89,303百万円
Ｈ２９	106,952百万円
Ｈ３０	72,278百万円
Ｈ３１	69,390百万円
Ｈ３２	74,688百万円
Ｈ３３	51,415百万円
Ｈ３４	51,494百万円
Ｈ３５	66,570百万円
Ｈ３６	52,093百万円
Ｈ３７	52,403百万円
Ｈ３８	53,080百万円
Ｈ３９	52,960百万円
Ｈ４０	53,047百万円
Ｈ４１	53,384百万円
Ｈ４２	191,836百万円
Ｈ４３	53,902百万円
Ｈ４４	54,187百万円
Ｈ４５	53,063百万円
Ｈ４６	52,997百万円
Ｈ４７	52,837百万円
Ｈ４８	53,431百万円
Ｈ４９	53,694百万円
Ｈ５０	52,750百万円
Ｈ５１	52,598百万円
Ｈ５２	52,603百万円
Ｈ５３	52,586百万円
Ｈ５４	52,989百万円
Ｈ５５	52,924百万円
Ｈ５６	52,086百万円
Ｈ５７	51,392百万円
Ｈ５８	51,279百万円
Ｈ５９	51,123百万円
Ｈ６０	51,112百万円
Ｈ６１	50,963百万円
Ｈ６２	51,222百万円
Ｈ６３	51,221百万円
Ｈ６４	51,221百万円
Ｈ６５	51,221百万円
Ｈ６６	51,221百万円
Ｈ６７	51,221百万円
Ｈ６８	51,221百万円
Ｈ６９	51,221百万円
Ｈ７０	51,221百万円
Ｈ７１	51,221百万円
Ｈ７２	5,829百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙３－２

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	14,696百万円
Ｈ１９	24,995百万円
Ｈ２０	27,416百万円
Ｈ２１	32,076百万円
Ｈ２２	21,467百万円
Ｈ２３	19,581百万円
Ｈ２４	31,785百万円
Ｈ２５	48,923百万円
Ｈ２６	33,108百万円
Ｈ２７	107,662百万円
Ｈ２８	61,379百万円
Ｈ２９	78,150百万円
Ｈ３０	57,387百万円
Ｈ３１	70,829百万円
Ｈ３２	37,529百万円
Ｈ３３	37,278百万円
Ｈ３４	37,529百万円
Ｈ３５	40,566百万円
Ｈ３６	76,351百万円
Ｈ３７	37,860百万円
Ｈ３８	38,401百万円
Ｈ３９	38,218百万円
Ｈ４０	38,229百万円
Ｈ４１	38,352百万円
Ｈ４２	39,869百万円
Ｈ４３	39,028百万円
Ｈ４４	40,337百万円
Ｈ４５	38,845百万円
Ｈ４６	38,934百万円
Ｈ４７	38,859百万円
Ｈ４８	38,955百万円
Ｈ４９	39,245百万円
Ｈ５０	38,763百万円
Ｈ５１	38,808百万円
Ｈ５２	38,821百万円
Ｈ５３	38,814百万円
Ｈ５４	38,846百万円
Ｈ５５	39,221百万円
Ｈ５６	38,669百万円
Ｈ５７	38,542百万円
Ｈ５８	38,546百万円
Ｈ５９	38,517百万円
Ｈ６０	38,591百万円
Ｈ６１	38,408百万円
Ｈ６２	38,699百万円
Ｈ６３	38,685百万円
Ｈ６４	38,735百万円
Ｈ６５	39,214百万円
Ｈ６６	38,628百万円
Ｈ６７	38,482百万円
Ｈ６８	38,426百万円
Ｈ６９	38,365百万円
Ｈ７０	38,437百万円
Ｈ７１	38,242百万円
Ｈ７２	4,393百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙３－３

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	16,786百万円
Ｈ１９	24,426百万円
Ｈ２０	25,020百万円
Ｈ２１	26,890百万円
Ｈ２２	37,352百万円
Ｈ２３	37,947百万円
Ｈ２４	42,569百万円
Ｈ２５	55,252百万円
Ｈ２６	79,077百万円
Ｈ２７	75,152百万円
Ｈ２８	108,929百万円
Ｈ２９	65,500百万円
Ｈ３０	67,692百万円
Ｈ３１	68,602百万円
Ｈ３２	48,433百万円
Ｈ３３	43,992百万円
Ｈ３４	44,812百万円
Ｈ３５	44,909百万円
Ｈ３６	40,504百万円
Ｈ３７	40,929百万円
Ｈ３８	40,835百万円
Ｈ３９	41,292百万円
Ｈ４０	40,832百万円
Ｈ４１	41,529百万円
Ｈ４２	42,355百万円
Ｈ４３	43,061百万円
Ｈ４４	43,856百万円
Ｈ４５	43,451百万円
Ｈ４６	44,063百万円
Ｈ４７	44,261百万円
Ｈ４８	44,590百万円
Ｈ４９	44,850百万円
Ｈ５０	44,425百万円
Ｈ５１	44,500百万円
Ｈ５２	44,855百万円
Ｈ５３	45,016百万円
Ｈ５４	44,717百万円
Ｈ５５	45,014百万円
Ｈ５６	44,346百万円
Ｈ５７	43,631百万円
Ｈ５８	43,467百万円
Ｈ５９	44,056百万円
Ｈ６０	43,429百万円
Ｈ６１	43,921百万円
Ｈ６２	44,439百万円
Ｈ６３	45,003百万円
Ｈ６４	45,095百万円
Ｈ６５	45,167百万円
Ｈ６６	45,183百万円
Ｈ６７	44,312百万円
Ｈ６８	44,564百万円
Ｈ６９	44,220百万円
Ｈ７０	44,317百万円
Ｈ７１	44,337百万円
Ｈ７２	5,049百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙３－４

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	1,135百万円
Ｈ１９	4,509百万円
Ｈ２０	4,337百万円
Ｈ２１	5,665百万円
Ｈ２２	5,438百万円
Ｈ２３	4,197百万円
Ｈ２４	3,663百万円
Ｈ２５	8,767百万円
Ｈ２６	11,343百万円
Ｈ２７	13,317百万円
Ｈ２８	9,795百万円
Ｈ２９	10,009百万円
Ｈ３０	10,394百万円
Ｈ３１	9,825百万円
Ｈ３２	10,264百万円
Ｈ３３	9,223百万円
Ｈ３４	8,840百万円
Ｈ３５	9,188百万円
Ｈ３６	9,105百万円
Ｈ３７	8,711百万円
Ｈ３８	8,602百万円
Ｈ３９	8,926百万円
Ｈ４０	8,862百万円
Ｈ４１	8,586百万円
Ｈ４２	8,535百万円
Ｈ４３	6,885百万円
Ｈ４４	6,944百万円
Ｈ４５	6,881百万円
Ｈ４６	6,751百万円
Ｈ４７	6,676百万円
Ｈ４８	6,503百万円
Ｈ４９	6,317百万円
Ｈ５０	6,484百万円
Ｈ５１	6,335百万円
Ｈ５２	6,730百万円
Ｈ５３	6,697百万円
Ｈ５４	6,642百万円
Ｈ５５	6,278百万円
Ｈ５６	6,533百万円
Ｈ５７	6,165百万円
Ｈ５８	6,258百万円
Ｈ５９	6,470百万円
Ｈ６０	6,717百万円
Ｈ６１	6,438百万円
Ｈ６２	6,532百万円
Ｈ６３	7,120百万円
Ｈ６４	7,375百万円
Ｈ６５	7,573百万円
Ｈ６６	7,327百万円
Ｈ６７	7,510百万円
Ｈ６８	7,404百万円
Ｈ６９	7,284百万円
Ｈ７０	7,112百万円
Ｈ７１	7,364百万円
Ｈ７２	829百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙４－１から別紙４－４を次のとおり改める。

別紙４－１

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	86,456百万円

別紙４－２

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	81,524百万円

別紙４－３

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	73,900百万円

別紙４－４

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	12,384百万円

別紙５－１から別紙５－３を次のとおり改める。

別紙５－１

東日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H26	9百万円
H27	302百万円
H28	1,624百万円
H29	2,321百万円
H30	3,799百万円
H31	832百万円
H32	1,247百万円
H33	0百万円
H34	0百万円
H35	0百万円
H36	0百万円
H37	0百万円
H38	0百万円
H39	0百万円
H40	0百万円
H41	0百万円
H42	0百万円
H43	0百万円
H44	0百万円
H45	0百万円
H46	0百万円
H47	0百万円
H48	0百万円
H49	0百万円
H50	0百万円
H51	0百万円
H52	0百万円
H53	0百万円
H54	0百万円
H55	0百万円
H56	0百万円
H57	0百万円
H58	0百万円
H59	0百万円
H60	0百万円
H61	0百万円
H62	0百万円
H63	0百万円
H64	0百万円
H65	0百万円
H66	0百万円
H67	0百万円
H68	0百万円
H69	0百万円
H70	0百万円
H71	0百万円
H72	0百万円

別紙５－２

中日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H26	8百万円
H27	132百万円
H28	563百万円
H29	861百万円
H30	1,148百万円
H31	846百万円
H32	800百万円
H33	0百万円
H34	0百万円
H35	0百万円
H36	0百万円
H37	0百万円
H38	0百万円
H39	0百万円
H40	0百万円
H41	0百万円
H42	0百万円
H43	0百万円
H44	0百万円
H45	0百万円
H46	0百万円
H47	0百万円
H48	0百万円
H49	0百万円
H50	0百万円
H51	0百万円
H52	0百万円
H53	0百万円
H54	0百万円
H55	0百万円
H56	0百万円
H57	0百万円
H58	0百万円
H59	0百万円
H60	0百万円
H61	0百万円
H62	0百万円
H63	0百万円
H64	0百万円
H65	0百万円
H66	0百万円
H67	0百万円
H68	0百万円
H69	0百万円
H70	0百万円
H71	0百万円
H72	0百万円

別紙５－３

西日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H26	17百万円
H27	215百万円
H28	567百万円
H29	1,283百万円
H30	1,360百万円
H31	1,148百万円
H32	1百万円
H33	26百万円
H34	65百万円
H35	93百万円
H36	0百万円
H37	0百万円
H38	0百万円
H39	0百万円
H40	0百万円
H41	0百万円
H42	0百万円
H43	0百万円
H44	0百万円
H45	0百万円
H46	0百万円
H47	0百万円
H48	0百万円
H49	0百万円
H50	0百万円
H51	0百万円
H52	0百万円
H53	0百万円
H54	0百万円
H55	0百万円
H56	0百万円
H57	0百万円
H58	0百万円
H59	0百万円
H60	0百万円
H61	0百万円
H62	0百万円
H63	0百万円
H64	0百万円
H65	0百万円
H66	0百万円
H67	0百万円
H68	0百万円
H69	0百万円
H70	0百万円
H71	0百万円
H72	0百万円

別紙６－１から別紙６－４を次のとおり改める。

別紙６－１

東日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	（ 551,875百万円 ） 551,875百万円	（ 63,667百万円 ） 47,550百万円	（ 379,925百万円 ） 391,645百万円	（ 127,702百万円 ） 111,107百万円	（ 252,223百万円 ） 280,538百万円
Ｈ１９	（ 559,192百万円 ） 558,180百万円	（ 67,965百万円 ） 51,619百万円	（ 405,577百万円 ） 425,162百万円	（ 136,324百万円 ） 120,616百万円	（ 269,253百万円 ） 304,546百万円
Ｈ２０	（ 555,373百万円 ） 522,469百万円	（ 68,941百万円 ） 49,115百万円	（ 411,402百万円 ） 404,532百万円	（ 138,282百万円 ） 114,763百万円	（ 273,120百万円 ） 289,769百万円
Ｈ２１	（ 449,377百万円 ） 420,422百万円	（ 55,670百万円 ） 39,424百万円	（ 332,204百万円 ） 324,717百万円	（ 111,662百万円 ） 92,120百万円	（ 220,542百万円 ） 232,597百万円
Ｈ２２	（ 447,103百万円 ） 414,736百万円	（ 54,937百万円 ） 34,125百万円	（ 327,833百万円 ） 281,068百万円	（ 110,193百万円 ） 79,737百万円	（ 217,640百万円 ） 201,331百万円
Ｈ２３	（ 436,821百万円 ） 400,681百万円	（ 39,902百万円 ） 36,286百万円	（ 328,653百万円 ） 298,870百万円	（ 93,237百万円 ） 84,788百万円	（ 235,416百万円 ） 214,082百万円
Ｈ２４	（ 429,007百万円 ） 471,361百万円	（ 38,674百万円 ） 42,912百万円	（ 318,541百万円 ） 353,445百万円	（ 90,368百万円 ） 100,270百万円	（ 228,173百万円 ） 253,175百万円
Ｈ２５	（ 430,686百万円 ） 484,935百万円	（ 32,447百万円 ） 41,206百万円	（ 267,253百万円 ） 339,394百万円	（ 75,818百万円 ） 96,284百万円	（ 191,435百万円 ） 243,110百万円
Ｈ２６	（ 516,202百万円 ） 605,006百万円	（ 38,687百万円 ） 50,781百万円	（ 318,649百万円 ） 418,260百万円	（ 90,399百万円 ） 118,658百万円	（ 228,250百万円 ） 299,602百万円
Ｈ２７	518,644百万円	39,437百万円	324,824百万円	92,151百万円	232,673百万円
Ｈ２８	512,856百万円	37,494百万円	308,816百万円	87,609百万円	221,207百万円
Ｈ２９	540,187百万円	37,885百万円	312,037百万円	88,523百万円	223,514百万円
Ｈ３０	545,637百万円	40,932百万円	337,137百万円	95,644百万円	241,493百万円
Ｈ３１	543,742百万円	40,501百万円	333,589百万円	94,637百万円	238,952百万円
Ｈ３２	539,262百万円	37,529百万円	309,107百万円	87,692百万円	221,415百万円
Ｈ３３	565,816百万円	42,453百万円	349,663百万円	99,197百万円	250,466百万円
Ｈ３４	578,265百万円	44,708百万円	368,235百万円	104,466百万円	263,769百万円
Ｈ３５	583,656百万円	44,826百万円	369,209百万円	104,742百万円	264,467百万円
Ｈ３６	586,691百万円	45,925百万円	378,259百万円	107,310百万円	270,949百万円
Ｈ３７	587,591百万円	45,719百万円	376,564百万円	106,829百万円	269,735百万円
Ｈ３８	587,731百万円	45,741百万円	376,744百万円	106,880百万円	269,864百万円
Ｈ３９	588,369百万円	46,234百万円	380,802百万円	108,031百万円	272,771百万円
Ｈ４０	585,184百万円	46,484百万円	382,870百万円	108,618百万円	274,252百万円
Ｈ４１	583,943百万円	47,021百万円	387,290百万円	109,872百万円	277,418百万円
Ｈ４２	581,326百万円	38,894百万円	320,348百万円	90,881百万円	229,467百万円
Ｈ４３	578,779百万円	52,439百万円	431,919百万円	122,533百万円	309,386百万円
Ｈ４４	571,536百万円	51,686百万円	425,715百万円	120,773百万円	304,942百万円
Ｈ４５	566,320百万円	51,277百万円	422,343百万円	119,816百万円	302,527百万円
Ｈ４６	560,999百万円	50,751百万円	418,011百万円	118,587百万円	299,424百万円
Ｈ４７	556,844百万円	50,351百万円	414,719百万円	117,653百万円	297,066百万円
Ｈ４８	550,641百万円	49,671百万円	409,119百万円	116,065百万円	293,054百万円
Ｈ４９	545,491百万円	49,130百万円	404,658百万円	114,799百万円	289,859百万円
Ｈ５０	540,387百万円	48,714百万円	401,229百万円	113,826百万円	287,403百万円
Ｈ５１	537,146百万円	48,404百万円	398,683百万円	113,104百万円	285,579百万円
Ｈ５２	529,141百万円	47,603百万円	392,083百万円	111,232百万円	280,851百万円
Ｈ５３	525,014百万円	47,192百万円	388,696百万円	110,271百万円	278,425百万円
Ｈ５４	519,934百万円	46,643百万円	384,177百万円	108,989百万円	275,188百万円
Ｈ５５	516,685百万円	46,325百万円	381,553百万円	108,244百万円	273,309百万円
Ｈ５６	509,728百万円	45,712百万円	376,510百万円	106,814百万円	269,696百万円
Ｈ５７	503,614百万円	45,170百万円	372,044百万円	105,547百万円	266,497百万円
Ｈ５８	499,486百万円	44,768百万円	368,735百万円	104,608百万円	264,127百万円
Ｈ５９	496,176百万円	44,453百万円	366,136百万円	103,871百万円	262,265百万円
Ｈ６０	489,428百万円	43,779百万円	360,585百万円	102,296百万円	258,289百万円
Ｈ６１	485,389百万円	43,389百万円	357,378百万円	101,386百万円	255,992百万円
Ｈ６２	481,068百万円	42,931百万円	353,605百万円	100,316百万円	253,289百万円
Ｈ６３	474,917百万円	42,316百万円	348,536百万円	98,878百万円	249,658百万円
Ｈ６４	467,757百万円	41,600百万円	342,636百万円	97,204百万円	245,432百万円
Ｈ６５	462,281百万円	41,052百万円	338,122百万円	95,923百万円	242,199百万円
Ｈ６６	457,285百万円	40,552百万円	334,005百万円	94,755百万円	239,250百万円
Ｈ６７	452,733百万円	40,096百万円	330,254百万円	93,691百万円	236,563百万円
Ｈ６８	447,049百万円	39,528百万円	325,570百万円	92,362百万円	233,208百万円
Ｈ６９	441,923百万円	39,015百万円	321,346百万円	91,164百万円	230,182百万円
Ｈ７０	436,653百万円	38,487百万円	317,003百万円	89,932百万円	227,071百万円
Ｈ７１	409,638百万円	35,784百万円	294,739百万円	83,616百万円	211,123百万円
Ｈ７２	24,523百万円	1,861百万円	15,331百万円	4,349百万円	10,982百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度の上段（ ）内は計画値、下段は実績値を記載している。

別紙６－２

中日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	(472,195百万円) 484,094百万円	(86,431百万円) 74,294百万円	(307,137百万円) 316,083百万円	(81,338百万円) 69,250百万円	(225,799百万円) 246,833百万円
Ｈ１９	(482,966百万円) 484,615百万円	(96,496百万円) 80,890百万円	(342,904百万円) 344,144百万円	(90,810百万円) 75,398百万円	(252,094百万円) 268,746百万円
Ｈ２０	(466,881百万円) 456,343百万円	(94,180百万円) 76,802百万円	(334,674百万円) 326,751百万円	(88,630百万円) 71,587百万円	(246,044百万円) 255,164百万円
Ｈ２１	(355,494百万円) 329,680百万円	(70,563百万円) 54,376百万円	(250,751百万円) 231,341百万円	(66,405百万円) 50,684百万円	(184,346百万円) 180,657百万円
Ｈ２２	(350,323百万円) 340,782百万円	(69,626百万円) 52,677百万円	(247,421百万円) 224,113百万円	(65,524百万円) 49,100百万円	(181,897百万円) 175,012百万円
Ｈ２３	(352,605百万円) 355,511百万円	(57,106百万円) 57,620百万円	(242,956百万円) 245,142百万円	(53,229百万円) 53,708百万円	(189,727百万円) 191,434百万円
Ｈ２４	(346,816百万円) 365,770百万円	(55,233百万円) 58,584百万円	(234,987百万円) 249,243百万円	(51,483百万円) 54,606百万円	(183,504百万円) 194,637百万円
Ｈ２５	(348,386百万円) 376,626百万円	(44,204百万円) 53,781百万円	(188,066百万円) 228,811百万円	(41,203百万円) 50,130百万円	(146,863百万円) 178,682百万円
Ｈ２６	(441,426百万円) 496,478百万円	(62,649百万円) 77,803百万円	(266,540百万円) 331,014百万円	(58,396百万円) 72,521百万円	(208,144百万円) 258,492百万円
Ｈ２７	454,427百万円	63,317百万円	269,384百万円	59,019百万円	210,365百万円
Ｈ２８	457,325百万円	67,268百万円	286,188百万円	62,700百万円	223,488百万円
Ｈ２９	478,453百万円	60,492百万円	257,362百万円	56,385百万円	200,977百万円
Ｈ３０	479,520百万円	60,895百万円	259,078百万円	56,761百万円	202,317百万円
Ｈ３１	480,740百万円	57,645百万円	245,248百万円	53,731百万円	191,517百万円
Ｈ３２	479,680百万円	61,129百万円	260,074百万円	56,979百万円	203,095百万円
Ｈ３３	482,376百万円	62,390百万円	265,440百万円	58,155百万円	207,285百万円
Ｈ３４	487,193百万円	63,737百万円	271,168百万円	59,410百万円	211,758百万円
Ｈ３５	491,923百万円	63,971百万円	272,164百万円	59,628百万円	212,536百万円
Ｈ３６	488,537百万円	56,261百万円	239,363百万円	52,442百万円	186,921百万円
Ｈ３７	489,010百万円	62,366百万円	265,335百万円	58,132百万円	207,203百万円
Ｈ３８	488,130百万円	62,490百万円	265,861百万円	58,247百万円	207,614百万円
Ｈ３９	488,590百万円	62,337百万円	265,209百万円	58,104百万円	207,105百万円
Ｈ４０	486,012百万円	60,412百万円	257,024百万円	56,311百万円	200,713百万円
Ｈ４１	484,732百万円	67,200百万円	285,903百万円	62,638百万円	223,265百万円
Ｈ４２	483,449百万円	78,284百万円	333,059百万円	72,969百万円	260,090百万円
Ｈ４３	480,654百万円	77,939百万円	331,589百万円	72,647百万円	258,942百万円
Ｈ４４	474,430百万円	76,608百万円	325,925百万円	71,406百万円	254,519百万円
Ｈ４５	469,657百万円	76,028百万円	323,459百万円	70,866百万円	252,593百万円
Ｈ４６	465,524百万円	75,281百万円	320,283百万円	70,170百万円	250,113百万円
Ｈ４７	462,890百万円	74,829百万円	318,360百万円	69,749百万円	248,611百万円
Ｈ４８	457,246百万円	73,815百万円	314,044百万円	68,803百万円	245,241百万円
Ｈ４９	453,359百万円	73,077百万円	310,903百万円	68,115百万円	242,788百万円
Ｈ５０	449,388百万円	72,460百万円	308,281百万円	67,541百万円	240,740百万円
Ｈ５１	446,477百万円	71,937百万円	306,056百万円	67,053百万円	239,003百万円
Ｈ５２	440,360百万円	70,854百万円	301,449百万円	66,044百万円	235,405百万円
Ｈ５３	436,229百万円	70,125百万円	298,347百万円	65,364百万円	232,983百万円
Ｈ５４	432,596百万円	69,478百万円	295,592百万円	64,761百万円	230,831百万円
Ｈ５５	430,118百万円	68,974百万円	293,447百万円	64,291百万円	229,156百万円
Ｈ５６	424,578百万円	68,092百万円	289,696百万円	63,469百万円	226,227百万円
Ｈ５７	419,976百万円	67,301百万円	286,332百万円	62,732百万円	223,600百万円
Ｈ５８	415,948百万円	66,589百万円	283,300百万円	62,068百万円	221,232百万円
Ｈ５９	413,439百万円	66,150百万円	281,435百万円	61,659百万円	219,776百万円
Ｈ６０	408,141百万円	65,201百万円	277,396百万円	60,774百万円	216,622百万円
Ｈ６１	404,499百万円	64,589百万円	274,794百万円	60,204百万円	214,590百万円
Ｈ６２	399,905百万円	63,726百万円	271,123百万円	59,400百万円	211,723百万円
Ｈ６３	397,053百万円	63,225百万円	268,988百万円	58,932百万円	210,056百万円
Ｈ６４	391,667百万円	62,264百万円	264,902百万円	58,037百万円	206,865百万円
Ｈ６５	387,201百万円	61,390百万円	261,183百万円	57,222百万円	203,961百万円
Ｈ６６	382,736百万円	60,704百万円	258,266百万円	56,583百万円	201,683百万円
Ｈ６７	379,480百万円	60,155百万円	255,928百万円	56,071百万円	199,857百万円
Ｈ６８	374,299百万円	59,249百万円	252,075百万円	55,227百万円	196,848百万円
Ｈ６９	370,254百万円	58,545百万円	249,079百万円	54,570百万円	194,509百万円
Ｈ７０	366,351百万円	57,843百万円	246,090百万円	53,915百万円	192,175百万円
Ｈ７１	341,334百万円	53,456百万円	227,426百万円	49,826百万円	177,600百万円
Ｈ７２	19,112百万円	2,589百万円	11,014百万円	2,413百万円	8,601百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度の上段（　）内は計画値、下段は実績値を記載している。

別紙６－３

西日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	(499,925百万円) 510,013百万円	(69,628百万円) 74,784百万円	(332,649百万円) 357,283百万円	(107,706百万円) 115,682百万円	(224,943百万円) 241,601百万円
Ｈ１９	(509,334百万円) 509,334百万円	(76,047百万円) 79,849百万円	(363,317百万円) 381,483百万円	(117,636百万円) 123,517百万円	(245,681百万円) 257,966百万円
Ｈ２０	(502,022百万円) 485,996百万円	(75,381百万円) 76,489百万円	(360,133百万円) 365,426百万円	(116,605百万円) 118,318百万円	(243,528百万円) 247,108百万円
Ｈ２１	(399,934百万円) 381,671百万円	(58,960百万円) 61,193百万円	(281,681百万円) 292,353百万円	(91,203百万円) 94,659百万円	(190,478百万円) 197,694百万円
Ｈ２２	(410,838百万円) 403,375百万円	(61,473百万円) 60,260百万円	(293,688百万円) 287,895百万円	(95,091百万円) 93,215百万円	(198,597百万円) 194,680百万円
Ｈ２３	(395,853百万円) 410,885百万円	(58,087百万円) 45,466百万円	(277,511百万円) 289,436百万円	(89,853百万円) 78,667百万円	(187,658百万円) 210,769百万円
Ｈ２４	(395,037百万円) 424,597百万円	(58,201百万円) 47,363百万円	(278,058百万円) 301,509百万円	(90,030百万円) 81,949百万円	(188,028百万円) 219,560百万円
Ｈ２５	(397,607百万円) 442,443百万円	(35,890百万円) 41,477百万円	(228,473百万円) 264,040百万円	(62,098百万円) 71,765百万円	(166,375百万円) 192,275百万円
Ｈ２６	(488,754百万円) 557,169百万円	(47,742百万円) 56,249百万円	(303,924百万円) 358,080百万円	(82,605百万円) 97,325百万円	(221,319百万円) 260,755百万円
Ｈ２７	489,117百万円	51,375百万円	327,049百万円	88,890百万円	238,159百万円
Ｈ２８	488,889百万円	41,685百万円	265,364百万円	72,125百万円	193,239百万円
Ｈ２９	518,820百万円	48,382百万円	307,999百万円	83,713百万円	224,286百万円
Ｈ３０	519,355百万円	46,689百万円	297,216百万円	80,782百万円	216,434百万円
Ｈ３１	517,855百万円	45,538百万円	289,892百万円	78,791百万円	211,101百万円
Ｈ３２	514,974百万円	46,799百万円	297,920百万円	80,973百万円	216,947百万円
Ｈ３３	519,316百万円	46,813百万円	298,008百万円	80,997百万円	217,011百万円
Ｈ３４	521,679百万円	45,295百万円	288,345百万円	78,371百万円	209,974百万円
Ｈ３５	527,849百万円	45,446百万円	289,303百万円	78,631百万円	210,672百万円
Ｈ３６	524,865百万円	46,009百万円	292,889百万円	79,606百万円	213,283百万円
Ｈ３７	524,896百万円	46,313百万円	294,824百万円	80,132百万円	214,692百万円
Ｈ３８	522,274百万円	46,252百万円	294,438百万円	80,027百万円	214,411百万円
Ｈ３９	521,445百万円	47,204百万円	300,498百万円	81,674百万円	218,824百万円
Ｈ４０	518,774百万円	48,976百万円	311,777百万円	84,740百万円	227,037百万円
Ｈ４１	517,819百万円	51,284百万円	326,471百万円	88,733百万円	237,738百万円
Ｈ４２	516,075百万円	58,945百万円	375,242百万円	101,989百万円	273,253百万円
Ｈ４３	514,290百万円	58,635百万円	373,266百万円	101,452百万円	271,814百万円
Ｈ４４	508,070百万円	57,761百万円	367,702百万円	99,940百万円	267,762百万円
Ｈ４５	504,053百万円	57,311百万円	364,836百万円	99,161百万円	265,675百万円
Ｈ４６	501,182百万円	56,877百万円	362,073百万円	98,410百万円	263,663百万円
Ｈ４７	499,391百万円	56,629百万円	360,495百万円	97,981百万円	262,514百万円
Ｈ４８	494,255百万円	55,948百万円	356,160百万円	96,803百万円	259,357百万円
Ｈ４９	487,371百万円	55,058百万円	350,492百万円	95,262百万円	255,230百万円
Ｈ５０	480,498百万円	54,254百万円	345,377百万円	93,872百万円	251,505百万円
Ｈ５１	476,156百万円	53,703百万円	341,872百万円	92,919百万円	248,953百万円
Ｈ５２	469,676百万円	52,852百万円	336,451百万円	91,446百万円	245,005百万円
Ｈ５３	466,244百万円	52,404百万円	333,601百万円	90,671百万円	242,930百万円
Ｈ５４	462,407百万円	51,963百万円	330,794百万円	89,908百万円	240,886百万円
Ｈ５５	460,214百万円	51,653百万円	328,820百万円	89,372百万円	239,448百万円
Ｈ５６	454,649百万円	51,043百万円	324,933百万円	88,315百万円	236,618百万円
Ｈ５７	449,322百万円	50,468百万円	321,275百万円	87,321百万円	233,954百万円
Ｈ５８	447,179百万円	50,221百万円	319,706百万円	86,895百万円	232,811百万円
Ｈ５９	446,046百万円	50,007百万円	318,339百万円	86,523百万円	231,816百万円
Ｈ６０	440,702百万円	49,419百万円	314,597百万円	85,506百万円	229,091百万円
Ｈ６１	434,413百万円	48,574百万円	309,218百万円	84,044百万円	225,174百万円
Ｈ６２	429,891百万円	47,946百万円	305,220百万円	82,957百万円	222,263百万円
Ｈ６３	426,438百万円	47,445百万円	302,033百万円	82,091百万円	219,942百万円
Ｈ６４	420,395百万円	46,681百万円	297,167百万円	80,769百万円	216,398百万円
Ｈ６５	415,979百万円	46,121百万円	293,606百万円	79,801百万円	213,805百万円
Ｈ６６	411,550百万円	45,567百万円	290,079百万円	78,842百万円	211,237百万円
Ｈ６７	408,625百万円	45,312百万円	288,451百万円	78,400百万円	210,051百万円
Ｈ６８	402,593百万円	44,529百万円	283,466百万円	77,045百万円	206,421百万円
Ｈ６９	398,172百万円	44,020百万円	280,232百万円	76,166百万円	204,066百万円
Ｈ７０	393,476百万円	43,423百万円	276,429百万円	75,132百万円	201,297百万円
Ｈ７１	351,386百万円	38,176百万円	243,022百万円	66,052百万円	176,970百万円
Ｈ７２	5,037百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度の上段（　）内は計画値、下段は実績値を記載している。

別紙６－４

本州四国連絡高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料			
		うち土地・家屋分		うち構築物等分
				うち盛土・切土・のり面構造物等分	うち橋梁・トンネル等分
H18	（ 58,545 百万円 ） 60,704 百万円	（ 2,489 百万円 ） 2,597 百万円	（ 47,289 百万円 ） 49,340 百万円	（ 4,629 百万円 ） 4,830 百万円	（ 42,660 百万円 ） 44,510 百万円
H19	（ 57,759 百万円 ） 60,308 百万円	（ 2,450 百万円 ） 2,577 百万円	（ 46,542 百万円 ） 48,964 百万円	（ 4,556 百万円 ） 4,793 百万円	（ 41,986 百万円 ） 44,171 百万円
H20	（ 54,980 百万円 ） 56,415 百万円	（ 2,311 百万円 ） 2,382 百万円	（ 43,902 百万円 ） 45,266 百万円	（ 4,298 百万円 ） 4,431 百万円	（ 39,604 百万円 ） 40,835 百万円
H21	（ 37,795 百万円 ） 37,631 百万円	（ 1,451 百万円 ） 1,443 百万円	（ 27,577 百万円 ） 27,421 百万円	（ 2,700 百万円 ） 2,685 百万円	（ 24,877 百万円 ） 24,736 百万円
H22	（ 37,196 百万円 ） 38,520 百万円	（ 1,421 百万円 ） 1,473 百万円	（ 27,008 百万円 ） 27,978 百万円	（ 2,644 百万円 ） 2,739 百万円	（ 24,364 百万円 ） 25,239 百万円
H23	（ 37,523 百万円 ） 45,129 百万円	（ 1,572 百万円 ） 1,990 百万円	（ 27,087 百万円 ） 34,275 百万円	（ 2,093 百万円 ） 2,649 百万円	（ 24,994 百万円 ） 31,626 百万円
H24	（ 40,644 百万円 ） 48,011 百万円	（ 1,777 百万円 ） 2,181 百万円	（ 30,655 百万円 ） 37,618 百万円	（ 2,367 百万円 ） 2,904 百万円	（ 28,288 百万円 ） 34,714 百万円
H25	（ 39,461 百万円 ） 48,943 百万円	（ 1,712 百万円 ） 2,232 百万円	（ 29,537 百万円 ） 38,499 百万円	（ 2,280 百万円 ） 2,972 百万円	（ 27,257 百万円 ） 35,527 百万円
H26	（ 46,375 百万円 ） 47,677 百万円	（ 2,073 百万円 ） 2,144 百万円	（ 35,812 百万円 ） 37,043 百万円	（ 2,762 百万円 ） 2,857 百万円	（ 33,050 百万円 ） 34,186 百万円
H27	44,210 百万円	1,954 百万円	33,734 百万円	2,594 百万円	31,140 百万円
H28	41,438 百万円	1,802 百万円	31,114 百万円	2,393 百万円	28,721 百万円
H29	39,609 百万円	1,702 百万円	29,385 百万円	2,260 百万円	27,125 百万円
H30	37,959 百万円	1,611 百万円	27,826 百万円	2,140 百万円	25,686 百万円
H31	36,348 百万円	1,523 百万円	26,303 百万円	2,023 百万円	24,280 百万円
H32	34,789 百万円	1,438 百万円	24,829 百万円	1,910 百万円	22,919 百万円
H33	33,677 百万円	1,377 百万円	23,778 百万円	1,829 百万円	21,949 百万円
H34	31,967 百万円	1,283 百万円	22,162 百万円	1,704 百万円	20,458 百万円
H35	30,678 百万円	1,213 百万円	20,943 百万円	1,611 百万円	19,332 百万円
H36	58,488 百万円	2,735 百万円	47,231 百万円	3,632 百万円	43,599 百万円
H37	58,138 百万円	2,716 百万円	46,900 百万円	3,607 百万円	43,293 百万円
H38	57,785 百万円	2,697 百万円	46,566 百万円	3,581 百万円	42,985 百万円
H39	57,556 百万円	2,684 百万円	46,350 百万円	3,565 百万円	42,785 百万円
H40	56,830 百万円	2,644 百万円	45,664 百万円	3,512 百万円	42,152 百万円
H41	56,455 百万円	2,624 百万円	45,309 百万円	3,485 百万円	41,824 百万円
H42	56,029 百万円	2,600 百万円	44,907 百万円	3,454 百万円	41,453 百万円
H43	54,986 百万円	2,543 百万円	43,921 百万円	3,378 百万円	40,543 百万円
H44	53,812 百万円	2,479 百万円	42,811 百万円	3,292 百万円	39,519 百万円
H45	52,818 百万円	2,425 百万円	41,871 百万円	3,220 百万円	38,651 百万円
H46	51,636 百万円	2,360 百万円	40,754 百万円	3,134 百万円	37,620 百万円
H47	50,878 百万円	2,318 百万円	40,038 百万円	3,079 百万円	36,959 百万円
H48	49,746 百万円	2,257 百万円	38,967 百万円	2,997 百万円	35,970 百万円
H49	48,722 百万円	2,200 百万円	38,000 百万円	2,922 百万円	35,078 百万円
H50	47,635 百万円	2,141 百万円	36,972 百万円	2,843 百万円	34,129 百万円
H51	47,022 百万円	2,107 百万円	36,393 百万円	2,799 百万円	33,594 百万円
H52	45,741 百万円	2,037 百万円	35,182 百万円	2,706 百万円	32,476 百万円
H53	44,940 百万円	1,993 百万円	34,425 百万円	2,647 百万円	31,778 百万円
H54	44,193 百万円	1,953 百万円	33,718 百万円	2,593 百万円	31,125 百万円
H55	43,655 百万円	1,923 百万円	33,210 百万円	2,554 百万円	30,656 百万円
H56	42,727 百万円	1,872 百万円	32,333 百万円	2,487 百万円	29,846 百万円
H57	41,858 百万円	1,825 百万円	31,511 百万円	2,423 百万円	29,088 百万円
H58	41,226 百万円	1,790 百万円	30,914 百万円	2,377 百万円	28,537 百万円
H59	40,634 百万円	1,758 百万円	30,354 百万円	2,334 百万円	28,020 百万円
H60	39,842 百万円	1,714 百万円	29,606 百万円	2,277 百万円	27,329 百万円
H61	38,747 百万円	1,654 百万円	28,571 百万円	2,197 百万円	26,374 百万円
H62	38,155 百万円	1,622 百万円	28,011 百万円	2,154 百万円	25,857 百万円
H63	37,563 百万円	1,590 百万円	27,451 百万円	2,111 百万円	25,340 百万円
H64	36,487 百万円	1,531 百万円	26,434 百万円	2,033 百万円	24,401 百万円
H65	35,569 百万円	1,481 百万円	25,566 百万円	1,966 百万円	23,600 百万円
H66	34,659 百万円	1,431 百万円	24,706 百万円	1,900 百万円	22,806 百万円
H67	33,901 百万円	1,389 百万円	23,990 百万円	1,845 百万円	22,145 百万円
H68	32,881 百万円	1,333 百万円	23,026 百万円	1,771 百万円	21,255 百万円
H69	32,006 百万円	1,285 百万円	22,199 百万円	1,707 百万円	20,492 百万円
H70	31,142 百万円	1,238 百万円	21,382 百万円	1,644 百万円	19,738 百万円
H71	25,683 百万円	939 百万円	16,222 百万円	1,248 百万円	14,974 百万円
H72	998 百万円	2 百万円	26 百万円	2 百万円	24 百万円

（注1）平成18年度から平成26年度の上段（ ）内は計画値、下段は実績値を記載している。

別紙７－１から別紙７－４を次のとおり改める。

東日本高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－１

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	（ 709,612百万円 ） 711,810百万円
Ｈ１９	（ 722,190百万円 ） 713,956百万円
Ｈ２０	（ 719,683百万円 ） 679,582百万円
Ｈ２１	（ 613,220百万円 ） 578,132百万円
Ｈ２２	（ 621,266百万円 ） 582,686百万円
Ｈ２３	（ 607,061百万円 ） 564,850百万円
Ｈ２４	（ 604,468百万円 ） 652,866百万円
Ｈ２５	（ 607,533百万円 ） 667,857百万円
Ｈ２６	（ 700,369百万円 ） 796,177百万円
Ｈ２７	710,760百万円
Ｈ２８	724,623百万円
Ｈ２９	754,523百万円
Ｈ３０	760,804百万円
Ｈ３１	763,271百万円
Ｈ３２	759,764百万円
Ｈ３３	777,656百万円
Ｈ３４	789,039百万円
Ｈ３５	794,301百万円
Ｈ３６	796,684百万円
Ｈ３７	795,389百万円
Ｈ３８	793,892百万円
Ｈ３９	794,551百万円
Ｈ４０	790,891百万円
Ｈ４１	789,392百万円
Ｈ４２	787,889百万円
Ｈ４３	784,634百万円
Ｈ４４	777,104百万円
Ｈ４５	771,708百万円
Ｈ４６	766,312百万円
Ｈ４７	762,991百万円
Ｈ４８	755,519百万円
Ｈ４９	750,122百万円
Ｈ５０	744,728百万円
Ｈ５１	741,353百万円
Ｈ５２	733,938百万円
Ｈ５３	728,544百万円
Ｈ５４	723,153百万円
Ｈ５５	719,716百万円
Ｈ５６	712,362百万円
Ｈ５７	706,972百万円
Ｈ５８	701,578百万円
Ｈ５９	698,084百万円
Ｈ６０	690,791百万円
Ｈ６１	685,400百万円
Ｈ６２	680,001百万円
Ｈ６３	675,693百万円
Ｈ６４	668,549百万円
Ｈ６５	663,283百万円
Ｈ６６	658,061百万円
Ｈ６７	654,659百万円
Ｈ６８	647,738百万円
Ｈ６９	642,638百万円
Ｈ７０	637,579百万円
Ｈ７１	634,284百万円
Ｈ７２	71,519百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度までの上段（ ）内は計画値、
下段は実績値を記載している。

中日本高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－２

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	(589,562百万円) 607,357百万円
Ｈ１９	(599,122百万円) 606,762百万円
Ｈ２０	(585,472百万円) 569,080百万円
Ｈ２１	(477,225百万円) 446,639百万円
Ｈ２２	(475,906百万円) 461,606百万円
Ｈ２３	(474,594百万円) 482,245百万円
Ｈ２４	(476,380百万円) 500,097百万円
Ｈ２５	(480,109百万円) 513,150百万円
Ｈ２６	(579,896百万円) 640,747百万円
Ｈ２７	599,015百万円
Ｈ２８	611,138百万円
Ｈ２９	632,742百万円
Ｈ３０	634,399百万円
Ｈ３１	638,058百万円
Ｈ３２	637,575百万円
Ｈ３３	639,531百万円
Ｈ３４	643,104百万円
Ｈ３５	647,330百万円
Ｈ３６	643,602百万円
Ｈ３７	641,946百万円
Ｈ３８	640,737百万円
Ｈ３９	641,270百万円
Ｈ４０	638,314百万円
Ｈ４１	637,106百万円
Ｈ４２	635,894百万円
Ｈ４３	633,267百万円
Ｈ４４	627,190百万円
Ｈ４５	622,836百万円
Ｈ４６	618,481百万円
Ｈ４７	615,801百万円
Ｈ４８	609,771百万円
Ｈ４９	605,417百万円
Ｈ５０	601,064百万円
Ｈ５１	598,340百万円
Ｈ５２	592,357百万円
Ｈ５３	588,003百万円
Ｈ５４	583,653百万円
Ｈ５５	580,880百万円
Ｈ５６	574,945百万円
Ｈ５７	570,594百万円
Ｈ５８	566,242百万円
Ｈ５９	563,423百万円
Ｈ６０	557,538百万円
Ｈ６１	553,187百万円
Ｈ６２	548,831百万円
Ｈ６３	545,999百万円
Ｈ６４	540,237百万円
Ｈ６５	535,990百万円
Ｈ６６	531,777百万円
Ｈ６７	529,034百万円
Ｈ６８	523,452百万円
Ｈ６９	519,339百万円
Ｈ７０	515,258百万円
Ｈ７１	512,600百万円
Ｈ７２	58,895百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度までの上段（　）内は計画値、
下段は実績値を記載している。

西日本高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－３

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	(643,757百万円) 660,282百万円
Ｈ１９	(652,624百万円) 655,944百万円
Ｈ２０	(644,959百万円) 622,483百万円
Ｈ２１	(547,669百万円) 523,929百万円
Ｈ２２	(566,717百万円) 553,587百万円
Ｈ２３	(546,542百万円) 567,040百万円
Ｈ２４	(549,281百万円) 584,334百万円
Ｈ２５	(552,462百万円) 602,823百万円
Ｈ２６	(647,514百万円) 722,404百万円
Ｈ２７	658,713百万円
Ｈ２８	665,918百万円
Ｈ２９	696,500百万円
Ｈ３０	698,228百万円
Ｈ３１	698,502百万円
Ｈ３２	697,007百万円
Ｈ３３	695,751百万円
Ｈ３４	696,291百万円
Ｈ３５	700,375百万円
Ｈ３６	697,754百万円
Ｈ３７	697,340百万円
Ｈ３８	696,048百万円
Ｈ３９	696,612百万円
Ｈ４０	693,370百万円
Ｈ４１	692,037百万円
Ｈ４２	690,706百万円
Ｈ４３	687,906百万円
Ｈ４４	681,372百万円
Ｈ４５	676,695百万円
Ｈ４６	671,978百万円
Ｈ４７	669,069百万円
Ｈ４８	662,564百万円
Ｈ４９	657,836百万円
Ｈ５０	653,110百万円
Ｈ５１	650,126百万円
Ｈ５２	643,618百万円
Ｈ５３	638,878百万円
Ｈ５４	634,143百万円
Ｈ５５	631,178百万円
Ｈ５６	624,802百万円
Ｈ５７	620,121百万円
Ｈ５８	615,395百万円
Ｈ５９	612,335百万円
Ｈ６０	605,989百万円
Ｈ６１	601,277百万円
Ｈ６２	596,647百万円
Ｈ６３	593,430百万円
Ｈ６４	587,098百万円
Ｈ６５	582,450百万円
Ｈ６６	577,843百万円
Ｈ６７	574,895百万円
Ｈ６８	568,836百万円
Ｈ６９	564,395百万円
Ｈ７０	559,938百万円
Ｈ７１	557,057百万円
Ｈ７２	63,927百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度までの上段（　）内は計画値、
下段は実績値を記載している。

本州四国連絡高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－４

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	(75,422　百万円) 78,335　百万円
Ｈ１９	(75,021　百万円) 78,320　百万円
Ｈ２０	(72,084　百万円) 74,240　百万円
Ｈ２１	(54,982　百万円) 54,268　百万円
Ｈ２２	(54,506　百万円) 56,375　百万円
Ｈ２３	(53,810　百万円) 61,954　百万円
Ｈ２４	(56,893　百万円) 64,828　百万円
Ｈ２５	(55,949　百万円) 65,990　百万円
Ｈ２６	(62,880　百万円) 64,811 百万円
Ｈ２７	61,476 百万円
Ｈ２８	59,493 百万円
Ｈ２９	57,723 百万円
Ｈ３０	56,052 百万円
Ｈ３１	54,518 百万円
Ｈ３２	52,726 百万円
Ｈ３３	51,126 百万円
Ｈ３４	49,563 百万円
Ｈ３５	47,980 百万円
Ｈ３６	75,645 百万円
Ｈ３７	75,165 百万円
Ｈ３８	74,689 百万円
Ｈ３９	74,423 百万円
Ｈ４０	73,752 百万円
Ｈ４１	73,290 百万円
Ｈ４２	72,830 百万円
Ｈ４３	71,941 百万円
Ｈ４４	70,674 百万円
Ｈ４５	69,621 百万円
Ｈ４６	68,583 百万円
Ｈ４７	67,745 百万円
Ｈ４８	66,553 百万円
Ｈ４９	65,562 百万円
Ｈ５０	64,583 百万円
Ｈ５１	63,797 百万円
Ｈ５２	62,672 百万円
Ｈ５３	61,737 百万円
Ｈ５４	60,820 百万円
Ｈ５５	60,076 百万円
Ｈ５６	59,018 百万円
Ｈ５７	58,138 百万円
Ｈ５８	57,273 百万円
Ｈ５９	56,573 百万円
Ｈ６０	55,578 百万円
Ｈ６１	54,750 百万円
Ｈ６２	53,935 百万円
Ｈ６３	53,275 百万円
Ｈ６４	52,339 百万円
Ｈ６５	51,560 百万円
Ｈ６６	50,789 百万円
Ｈ６７	50,170 百万円
Ｈ６８	49,289 百万円
Ｈ６９	48,554 百万円
Ｈ７０	47,829 百万円
Ｈ７１	47,246 百万円
Ｈ７２	5,285 百万円

（注1）平成１８年度から平成２６年度までの上段（　）内は計画値、
下段は実績値を記載している。

別紙８を次のとおり改める。

【機構の収支予算の明細】

全国路線網

【特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務の残高を示す収支予算の明細】　［ 百万円（消費税込み） ］

		未償還残高(期首)				会社からの引受け債務			収入			支出			収支差
		債務残高(期首)(注1)			出資金										
		有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金		有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金	貸付料	占用料等	出資金等	管理費等	支払利息	無利子貸付金	
2006年度	平成18年度	28,239,160	0	260,505	3,091,490	113,008	0	19,557	1,606,686	9,171	80,000	72,799	476,169	0	1,146,889
2007年度	平成19年度	27,205,328	0	260,458	3,171,490	427,583	0	0	1,612,437	7,574	82,850	59,064	429,833	2,850	1,211,114
2008年度	平成20年度	26,430,177	0	252,077	3,251,490	407,768	0	8,523	1,521,223	11,019	85,673	62,217	416,242	5,673	1,133,783
2009年度	平成21年度	23,503,417	0	234,696	3,331,490	551,074	0	0	1,169,404	9,974	80,000	32,710	393,897	0	832,770
2010年度	平成22年度	23,239,101	0	217,315	3,411,490	480,983	0	0	1,197,413	8,475	80,000	37,300	366,990	0	881,598
2011年度	平成23年度	23,025,618	0	199,935	3,491,490	398,793	0	0	1,212,206	4,736	91,572	291,855	347,917	11,572	657,170
2012年度	平成24年度	22,784,642	0	182,553	3,571,490	1,356,491	0	49,021	1,309,738	3,779	97,702	−1,306	353,584	37,449	1,021,493
2013年度	平成25年度	23,137,021	0	165,173	3,631,743	433,260	0	0	1,352,947	68,882	61,347	47,835	349,752	0	1,085,589
2014年度	平成26年度	22,503,547	0	147,792	3,693,090	802,274	0	0	1,706,330	54,859	34	72,012	328,793	34	1,360,385
2015年度	平成27年度	21,962,817	0	130,412	3,693,090	1,240,850	0	0	1,506,398	28,928	649	28,273	312,168	649	1,194,886
2016年度	平成28年度	22,026,162	0	113,031	3,693,090	894,870	0	0	1,500,508	3,425	2,754	60,377	303,917	2,754	1,139,638
2017年度	平成29年度	21,798,754	0	95,670	3,693,090	1,547,749	0	1,695	1,577,069	3,425	4,465	15,038	298,778	4,465	1,266,678
2018年度	平成30年度	22,097,162	0	78,333	3,693,090	2,330,973	0	6,493	1,582,471	3,425	6,307	−33,348	311,937	6,307	1,307,307
2019年度	平成31年度	23,138,161	0	61,000	3,693,090	308,946	0	5,782	1,578,685	3,425	2,826	98,477	342,167	2,826	1,141,465
2020年度	平成32年度	22,322,975	0	43,667	3,693,090	2,520,175	0	5,086	1,568,705	3,425	2,048	−45,604	350,694	2,048	1,267,040
2021年度	平成33年度	23,593,443	0	26,333	3,693,090	229,390	0	0	1,601,185	3,425	26	104,996	427,047	26	1,072,566
2022年度	平成34年度	22,767,600	0	9,000	3,693,090	206,154	0	0	1,619,104	3,425	65	107,742	455,612	65	1,059,174
2023年度	平成35年度	21,923,580	0	0	3,693,090	989,979	0	211	1,634,106	3,425	93	65,563	481,696	93	1,090,273
2024年度	平成36年度	21,823,286	0	0	3,693,090	178,053	0	0	1,658,581	3,425	0	112,747	527,691	0	1,021,568
2025年度	平成37年度	20,979,772	0	0	3,693,090	139,903	0	0	1,659,635	3,425	0	114,744	559,270	0	989,046
2026年度	平成38年度	20,130,629	0	0	3,693,090	140,918	0	0	1,655,920	3,425	0	114,394	593,829	0	951,121
2027年度	平成39年度	19,320,425	0	0	3,693,090	141,396	0	0	1,655,960	3,425	0	114,362	624,291	0	920,732
2028年度	平成40年度	18,541,090	0	0	3,693,090	140,970	0	0	1,646,800	3,425	0	113,713	637,657	0	898,855
2029年度	平成41年度	17,783,205	0	0	3,693,090	141,851	0	0	1,642,949	3,425	0	113,366	626,866	0	906,143
2030年度	平成42年度	17,018,913	0	0	3,693,090	282,595	0	0	1,636,879	3,425	0	102,485	607,757	0	930,062
2031年度	平成43年度	16,371,445	0	0	3,693,090	142,876	0	0	1,628,709	3,425	0	112,230	591,080	0	928,824
2032年度	平成44年度	15,585,497	0	0	3,693,090	145,324	0	0	1,607,848	3,425	0	110,502	571,279	0	929,492
2033年度	平成45年度	14,801,328	0	0	3,693,090	142,240	0	0	1,592,848	3,425	0	109,622	542,548	0	944,103
2034年度	平成46年度	13,999,465	0	0	3,693,090	142,745	0	0	1,579,341	3,425	0	108,586	516,439	0	957,741
2035年度	平成47年度	13,184,469	0	0	3,693,090	142,633	0	0	1,570,003	3,425	0	107,899	491,764	0	973,765
2036年度	平成48年度	12,353,336	0	0	3,693,090	143,479	0	0	1,551,888	3,425	0	106,495	460,117	0	988,702
2037年度	平成49年度	11,508,113	0	0	3,693,090	144,106	0	0	1,534,943	3,425	0	105,195	429,866	0	1,003,307
2038年度	平成50年度	10,648,912	0	0	3,693,090	142,422	0	0	1,517,908	3,425	0	104,056	396,449	0	1,020,829
2039年度	平成51年度	9,770,505	0	0	3,693,090	142,241	0	0	1,506,801	3,425	0	103,249	357,657	0	1,049,320
2040年度	平成52年度	8,863,425	0	0	3,693,090	143,009	0	0	1,484,918	3,425	0	101,569	322,363	0	1,064,411
2041年度	平成53年度	7,942,022	0	0	3,693,090	143,113	0	0	1,472,427	3,425	0	100,635	287,000	0	1,088,216
2042年度	平成54年度	6,996,919	0	0	3,693,090	143,194	0	0	1,459,130	3,425	0	99,645	251,768	0	1,111,142
2043年度	平成55年度	6,028,971	0	0	3,693,090	143,437	0	0	1,450,672	3,425	0	99,001	213,356	0	1,141,740
2044年度	平成56年度	5,030,668	0	0	3,693,090	141,634	0	0	1,431,682	3,425	0	97,731	174,943	0	1,162,432
2045年度	平成57年度	4,009,869	0	0	3,693,090	139,730	0	0	1,414,770	3,425	0	96,616	136,214	0	1,185,365
2046年度	平成58年度	2,964,234	0	0	3,693,090	139,550	0	0	1,403,839	3,425	0	95,819	95,826	0	1,215,619
2047年度	平成59年度	1,888,165	0	0	3,693,090	140,166	0	0	1,396,295	3,425	0	95,216	51,830	0	1,252,675
2048年度	平成60年度	775,656	0	0	3,693,090	139,849	0	0	1,378,113	3,425	0	93,892	7,807	0	1,279,839
2049年度	平成61年度	0	0	0	3,328,756	139,730	0	0	1,363,048	3,425	0	92,788	0	0	1,273,685
2050年度	平成62年度	0	0	0	2,194,800	57,441	0	0	549,989	1,396	0	37,369	0	0	514,016
2051年度	平成63年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2052年度	平成64年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2053年度	平成65年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2054年度	平成66年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2055年度	平成67年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2056年度	平成68年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2057年度	平成69年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2058年度	平成70年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2059年度	平成71年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2060年度	平成72年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2061年度	平成73年度	0	0	0	(注3)1,738,225										
計						19,164,917	0	96,368	67,308,510	325,244	678,411	3,839,928	16,822,860	76,811	47,572,567

【特定更新等工事に係る債務の残高を示す収支予算の明細】　［ 百万円（消費税込み） ］

		未償還残高(期首)	会社からの引受け債務				収入		支出		
		債務残高(期首)	有利子借入金		債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額	債務返済開始前の支払利息相当額	貸付料	占用料等	管理費等	支払利息	収支差
		有利子借入金	特定更新等工事に係る債務	その他の債務							
2006年度	平成18年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年度	平成19年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2008年度	平成20年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2009年度	平成21年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2010年度	平成22年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2011年度	平成23年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012年度	平成24年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013年度	平成25年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2014年度	平成26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2015年度	平成27年度	0	2,423	0	−181	28	0	0	0	0	0
2016年度	平成28年度	2,270	107,300	0	−7,951	425	0	0	0	0	0
2017年度	平成29年度	102,044	175,891	0	−13,031	1,625	0	0	0	0	0
2018年度	平成30年度	266,530	217,380	0	−16,105	3,777	0	0	0	0	0
2019年度	平成31年度	471,581	236,072	0	−17,488	6,606	0	0	0	0	0
2020年度	平成32年度	696,770	275,859	0	−20,436	10,925	0	0	0	0	0
2021年度	平成33年度	963,118	280,936	0	−20,812	16,572	0	0	0	0	0
2022年度	平成34年度	1,239,814	281,455	0	−20,849	24,522	0	0	0	0	0
2023年度	平成35年度	1,524,942	275,790	0	−20,432	33,954	0	0	0	0	0
2024年度	平成36年度	1,814,254	283,759	0	−21,020	43,958	0	0	0	0	0
2025年度	平成37年度	2,120,951	288,891	0	−21,401	57,211	0	0	0	0	0
2026年度	平成38年度	2,445,651	284,038	0	−21,041	74,181	0	0	0	0	0
2027年度	平成39年度	2,782,830	272,438	0	−20,183	93,117	0	0	0	0	0
2028年度	平成40年度	3,128,201	258,426	0	−19,145	112,191	0	0	0	0	0
2029年度	平成41年度	3,479,673	191,553	0	−14,190	129,063	0	0	0	0	0
2030年度	平成42年度	3,786,100	0	0	0	142,716	0	0	0	0	0
2031年度	平成43年度	3,928,816	0	0	0	149,799	0	0	0	0	0
2032年度	平成44年度	4,078,615	0	0	0	157,797	0	0	0	0	0
2033年度	平成45年度	4,236,412	0	0	0	164,901	0	0	0	0	0
2034年度	平成46年度	4,401,313	0	0	0	173,035	0	0	0	0	0
2035年度	平成47年度	4,574,347	0	0	0	181,654	0	0	0	0	0
2036年度	平成48年度	4,756,001	0	0	0	189,387	0	0	0	0	0
2037年度	平成49年度	4,945,388	0	0	0	197,633	0	0	0	0	0
2038年度	平成50年度	5,143,021	0	0	0	205,969	0	0	0	0	0
2039年度	平成51年度	5,348,990	0	0	0	213,175	0	0	0	0	0
2040年度	平成52年度	5,562,165	0	0	0	220,585	0	0	0	0	0
2041年度	平成53年度	5,782,750	0	0	0	229,953	0	0	0	0	0
2042年度	平成54年度	6,012,704	0	0	0	241,827	0	0	0	0	0
2043年度	平成55年度	6,254,530	0	0	0	248,754	0	0	0	0	0
2044年度	平成56年度	6,503,284	0	0	0	258,626	0	0	0	0	0
2045年度	平成57年度	6,761,910	0	0	0	273,020	0	0	0	0	0
2046年度	平成58年度	7,034,929	0	0	0	287,770	0	0	0	0	0
2047年度	平成59年度	7,322,699	0	0	0	304,912	0	0	0	0	0
2048年度	平成60年度	7,627,611	0	0	0	324,608	0	0	0	0	0
2049年度	平成61年度	7,952,219	0	0	0	324,756	0	0	0	0	0
2050年度	平成62年度	8,276,975	0	83,451	0	130,429	799,030	2,029	54,291	189,489	557,279
2051年度	平成63年度	7,933,576	0	142,029	0	0	1,335,971	3,425	90,610	297,954	950,832
2052年度	平成64年度	7,124,773	0	142,426	0	0	1,316,306	3,425	89,124	265,584	965,024
2053年度	平成65年度	6,302,175	0	143,175	0	0	1,301,030	3,425	87,938	232,594	983,924
2054年度	平成66年度	5,461,426	0	142,359	0	0	1,286,230	3,425	86,904	198,875	1,003,877
2055年度	平成67年度	4,599,908	0	141,525	0	0	1,274,739	3,425	86,111	164,257	1,027,796
2056年度	平成68年度	3,713,636	0	141,615	0	0	1,256,822	3,425	84,777	128,745	1,046,725
2057年度	平成69年度	2,808,526	0	141,090	0	0	1,242,355	3,425	83,745	92,409	1,069,626
2058年度	平成70年度	1,879,989	0	141,087	0	0	1,227,622	3,425	82,655	55,122	1,093,270
2059年度	平成71年度	927,806	0	141,164	0	0	1,128,041	3,425	75,275	18,303	1,037,887
2060年度	平成72年度	31,082	0	16,100	0	0	49,670	390	2,736	141	47,182
2061年度	平成73年度	0	0								
計			3,432,211	1,376,018	−254,265	5,229,459	12,217,816	33,243	824,165	1,643,472	9,783,422

【未償還残高の総額】　［ 百万円（消費税込み） ］

		未償還残高(期首)			
		債務残高(期首)(注1)			出資金
		有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金	
2006年度	平成18年度	28,239,160	0	260,505	3,091,490
2007年度	平成19年度	27,205,328	0	260,458	3,171,490
2008年度	平成20年度	26,430,177	0	252,077	3,251,490
2009年度	平成21年度	23,503,417	0	234,696	3,331,490
2010年度	平成22年度	23,239,101	0	217,315	3,411,490
2011年度	平成23年度	23,025,618	0	199,935	3,491,490
2012年度	平成24年度	22,784,642	0	182,553	3,571,490
2013年度	平成25年度	23,137,021	0	165,173	3,631,743
2014年度	平成26年度	22,503,547	0	147,792	3,693,090
2015年度	平成27年度	21,962,817	0	130,412	3,693,090
2016年度	平成28年度	22,028,432	0	113,031	3,693,090
2017年度	平成29年度	21,900,798	0	95,670	3,693,090
2018年度	平成30年度	22,363,692	0	78,333	3,693,090
2019年度	平成31年度	23,609,742	0	61,000	3,693,090
2020年度	平成32年度	23,019,745	0	43,667	3,693,090
2021年度	平成33年度	24,556,561	0	26,333	3,693,090
2022年度	平成34年度	24,007,414	0	9,000	3,693,090
2023年度	平成35年度	23,448,522	0	0	3,693,090
2024年度	平成36年度	23,637,540	0	0	3,693,090
2025年度	平成37年度	23,100,722	0	0	3,693,090
2026年度	平成38年度	22,576,280	0	0	3,693,090
2027年度	平成39年度	22,103,255	0	0	3,693,090
2028年度	平成40年度	21,669,291	0	0	3,693,090
2029年度	平成41年度	21,262,878	0	0	3,693,090
2030年度	平成42年度	20,805,013	0	0	3,693,090
2031年度	平成43年度	20,300,261	0	0	3,693,090
2032年度	平成44年度	19,664,112	0	0	3,693,090
2033年度	平成45年度	19,037,740	0	0	3,693,090
2034年度	平成46年度	18,400,777	0	0	3,693,090
2035年度	平成47年度	17,758,816	0	0	3,693,090
2036年度	平成48年度	17,109,338	0	0	3,693,090
2037年度	平成49年度	16,453,502	0	0	3,693,090
2038年度	平成50年度	15,791,933	0	0	3,693,090
2039年度	平成51年度	15,119,495	0	0	3,693,090
2040年度	平成52年度	14,425,591	0	0	3,693,090
2041年度	平成53年度	13,724,773	0	0	3,693,090
2042年度	平成54年度	13,009,622	0	0	3,693,090
2043年度	平成55年度	12,283,501	0	0	3,693,090
2044年度	平成56年度	11,533,952	0	0	3,693,090
2045年度	平成57年度	10,771,779	0	0	3,693,090
2046年度	平成58年度	9,999,163	0	0	3,693,090
2047年度	平成59年度	9,210,864	0	0	3,693,090
2048年度	平成60年度	8,403,267	0	0	3,693,090
2049年度	平成61年度	7,952,219	0	0	3,328,756
2050年度	平成62年度	8,276,975	0	0	2,194,800
2051年度	平成63年度	7,933,576	0	0	1,738,225
2052年度	平成64年度	7,124,773	0	0	1,738,225
2053年度	平成65年度	6,302,175	0	0	1,738,225
2054年度	平成66年度	5,461,426	0	0	1,738,225
2055年度	平成67年度	4,599,908	0	0	1,738,225
2056年度	平成68年度	3,713,636	0	0	1,738,225
2057年度	平成69年度	2,808,526	0	0	1,738,225
2058年度	平成70年度	1,879,989	0	0	1,738,225
2059年度	平成71年度	927,806	0	0	1,738,225
2060年度	平成72年度	31,082	0	0	1,738,225
2061年度	平成73年度	0	0	0	1,738,225
計					

(注1)上表の債務残高は「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律(昭和33年法律第34号)」に基づく高速道路利便増進事業のため、平成20年度において一般会計に承継した機構債務を反映し、平成22年度、平成23年度及び平成25年度において高速道路利便増進事業の計画変更に伴い見直しを行っている。
(注2)平成18年度から平成26年度までは実績値を、平成27年度は実績見込値を記載している。
(注3)出資金の残高の取り扱いについては、機構の解散までに検討
(注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

別紙特１－１から別紙特１－４を次のとおり改める。

別紙特１－１

特定更新等工事の内容

1．工事の内容

（1）路線名及び工事の区間

（イ）路線名	（ロ）工事の区間	
	起点	終点
高速自動車国道　北海道縦貫自動車道　函館名寄線	北海道茅部郡森町字赤井川	北海道上川郡剣淵町藤本町
高速自動車国道　北海道縦貫自動車道　黒松内釧路線	北海道小樽市勝納町 北海道千歳市上長都	北海道札幌市白石区米里 北海道中川郡本別町共栄
高速自動車国道　北海道縦貫自動車道　黒松内北見線	北海道中川郡本別町勇足	北海道足寄郡足寄町郊南
高速自動車国道　東北縦貫自動車道　弘前線	東京都練馬区大泉町	青森県青森市大字岩渡字熊沢
高速自動車国道　東北縦貫自動車道　八戸線	青森県青森市大字岩渡字小谷 岩手県八幡平市小柳田 青森県八戸市大字坂牛字妻ノ神	青森県青森市大字字松代 青森県八戸市大字市川町和野前山 青森県八戸市大字根城字牛ヶ窪
高速自動車国道　東北横断自動車道　釜石秋田線	岩手県北上市鬼柳町 秋田県秋田市金足岩瀬字松館太平 岩手県花巻市東和町安俵	秋田県秋田市上新城中字南波掛 秋田県山本郡三種町鹿渡字金仏 岩手県花巻市西宮野目
高速自動車国道　東北横断自動車道　酒田線	宮城県柴田郡村田町足立字大森 山形県鶴岡市田麦俣字鶴ノ里	山形県西村山郡西川町大字月山沢 山形県鶴岡市友江字松倉
高速自動車国道　東北横断自動車道　いわき新潟線	福島県いわき市内郷宮町鬼ヶ沢	新潟県新潟市江南区太右エ門新田
高速自動車国道　日本海沿岸東北自動車道	新潟県新潟市江南区俵柳 山形県鶴岡市山田字小京田 秋田県由利本荘市岩城内道川	新潟県村上市南新保 山形県酒田市藤塚字ふけ田 秋田県秋田市河辺
高速自動車国道　関越自動車道　新潟線	東京都練馬区三原台	新潟県長岡市上除町
高速自動車国道　関越自動車道　上越線	群馬県藤岡市岡之郷	新潟県上越市寺
高速自動車国道　常磐自動車道	埼玉県川口市神戸東	宮城県亘理郡亘理町逢隈牛袋字水口
高速自動車国道　東関東自動車道　千葉富津線	千葉県千葉市中央区浜野町 千葉県木更津市中鳥田	千葉県富津市竹岡 千葉県木更津市畑沢
高速自動車国道　東関東自動車道　水戸線	埼玉県三郷市番匠免 千葉県市川市高谷	埼玉県三郷市鷹野 茨城県潮来市延方
高速自動車国道　北関東自動車道	群馬県高崎市上滝町 栃木県栃木市都賀町木	栃木県栃木市岩舟町小野寺 茨城県水戸市元石川町字千束
高速自動車国道　中央自動車道　長野線	長野県安曇野市豊科南穂高（安曇野 IC 含まず）	長野県千曲市雨宮
高速自動車国道　北陸自動車道	新潟県新潟市江南区俵柳	富山県下新川郡朝日町月山（朝日 IC 含まず）

（イ）路線名	（ロ）工事の区間	
	起点	終点
一般国道235号 （日高自動車道（苫東道路））	北海道苫小牧市字植苗	北海道苫小牧市字沼ノ端
一般国道466号 （第三京浜道路）	東京都世田谷区野毛	神奈川県横浜市保土ヶ谷区岡沢町
一般国道1号・一般国道16号 （横浜新道）	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台	神奈川県横浜市戸塚区上矢部町字坂本
一般国道16号・一般国道468号 （横浜横須賀道路）	神奈川県横須賀市馬堀海岸 神奈川県横浜市金沢区並木	神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町字清戸奥
一般国道14号・一般国道16号 （京葉道路）	東京都江戸川区一之江	千葉県千葉市中央区浜野町
一般国道126号 （千葉東金道路）	千葉県千葉市中央区星久喜町	千葉県山武市松尾町谷津字平台
一般国道127号 （富津館山道路）	千葉県南房総市富浦町深名字杉原	千葉県富津市竹岡字仲町

（2）工事内容

会社が行う高速道路の管理のうち、特定更新等工事で行う工事の内容は、以下のとおり

・損傷、腐食その他の劣化等に対して構造物全体の修繕を実施するもの

区分	項目	工事概要	延長	工事予算
橋梁更新	床版	・橋梁の床版取替、床版全面打替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	52 キロメートル	382，184 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の取替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	1 キロメートル	7，343 百万円
橋梁修繕	床版	・橋梁の床版の補修、補強（床版増厚、炭素繊維補強、剥落防止対策、SFRC、高性能床版防水、表面被覆、電気化学的防食、鋼床版の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	148 キロメートル	76，424 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の補修、補強（炭素繊維補強、剥落防止対策、外ケーブル補強、表面被覆、電気化学的防食、鋼構造物の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	56 キロメートル	75，394 百万円
土構造物修繕	盛土 切土	・土構造物（盛土、切土）の補修、補強（グラウンドアンカー、水抜ボーリング、砕石縦排水等）及びのり面排水施設の補修、補強（用排水溝、跳水防止対策等）等、土構造物全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	7，759 箇所	158，909 百万円
トンネル修繕	本体 覆工	・トンネル本体の補修、補強（インバートの設置等）及びトンネル覆工コンクリートの補修、補強（炭素繊維補強、ロックボルト補強、内巻補強、剥落防止対策、背面空洞注入等）等、トンネル全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	51 キロメートル	179，964 百万円

別紙特1−2

特定更新等工事の内容

1．工事の内容

（1）路線名及び工事の区間

（イ）路線名	（ロ）工事の区間	
	起点	終点
高速自動車国道 中央自動車道 富士吉田線	東京都杉並区上高井戸	山梨県富士吉田市上吉田
高速自動車国道 中央自動車道 西宮線	山梨県大月市大月町花咲	滋賀県東近江市尻無町（八日市インターチェンジを含む）
高速自動車国道 中央自動車道 長野線	長野県岡谷市川岸	長野県安曇野市豊科高家（安曇野インターチェンジを含む）
高速自動車国道 第一東海自動車道	東京都世田谷区砧公園	愛知県小牧市大字村中
高速自動車国道 東海北陸自動車道	愛知県一宮市大和町北高井	富山県小矢部市水島
高速自動車国道 第二東海自動車道 横浜名古屋線	愛知県豊田市岩倉町	愛知県東海市新宝町
高速自動車国道 北陸自動車道	富山県下新川郡朝日町月山（朝日インターチェンジを含む）	滋賀県米原市三吉
高速自動車国道 近畿自動車道 伊勢線	愛知県亀山市関町木崎	三重県伊勢市楠部町
高速自動車国道 近畿自動車道 名古屋亀山線	愛知県名古屋市緑区大高町	三重県亀山市木下町
高速自動車国道 近畿自動車道 名古屋神戸線	愛知県海部郡飛島村木場	滋賀県甲賀市甲賀町岩室（甲賀土山インターチェンジを含まない）
高速自動車国道 近畿自動車道 尾鷲多気線	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島	三重県多気郡多気町丹生
一般国道1号（新湘南バイパス）	神奈川県藤沢市城南	神奈川県茅ケ崎市柳島
一般国道1号（西湘バイパス）	神奈川県中郡二宮町二宮	神奈川県小田原市風祭
一般国道271号（小田原厚木道路）	神奈川県小田原市板橋	神奈川県厚木市酒井
一般国道302号（伊勢湾岸道路）	愛知県東海市新宝町	愛知県海部郡飛島村金岡
一般国道475（東海環状自動車道）	愛知県豊田市岩倉町山ノ神	岐阜県関市広見町

（2）工事内容

会社が行う高速道路の管理のうち、特定更新等工事で行う工事の内容は、以下のとおり

・損傷、腐食その他の劣化等に対して構造物全体の修繕を実施するもの

区分	項目	工事概要	延長	工事予算
橋梁更新	床版	・橋梁の床版取替、床版全面打替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	74 キロメートル	700，460 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の取替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	―	―
橋梁修繕	床版	・橋梁の床版の補修、補強（床版増厚、炭素繊維補強、剥落防止対策、SFRC、高性能床版防水、表面被覆、電気化学的防食、鋼床版の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	100 キロメートル	38，839 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の補修、補強（炭素繊維補強、剥落防止対策、外ケーブル補強、表面被覆、電気化学的防食、鋼構造物の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	59 キロメートル	132，196 百万円
土構造物修繕	盛土 切土	・土構造物（盛土、切土）の補修、補強（グラウンドアンカー、水抜ボーリング、砕石縦排水等）及びのり面排水施設の補修、補強（用排水溝、跳水防止対策等）等、土構造物全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	4，977 箇所	74，218 百万円
トンネル修繕	本体 覆工	・トンネル本体の補修、補強（インバートの設置等）及びトンネル覆工コンクリートの補修、補強（炭素繊維補強、ロックボルト補強、内巻補強、剥落防止対策、背面空洞注入等）等、トンネル全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	35 キロメートル	70，100 百万円

特定更新等工事の内容

1．工事の内容

（1）路線名及び工事の区間

（イ）路線名	（ロ）工事の区間	
	起点	終点
高速自動車国道　中央自動車道　西宮線	滋賀県東近江市中小路町狐山（八日市インターチェンジを含まない）	兵庫県西宮市今津野田町
高速自動車国道　近畿自動車道　天理吹田線	奈良県天理市櫟本町	大阪府吹田市青葉丘北
高速自動車国道　近畿自動車道　松原那智勝浦線	大阪府松原市別所町 和歌山県御坊市野口字野尻	和歌山県有田郡有田川町大字天満字 和歌山県田辺市稲成町字下組
高速自動車国道　近畿自動車道　敦賀線	兵庫県三木市吉川町金会	福井県小浜市府中（小浜インターチェンジを含む）
高速自動車国道　中国縦貫自動車道	大阪府吹田市青葉丘北	山口県下関市椋野町
高速自動車国道　山陽自動車道　吹田山口線	兵庫県神戸市北区有野町二郎 広島県大竹市御園	広島県廿日市市宮内 山口県山口市黒川
高速自動車国道　山陽自動車道　宇部下関線	山口県宇部市大字東岐波	山口県下関市大字吉田地方
高速自動車国道　中国横断自動車道　姫路鳥取線	兵庫県たつの市揖西町土師	兵庫県たつの市新宮町角亀字畦畑
高速自動車国道　中国横断自動車道　岡山米子線	岡山県岡山市北区津寺	鳥取県米子市赤井手
高速自動車国道　中国横断自動車道　尾道松江線	島根県雲南市三刀屋町三刀屋	島根県松江市乃白町字辻り廻
高速自動車国道　中国横断自動車道　広島浜田線	広島県広島市安佐南区沼田町大字伴	島根県浜田市高佐町
高速自動車国道　山陰自動車道　鳥取益田線	島根県松江市宍道町伊志見	島根県出雲市知井宮町
高速自動車国道　四国縦貫自動車道	徳島県徳島市川内町沖島	愛媛県大洲市新谷
高速自動車国道　四国横断自動車道　阿南四万十線	香川県高松市前田東町字中村	高知県須崎市吾井郷乙
高速自動車国道　四国横断自動車道　愛南大洲線	愛媛県西予市宇和町稲生	愛媛県大洲市北只
高速自動車国道　九州縦貫自動車道　鹿児島線	福岡県北九州市門司区黒川東	鹿児島県鹿児島市田上
高速自動車国道　九州縦貫自動車道　宮崎線	宮崎県えびの市大字永山	宮崎県宮崎市清武町大字加納字山口甲

高速自動車国道　九州横断自動車道　長崎大分線	長崎県長崎市早坂町	大分県大分市片島字長居ヶ迫
高速自動車国道　東九州自動車道	福岡県北九州市小倉南区大字堀越 大分県大分市片島字長居ヶ迫 宮崎県東臼杵郡門川町大字加草字堂ケ内 鹿児島県曽於市末吉町深川	福岡県京都郡みやこ町呰見 大分県佐伯市大字上岡 宮崎県宮崎市清武町大字今泉字柳ヶ谷乙 鹿児島県霧島市隼人町住吉
高速自動車国道　関門自動車道	山口県下関市椋野町	福岡県北九州市門司区黒川東
高速自動車国道　沖縄自動車道	沖縄県名護市字幸喜	沖縄県那覇市首里崎山町
一般国道1号（京滋バイパス）	滋賀県大津市大江町	京都府久世郡久御山町森
一般国道2号（第二神明道路）	兵庫県神戸市須磨区月見山町 兵庫県神戸市垂水区名谷町入野	兵庫県明石市魚住町清水字鳥喰下 兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹
一般国道2号（広島岩国道路）	広島県廿日市市宮内	広島県大竹市御園
一般国道3号（南九州西回り自動車道 （市来～鹿児島西））	鹿児島県いちき串木野市大里	鹿児島県鹿児島市市田上
一般国道9号（安来道路）	鳥取県米子市陰田町	島根県八束郡東出雲町大字出雲郷
一般国道9号（江津道路）	島根県江津市嘉久志町	島根県浜田市後野町
一般国道34号（長崎バイパス）	長崎県諫早市多良見町市布名 長崎県長崎市川平町	長崎県長崎市昭和 長崎県長崎市西山
一般国道42号（湯浅御坊道路）	和歌山県有田郡有田川町大字天満	和歌山県御坊市野口
一般国道478号（京都縦貫自動車道）	京都府船井郡京丹波町字須知	京都府乙訓郡大山崎町字円明寺
一般国道497号（西九州自動車道（武雄佐世保道路））	佐賀県武雄市東川登町大字袴野	長崎県佐世保市大塔町
一般国道497号（西九州自動車道（佐世保道路））	長崎県佐世保市大塔町	長崎県佐世保市矢岳町

（2）工事内容

会社が行う高速道路の管理のうち、特定更新等工事で行う工事の内容は、以下のとおり

・損傷、腐食その他の劣化等に対して構造物全体の修繕を実施するもの

区分	項目	工事概要	延長	工事予算
橋梁更新	床版	・橋梁の床版取替、床版全面打替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	98 キロメートル	570，251 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の取替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	12 キロメートル	96，859 百万円
橋梁修繕	床版	・橋梁の床版の補修、補強（床版増厚、炭素繊維補強、剥落防止対策、SFRC、高性能床版防水、表面被覆、電気化学的防食、鋼床版の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	111 キロメートル	45，751 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の補修、補強（炭素繊維補強、剥落防止対策、外ケーブル補強、表面被覆、電気化学的防食、鋼構造物の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	37 キロメートル	56，074 百万円
土構造物修繕	盛土 切土	・土構造物（盛土、切土）の補修、補強（グラウンドアンカー、水抜ボーリング、砕石縦排水等）及びのり面排水施設の補修、補強（用排水溝、跳水防止対策等）等、土構造物全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	13，820 箇所	247，875 百万円
トンネル修繕	本体 覆工	・トンネル本体の補修、補強（インバートの設置等）及びトンネル覆工コンクリートの補修、補強（炭素繊維補強、ロックボルト補強、内巻補強、剥落防止対策、背面空洞注入等）等、トンネル全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	46 キロメートル	111，141 百万円

別紙特1−4

特定更新等工事の内容

1．工事の内容

（1）路線名及び工事の区間

（イ）路線名	（ロ）工事の区間	
	起点	終点
一般国道28号（神戸・鳴門ルート）	兵庫県神戸市西区見津が丘（神戸西ICを含む）	徳島県鳴門市撫養町木津字原山（鳴門ICを含む）
一般国道30号（児島・坂出ルート）	岡山県都窪郡早島町早島字唐戸（早島ICを含む）	香川県坂出市川津町字中原（坂出ICを含む）
一般国道317号（尾道・今治ルート）	広島県尾道市高須町字才ケ久保	広島県尾道市因島洲江町字深久保
	広島県尾道市瀬戸田町萩字宝仙原	愛媛県今治市宮窪町宮窪
	愛媛県今治市吉海町名	愛媛県今治市矢田字管ヶ谷

（2）工事内容

会社が行う高速道路の管理のうち、特定更新等工事で行う工事の内容は、以下のとおり

・損傷、腐食その他の劣化等に対して構造物全体の修繕を実施するもの

区分	項目	工事概要	延長	工事予算
橋梁修繕	床版	・橋梁の床版の補修、補強（高性能床版防水、電気化学的防食等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	10 キロメートル	8,725 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の補修、補強（表面被覆、電気化学的防食等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	8 キロメートル	11,429 百万円
土構造物修繕	盛土 切土	・土構造物（盛土、切土）の補修、補強（水抜ボーリング、砕石縦排水等）及びのり面排水施設の補修、補強（用排水溝、跳水防止対策等）等、土構造物全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	66 箇所	4,683 百万円

別紙特２－１から別紙特２－４を次のとおり改める。

別紙特２－１

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	604百万円
Ｈ２８	47,722百万円
Ｈ２９	53,490百万円
Ｈ３０	63,174百万円
Ｈ３１	68,468百万円
Ｈ３２	88,401百万円
Ｈ３３	89,015百万円
Ｈ３４	78,848百万円
Ｈ３５	67,982百万円
Ｈ３６	74,512百万円
Ｈ３７	77,481百万円
Ｈ３８	76,726百万円
Ｈ３９	72,558百万円
Ｈ４０	66,779百万円
Ｈ４１	59,836百万円

（注1）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙特２－２

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	1,146百万円
Ｈ２８	14,366百万円
Ｈ２９	57,071百万円
Ｈ３０	76,625百万円
Ｈ３１	82,795百万円
Ｈ３２	95,317百万円
Ｈ３３	91,129百万円
Ｈ３４	88,076百万円
Ｈ３５	88,445百万円
Ｈ３６	92,897百万円
Ｈ３７	97,642百万円
Ｈ３８	95,521百万円
Ｈ３９	97,030百万円
Ｈ４０	105,328百万円
Ｈ４１	65,516百万円

（注1）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙特２－３

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	499百万円
Ｈ２８	44,408百万円
Ｈ２９	64,029百万円
Ｈ３０	75,965百万円
Ｈ３１	82,800百万円
Ｈ３２	89,963百万円
Ｈ３３	98,641百万円
Ｈ３４	112,365百万円
Ｈ３５	117,230百万円
Ｈ３６	114,130百万円
Ｈ３７	111,620百万円
Ｈ３８	109,578百万円
Ｈ３９	100,653百万円
Ｈ４０	84,225百万円
Ｈ４１	64,049百万円

（注1）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙特２－４

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	174百万円
Ｈ２８	804百万円
Ｈ２９	1,301百万円
Ｈ３０	1,616百万円
Ｈ３１	2,009百万円
Ｈ３２	2,178百万円
Ｈ３３	2,151百万円
Ｈ３４	2,166百万円
Ｈ３５	2,133百万円
Ｈ３６	2,220百万円
Ｈ３７	2,148百万円
Ｈ３８	2,213百万円
Ｈ３９	2,197百万円
Ｈ４０	2,094百万円
Ｈ４１	2,152百万円

（注1）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

添付書類

別添１　高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線等に関する協定（機構及び東日本高速道路株式会社）

別添２　高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等に関する協定（機構及び中日本高速道路株式会社）

別添３　高速自動車国道中央自動車道西宮線等に関する協定（機構及び西日本高速道路株式会社）

別添４　一般国道２８号（本州四国連絡道路（神戸・鳴門ルート））等に関する協定（機構及び本州四国連絡高速道路株式会社）

別添５　貸付料及び貸付期間算出の基礎を記載した書類

別添６　推定交通量及びその算出の基礎を記載した書類